

街区の再生

信州大学工学部建築学科
3年 設計製図第4課題

●課題内容

須坂市の歴史的街区を対象として、都市組織の個別的再生を通じて、
街区全体を段階的に再生する。
その全体プログラムを組み立てるとともに、個別的再生を個々に設計する。

●課題の範囲

①対象街区 + ②対象街区の周りに通っている道 + その道に面する敷地



●敷地調査

対象街区やその周辺を歩き、
街区・敷地・建物の特長を把握する。



●ヒアリング調査

地元の方々のお話を聞く



●講評会



2015.11.19
2016.01.20
旧高井郡役所

●対象街区写真 北側



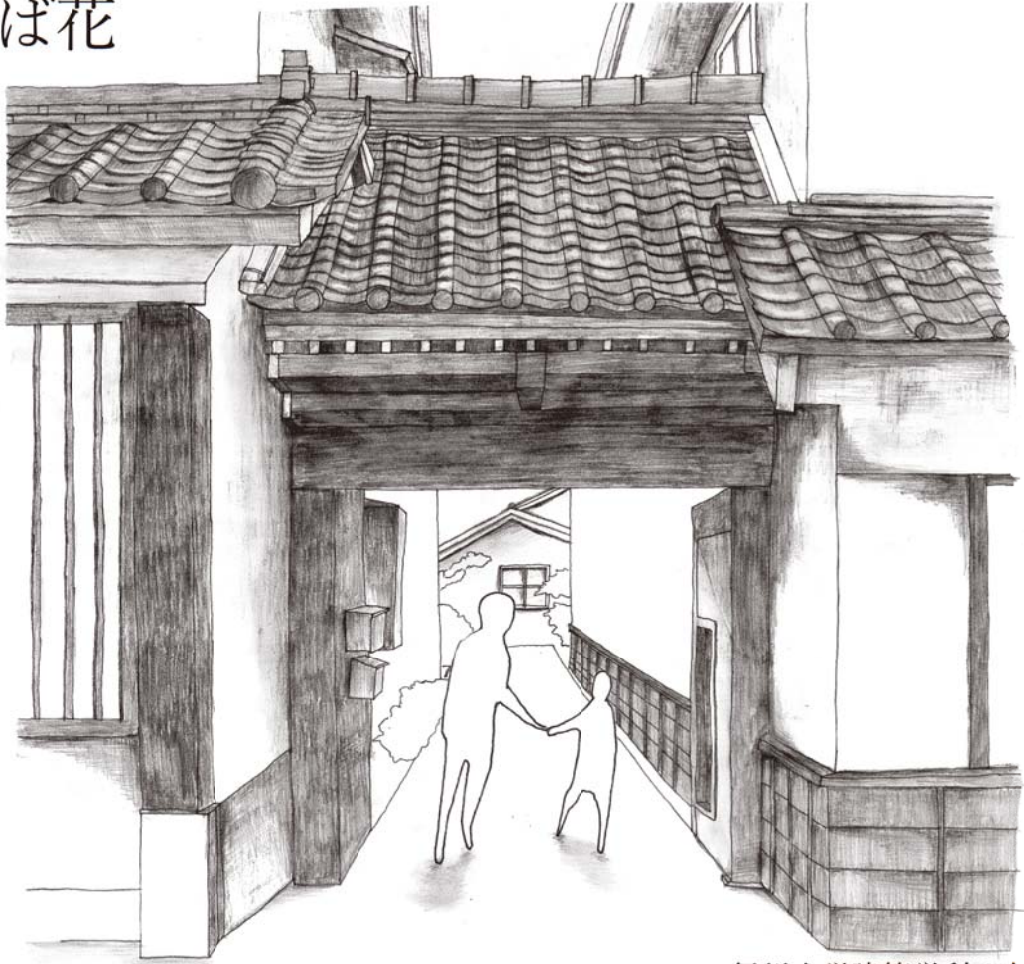
●対象街区写真 東側



●対象街区写真 南側



秘すれば花



信州大学建築学科 3年 鈴木裕梨

秘すれば花

美しいものはむやみに公開せず、秘とすることこそ美しい



課題・魅力の調査

課題

- ・ 人通りが少なく、活気がない
- ・ 須坂から出ていく若者が多い
- ・ 核家族化、少子高齢化
- ・ 住民の観光地としての意識がない

魅力

×

- ・ 須坂蔵のまちなみの中心となる通り
- ・ 美しい庭の風景
- ・ 蔵と門に囲まれた秘密の庭空間

課題・魅力の調査

課題

- ・ 人通りが少なく、活気がない
- ・ 須坂から出ていく若者が多い
- ・ 核家族化、少子高齢化
- ・ 住民の観光地としての意識がない

魅力

×

- ・ 須坂蔵のまちなみの中心となる通り
- ・ 美しい庭の風景
- ・ 蔵と門に囲まれた秘密の庭空間



家族のための庭であった



街区がに賑わうことで建物が増え、
囲い庭ができ、交流の場となる

STEP 1 : 序 住民の意識を高める

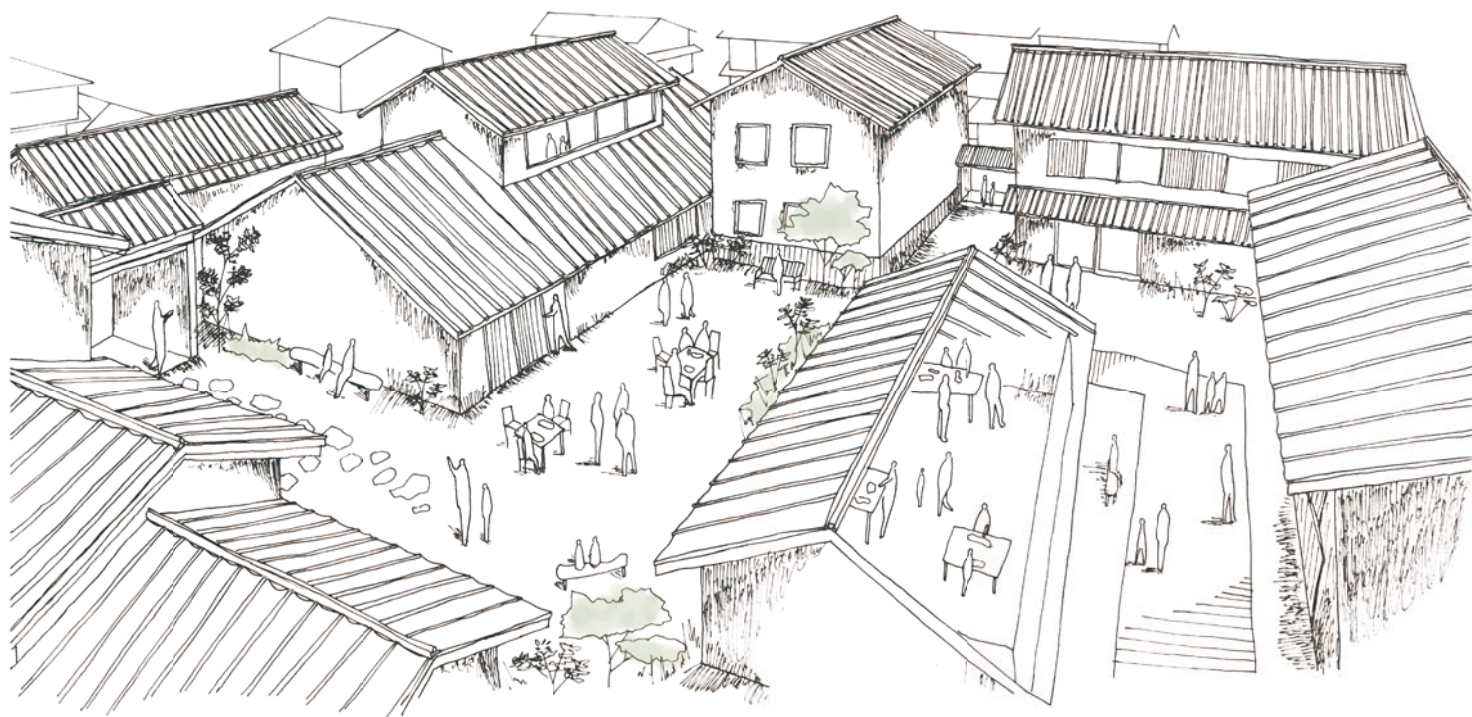
道と蔵の朝市の再生

STEP 2 : 破 地域とのかかわり

小道と児童図書館・街なか教室

STEP 3 : 急 囲い庭による密な交流

住居店舗の増築と囲い庭



序

市民の意識を高める

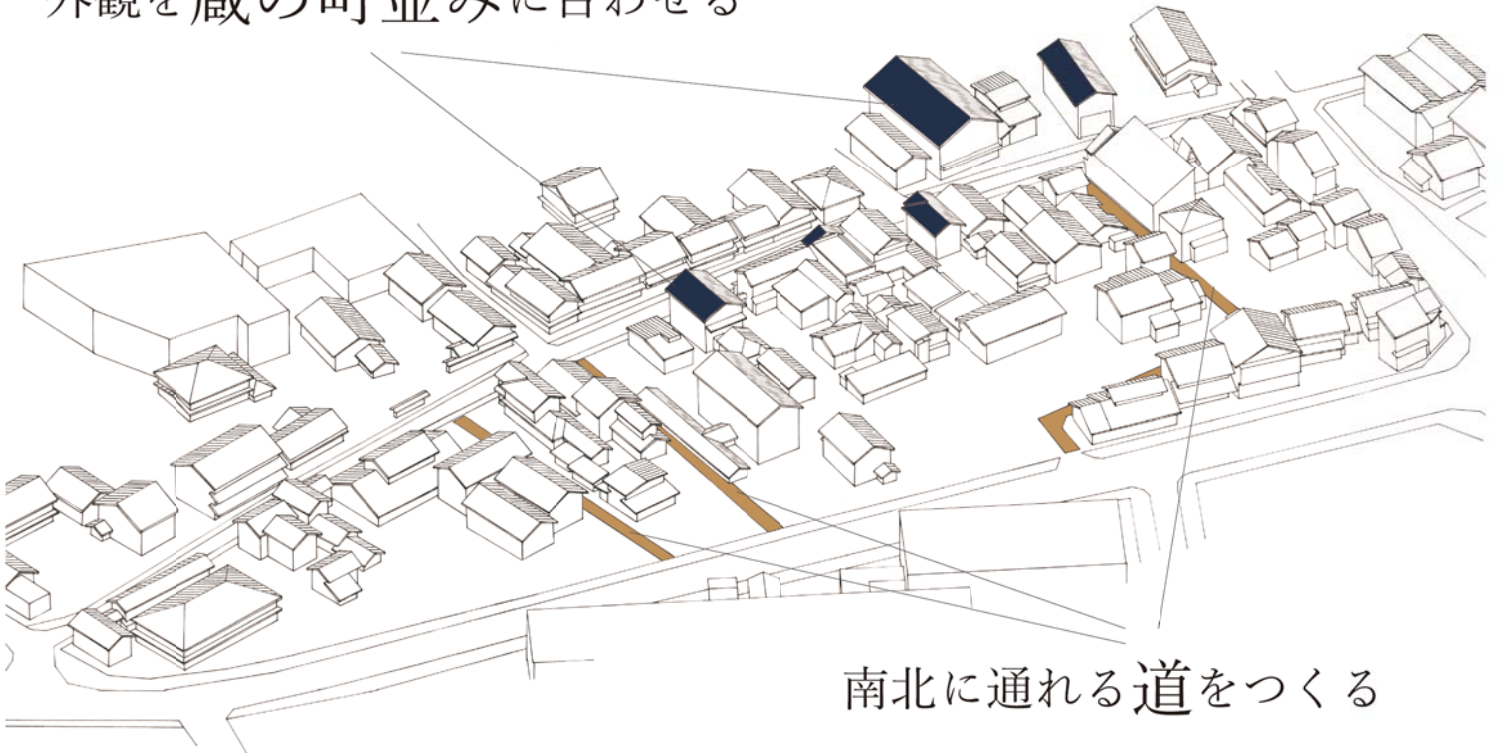
STEP 1：序 住民の意識向上



お百 shop を朝市としてこの街区の中心であるまゆぐらに移転

STEP 1：序 住民の意識向上

外観を蔵の町並みに合わせる



南北に通れる道をつくる

STEP 1：序 住民の意識向上

再生前



再生後



STEP 1：序 住民の意識向上

再生前



再生後



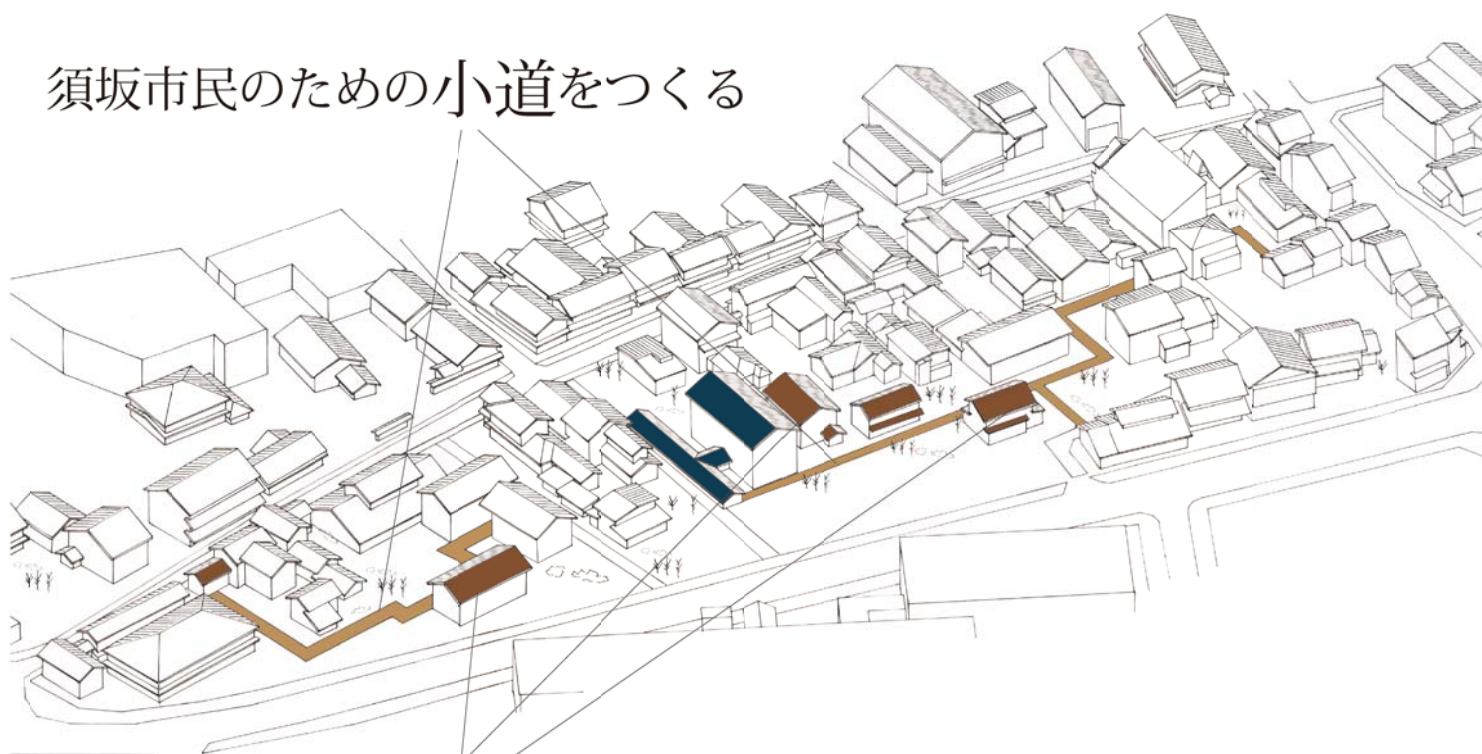
住民に須坂の蔵の町並みの中心地であるという意識付け

破

地域とのかかわり

STEP 2：破 地域とのかかわり

須坂市民のための小道をつくる

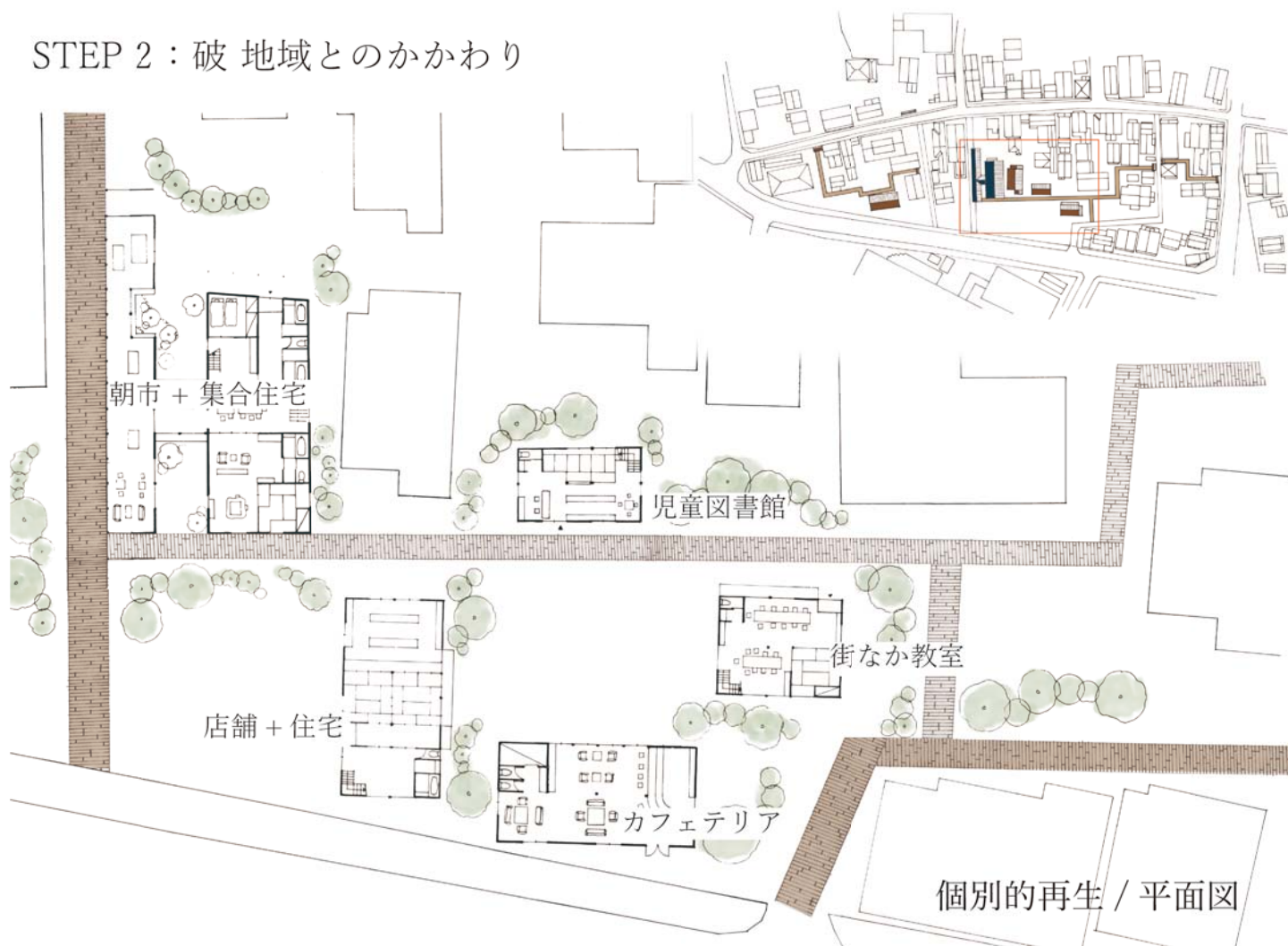


空家・空家予備軍を引き家して、新しい施設を作る

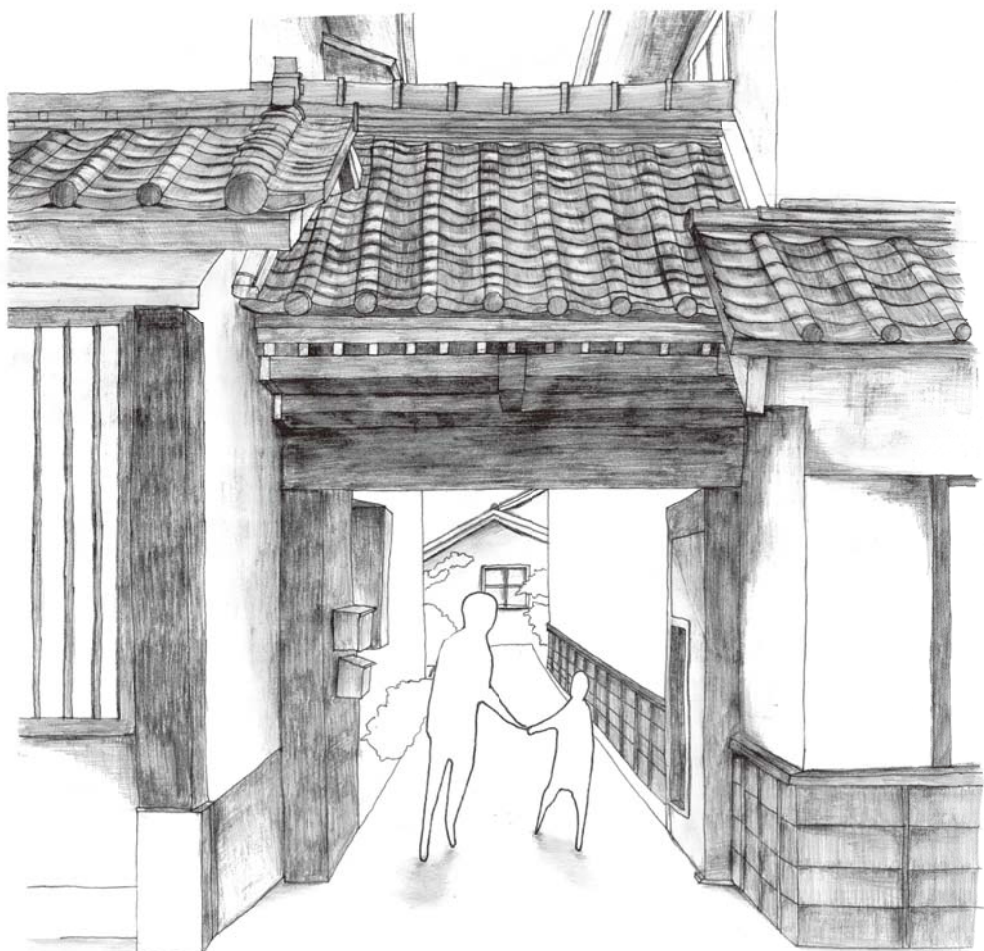
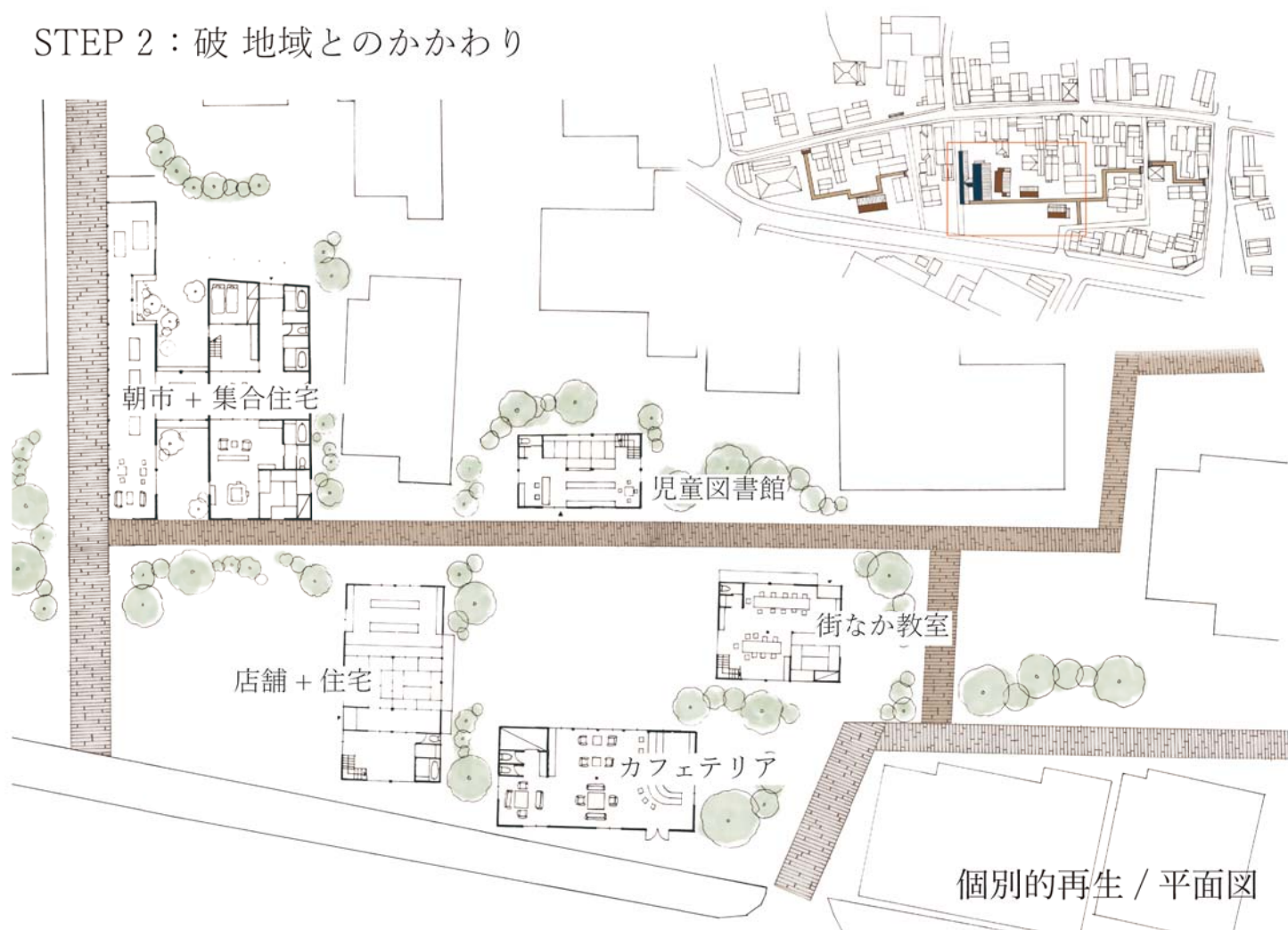
STEP 2：破 地域とのかかわり



STEP 2：破 地域とのかかわり



STEP 2：破 地域とのかかわり



小道は門によって区切られ、地域住民のための空間となる

急

囲い庭による密な交流

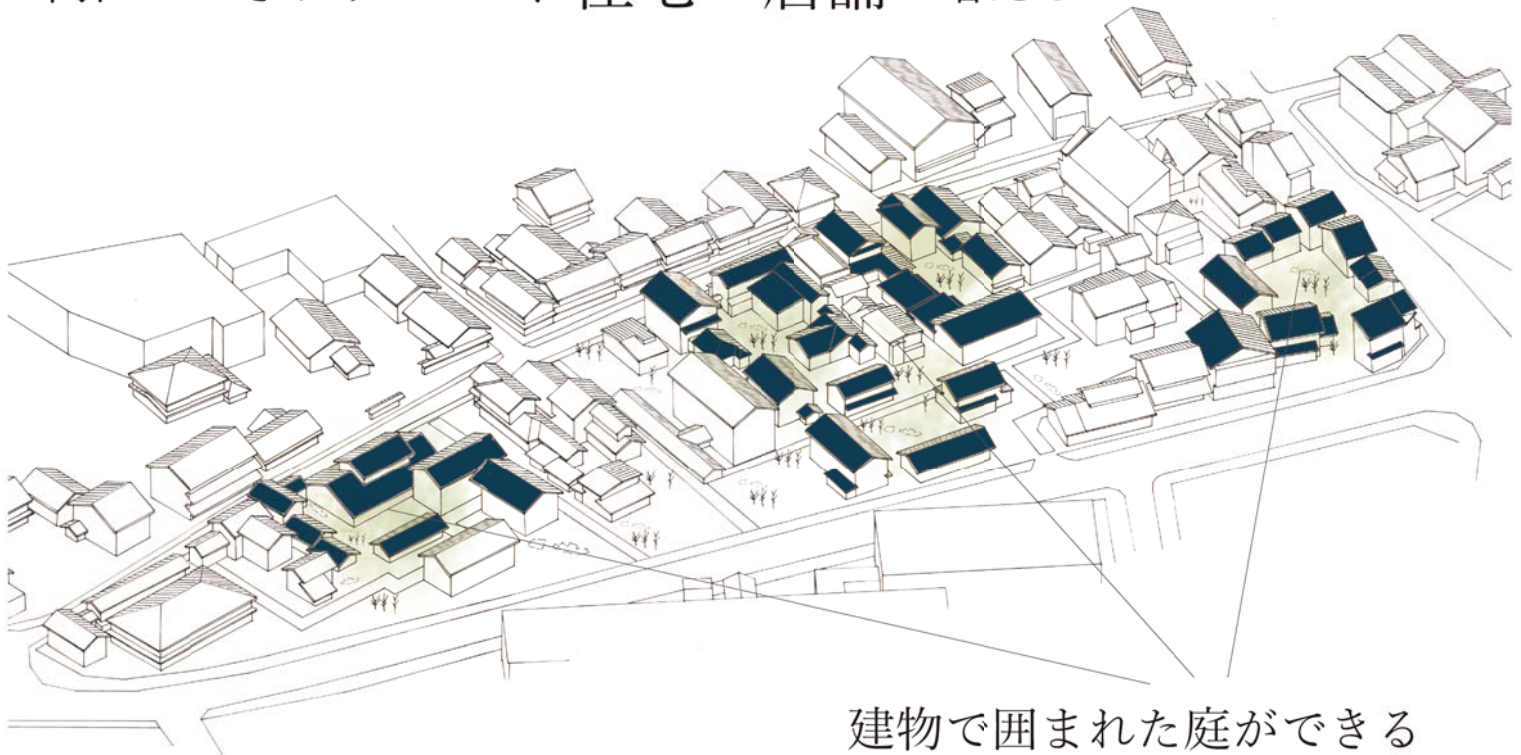
STEP 3：急 囲い庭による密な交流

街区がにぎわうことで、住宅・店舗が増える



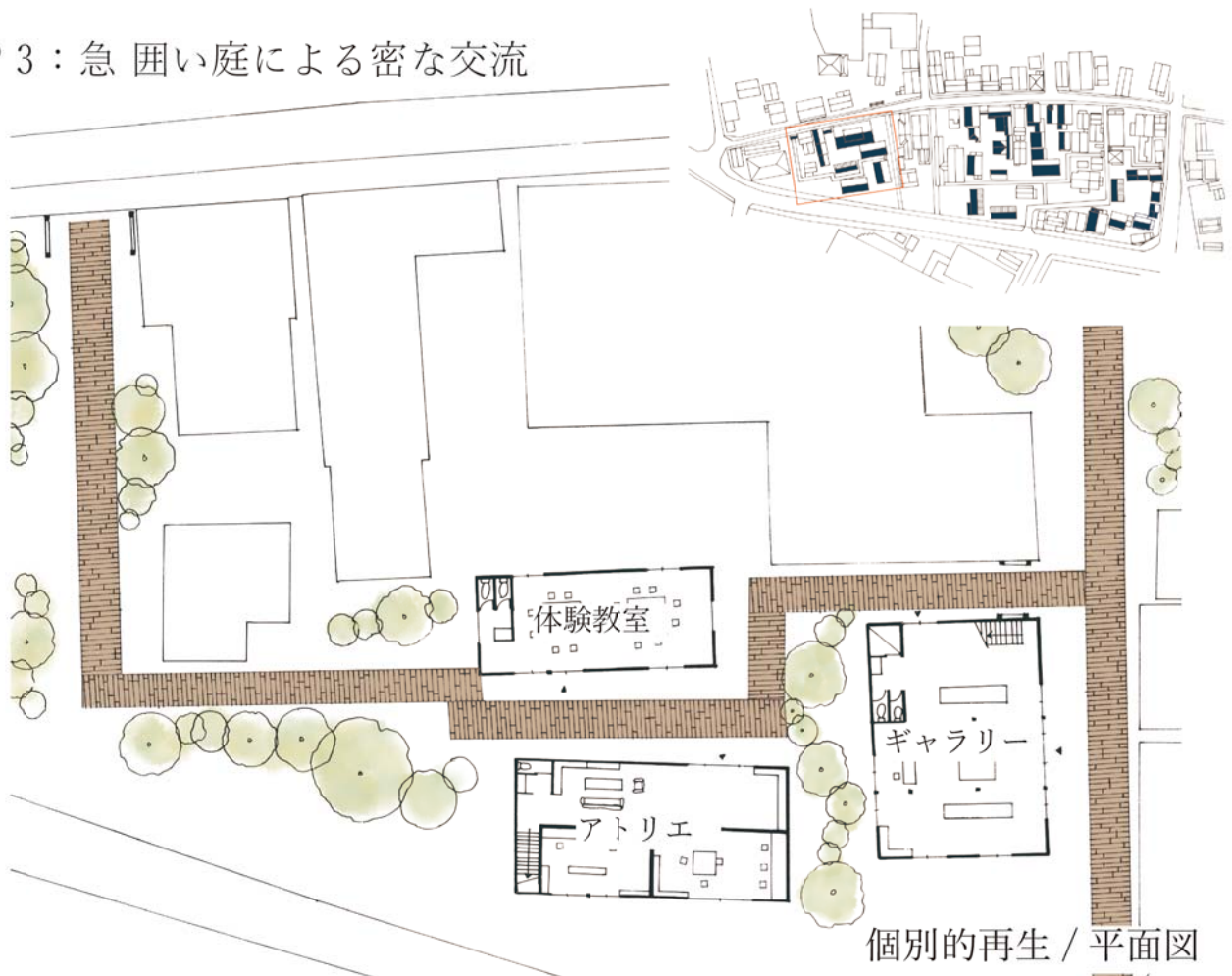
STEP 3：急 囲い庭による密な交流

街区がにぎわうことで、住宅・店舗が増える

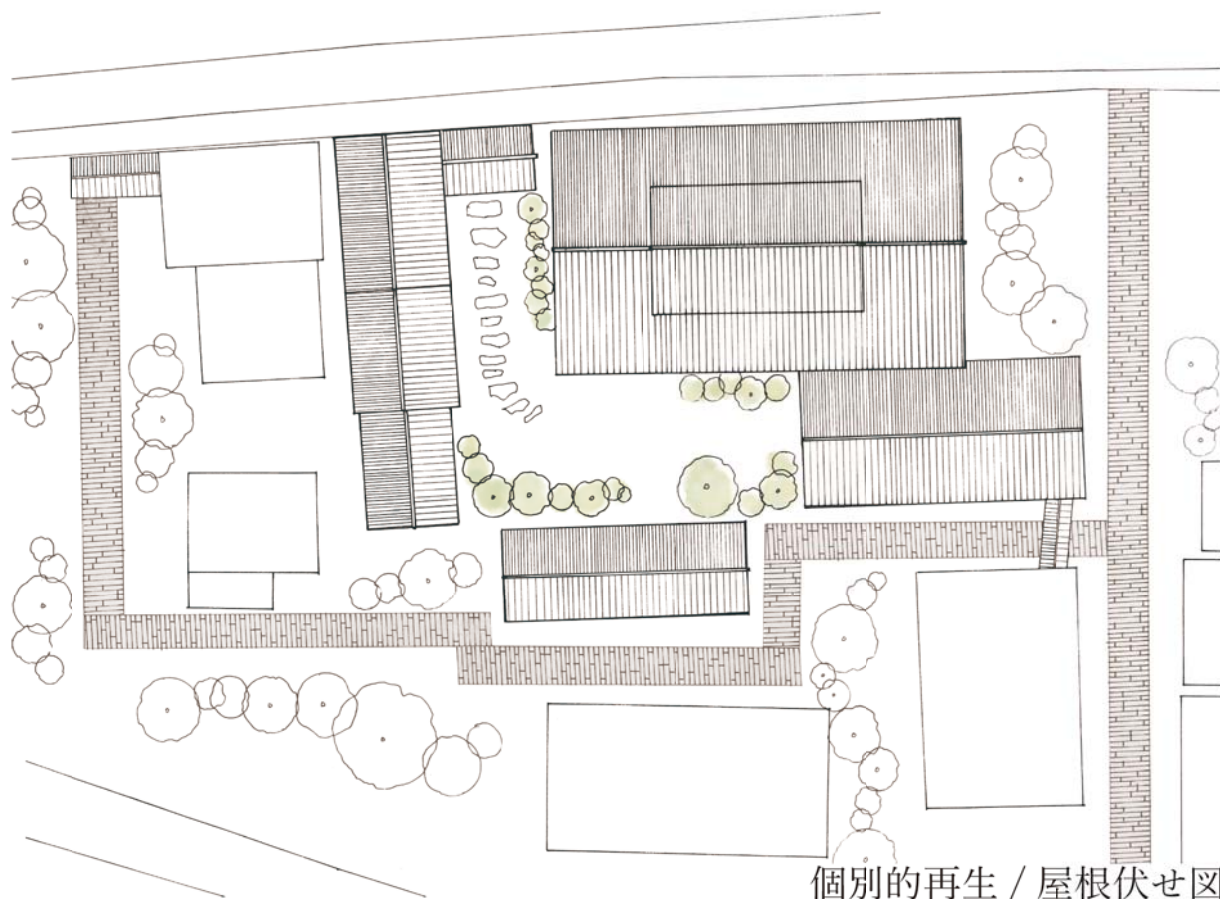


建物で囲まれた庭ができる

STEP 3：急 囲い庭による密な交流

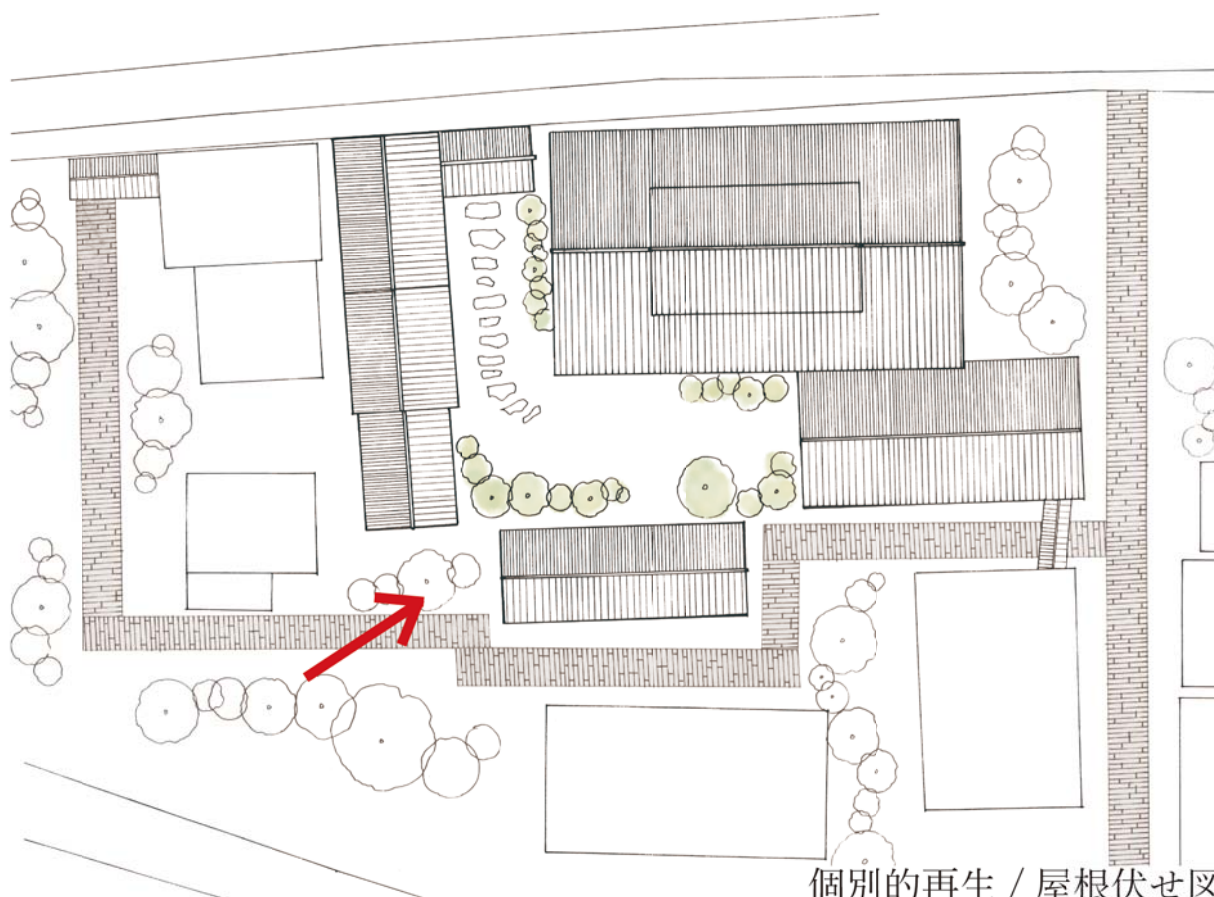


STEP 3：急 囲い庭による密な交流

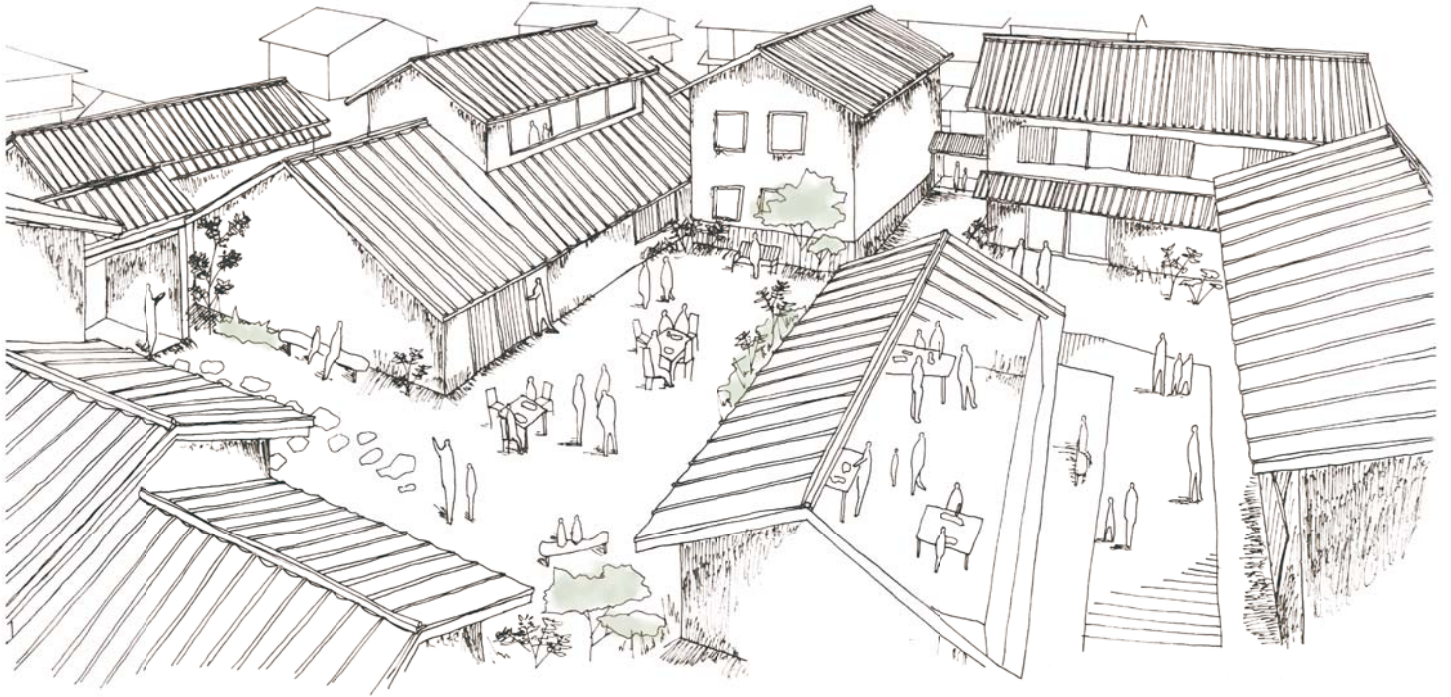


個別的再生 / 屋根伏せ図

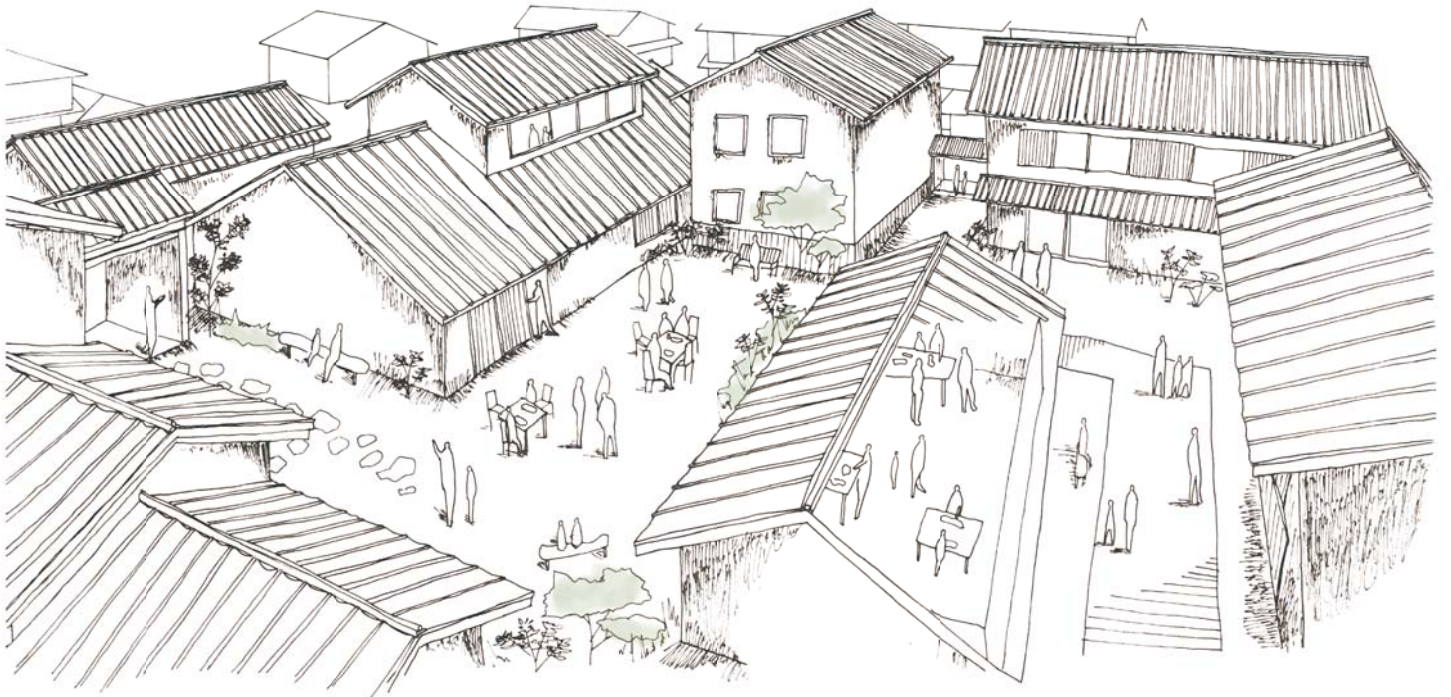
STEP 3：急 囲い庭による密な交流



個別的再生 / 屋根伏せ図



建物で囲まれた庭と住民のための径



建物で囲まれた庭と住民のための径
御清聴ありがとうございました

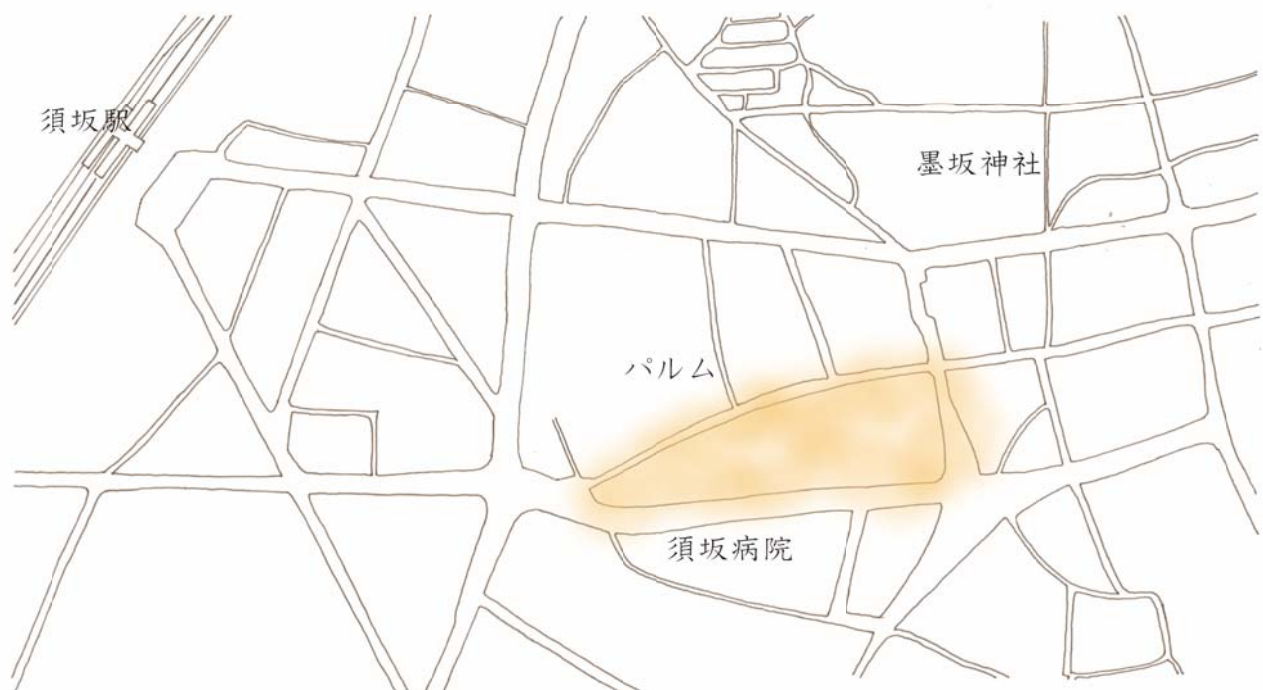
表裏一体

信州大学3年 高薄英理



須坂

歴史と自然の香る街

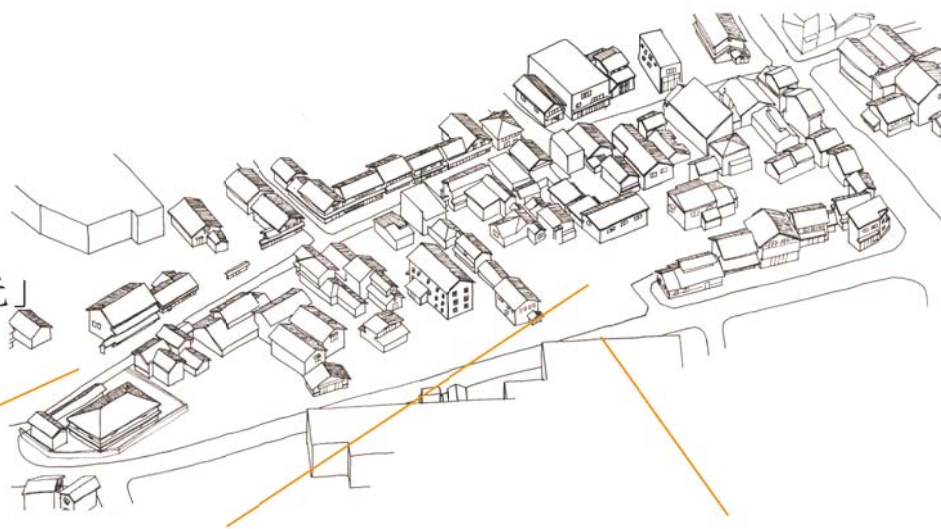


街区

製糸業で栄えた蔵の街

・外国人からも

人気のある「暮らし観光」



蔵の街、銀座通り



駐車場などの隙間



須坂病院、住宅

問題点

- ・銀座通りの車通りが多い
- ・憩いの場がない
- ・駐車場によって隙間ができてしまう

問題点

- ・銀座通りの車通りが多い → 銀座通りを活性化させることで車通りを減らす
- ・憩いの場がない → 広場などの憩いの場を整備
- ・駐車場によって隙間ができてしまう → 隙間の活用、広場の整備

プログラム



全体の流れ

居住環境

STEP1	表	店舗の再生・拡大	商業の発展
STEP2	裏	住居と公共施設	生活の充実
STEP3	奥	広場・緑の創出	憩いの場の創出

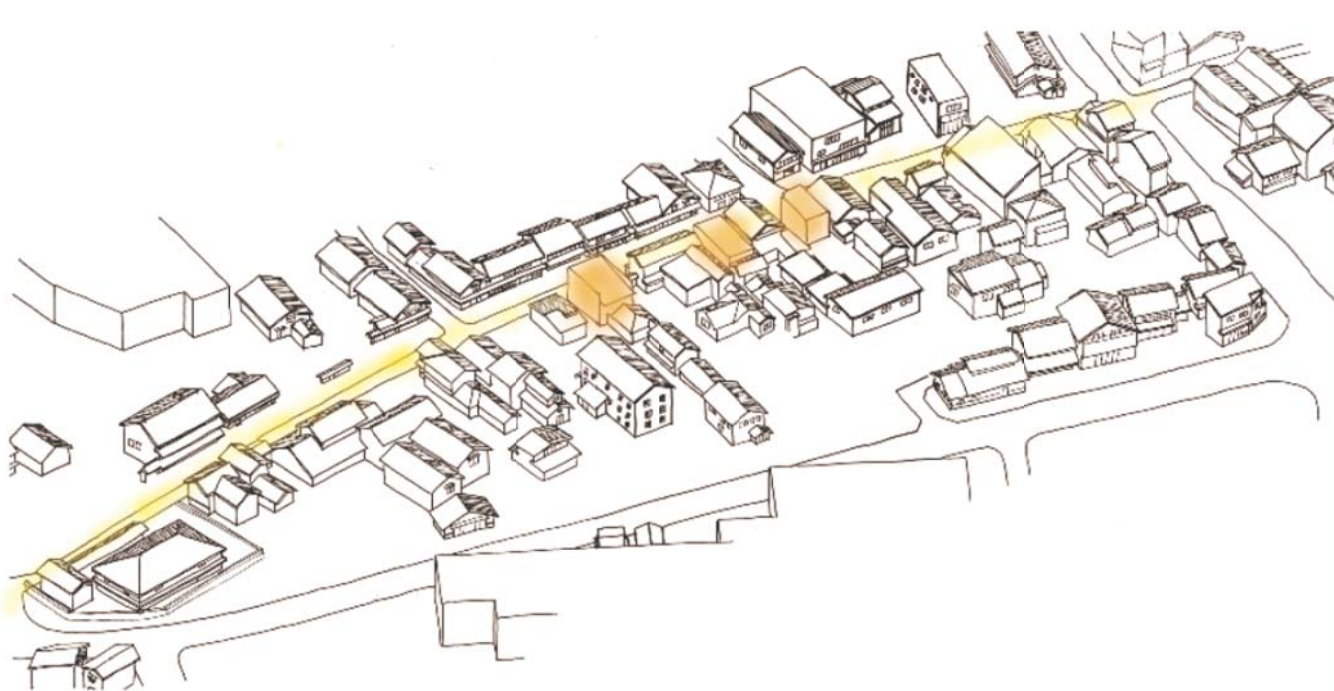


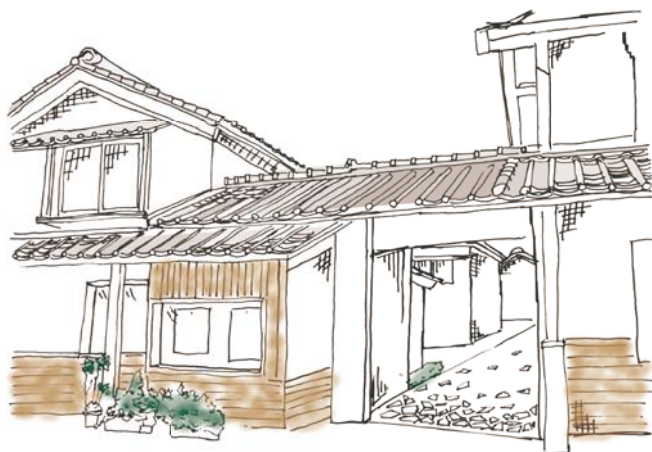
表（パブリック）：観光客の動線

裏（プライベート）：地元の人の動線

奥：交流空間：観光客と地元の人が出会う場所

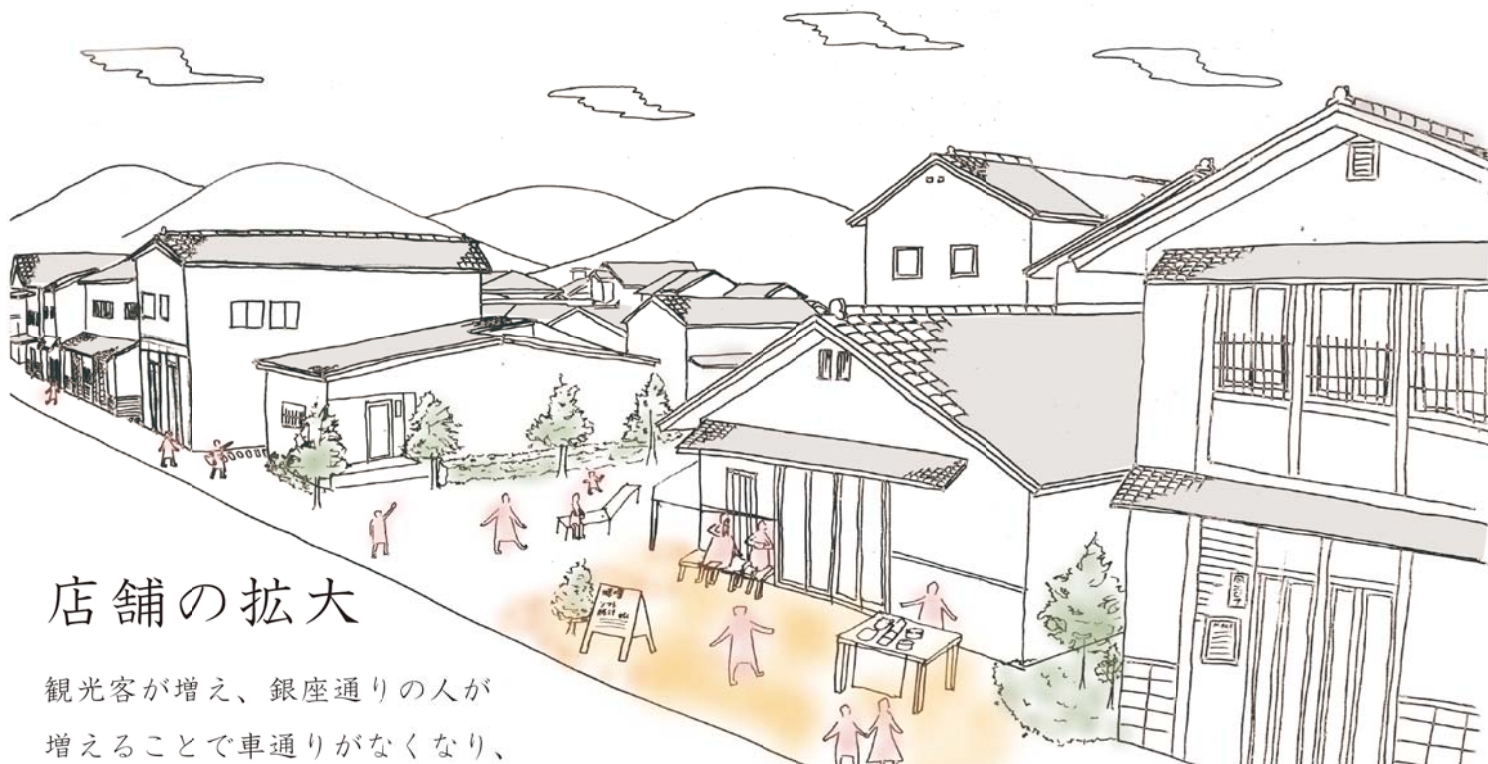
STEP 1 表 店舗の再生・広がり





店舗の再生

屋根並をそろえ、
腰壁や須坂格子を増やす



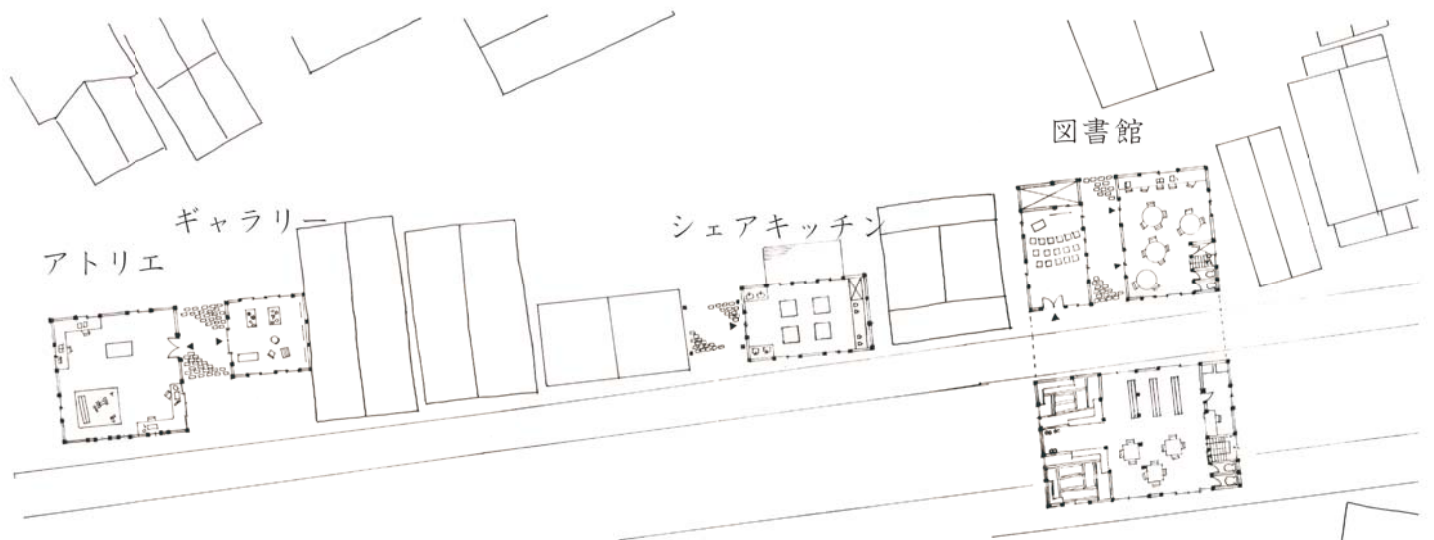
店舗の拡大

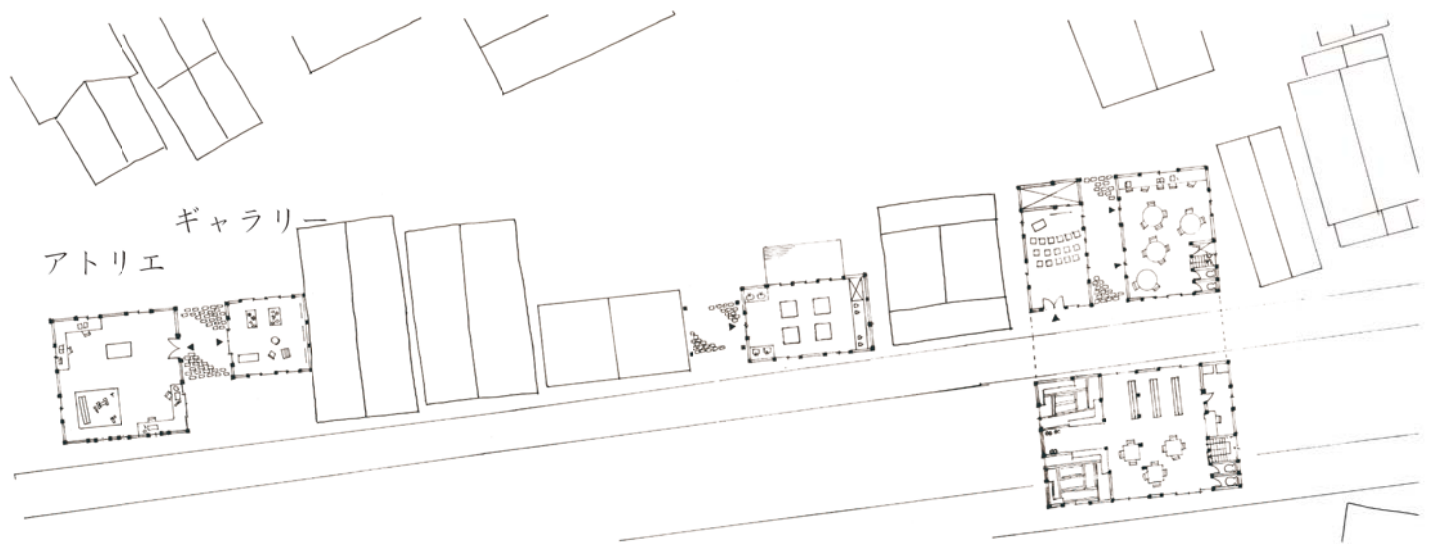
観光客が増え、銀座通りの人が
増えることで車通りがなくなり、
以前、駐車場だった場所に
その店舗をはみだす。そのことにより
その店舗が活性化し、
街区としても商業が発展していく

STEP 2 裏 公共施設



住民 学生 アーティスト 観光客 通院する人
(バックパッカー)





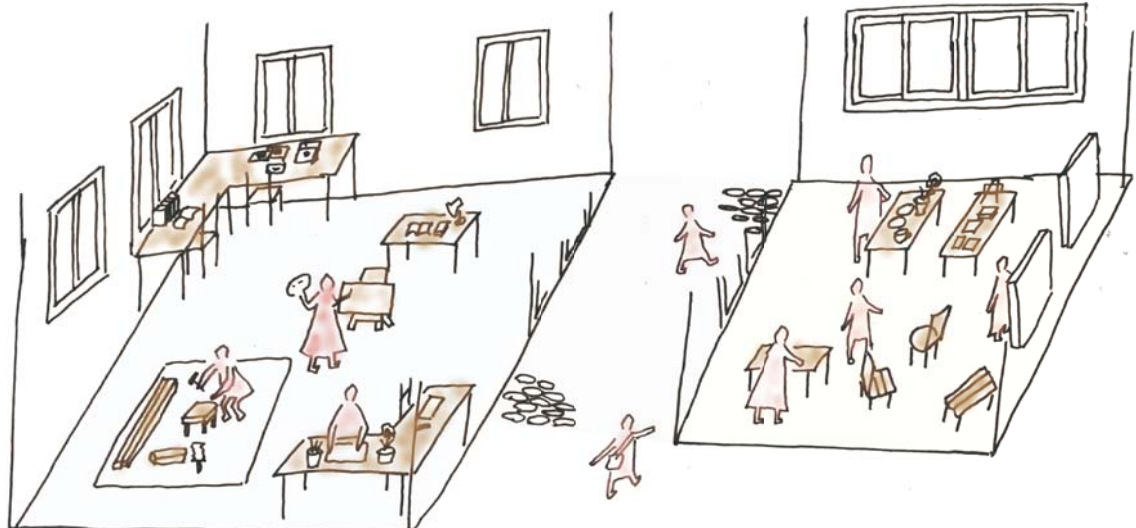
アトリエ

通り土間

ギャラリー

地域の人がモノづくりを
したりする

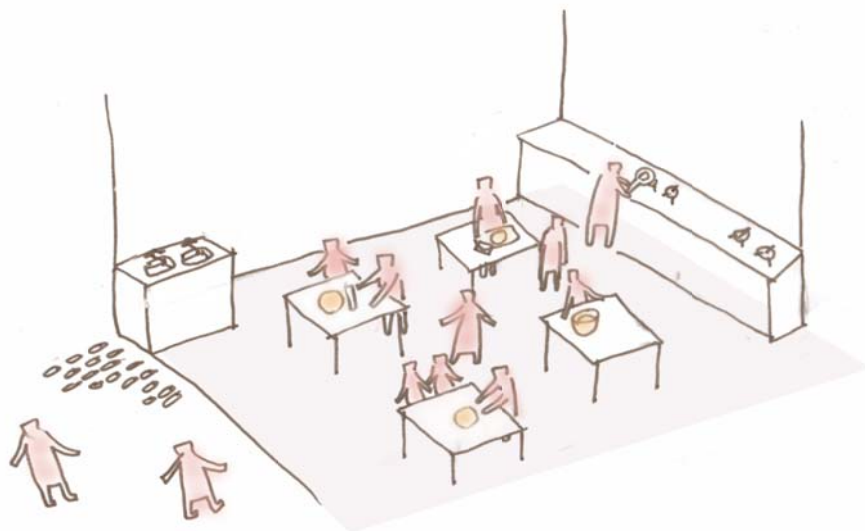
アトリエでつくられたものや
学生作品などが飾られたり、
販売される

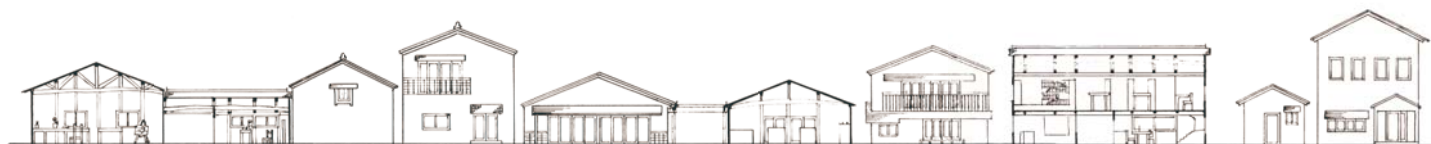
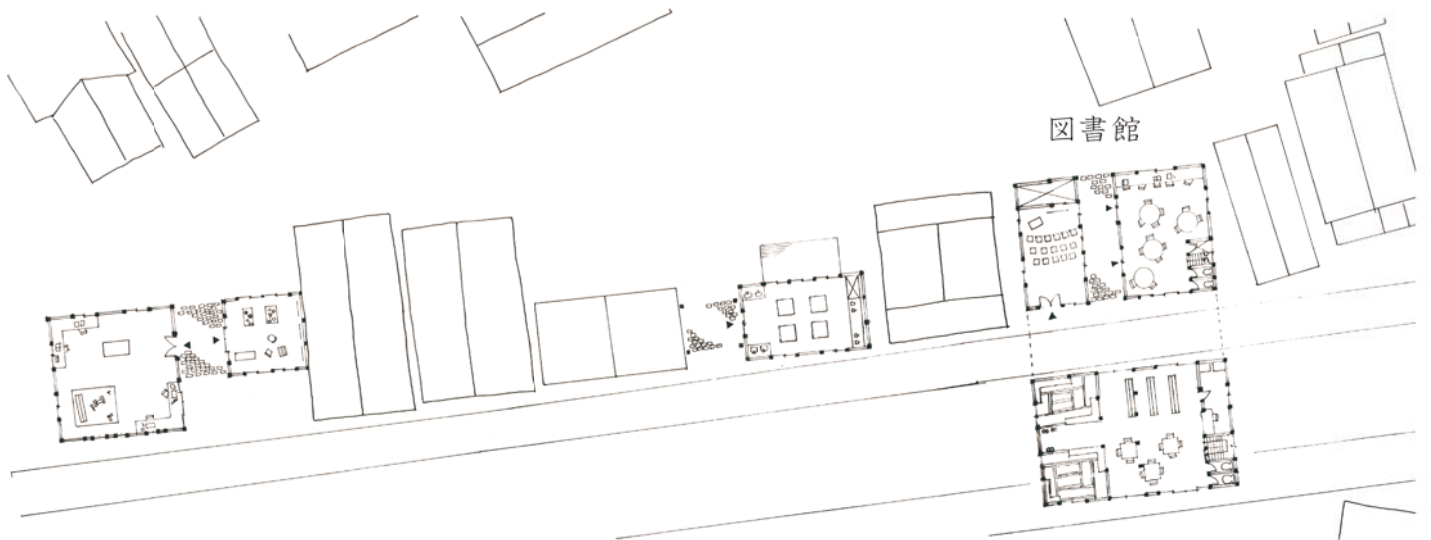




シェアキッチン

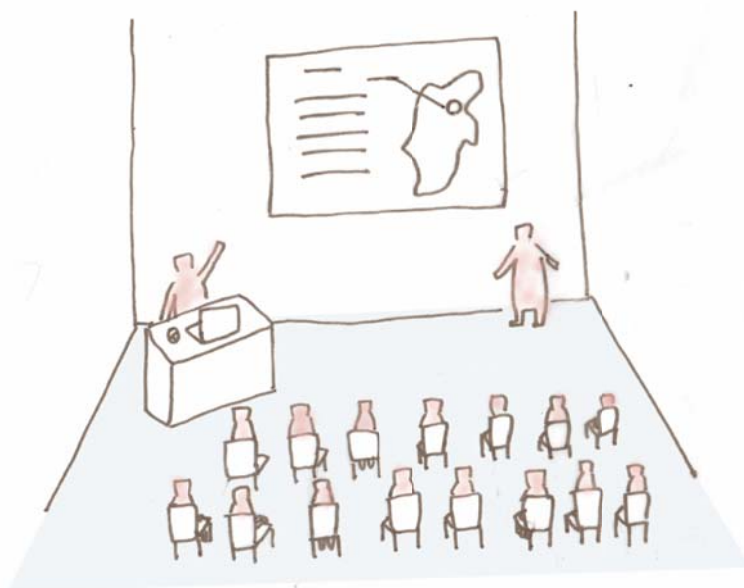
お百 shop で買ってきた野菜や特産品をつかった
料理教室を行ったり、そば打ち体験を行ったりする





図書館

1階は主に学生が利用するプレゼンルームや学習室があり、
2階は落ちより図書を中心とした図書館。



STEP 3 奥 広場・緑の創出



朝市・屋外イベント



ステップオーバーアップル

須坂の特産品である

このりんごは

非常に珍しく

またげる低さの木です。

ステップオーバーアップルや
野菜などの市民農園をつくる

個別的再生 まゆぐら

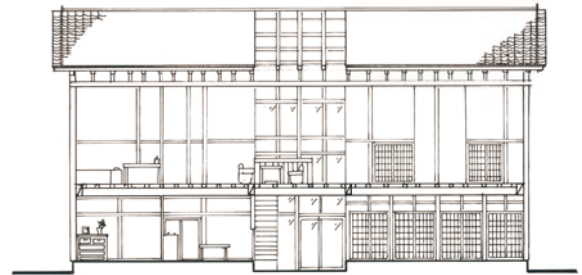
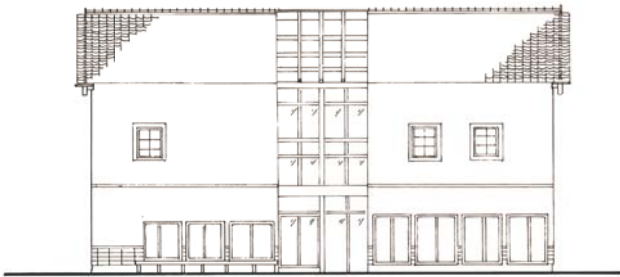
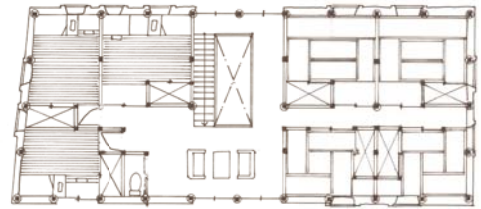
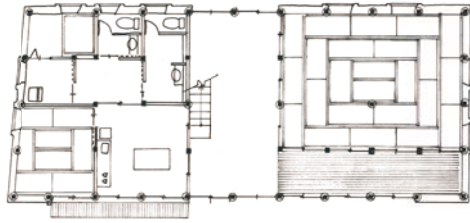
→ ゲストハウス



住民 学生 アーティスト 観光客 通院する人
(バックパッカー)

交流館であるまゆぐらは、ゲストハウスとして再生し バックパッカーなどが宿泊したり、アーティストインレジデンス を行ったりする。一階の通り土間は多くの人を訪れる。和室では須坂の文化である生花や茶席、着付けなどが行われる





ご清聴ありがとうございました



つなげる、 ふやす

須坂再生プロジェクト
信州大学工学部建築学科
吉野雄亮

序

ヒトが少ない

活気がない

序

対象街区に関わる人、
すなわち交流人口を増やす

序

アプローチ

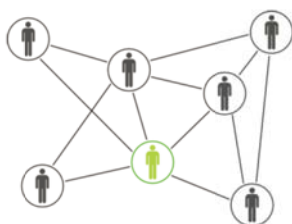
①

既存のヒトの
流動性を高める

②

新しいヒトを
呼び込む

ヒトがつながる



ヒトがふえる



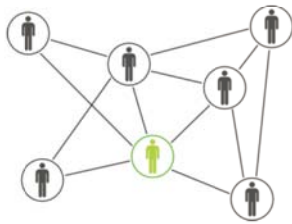
© Can Stock Photo

アプローチ

①

既存のヒトの
流動性を高める

ヒトがつながる



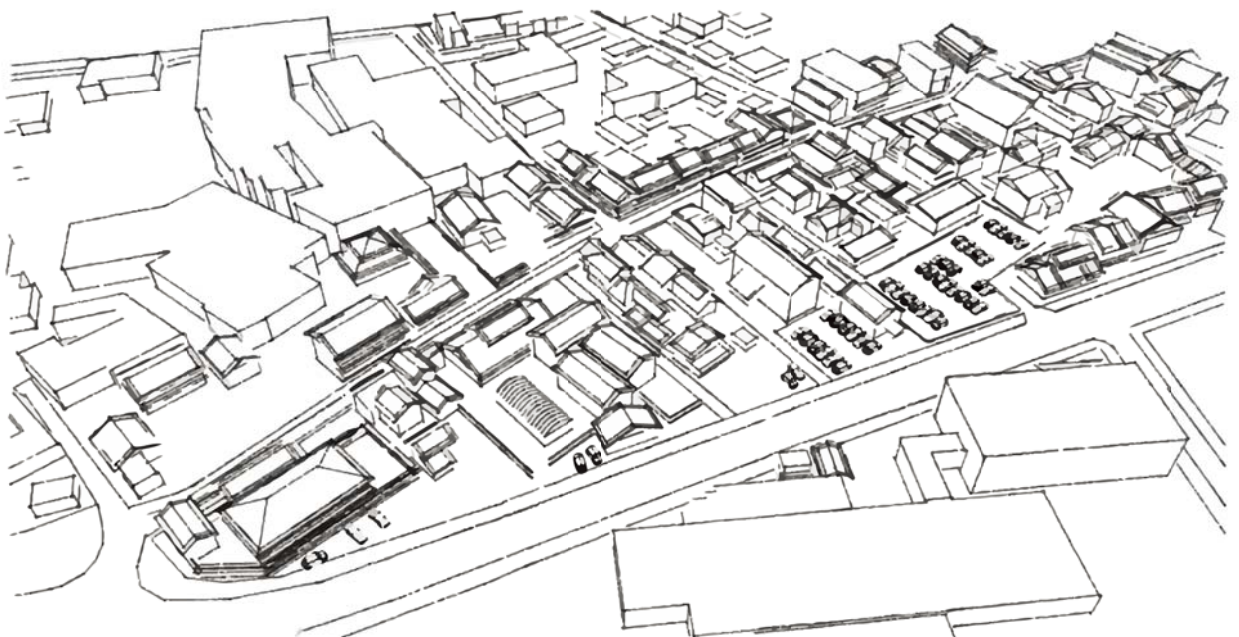
②

新しいヒトを
呼び込む

ヒトがふえる



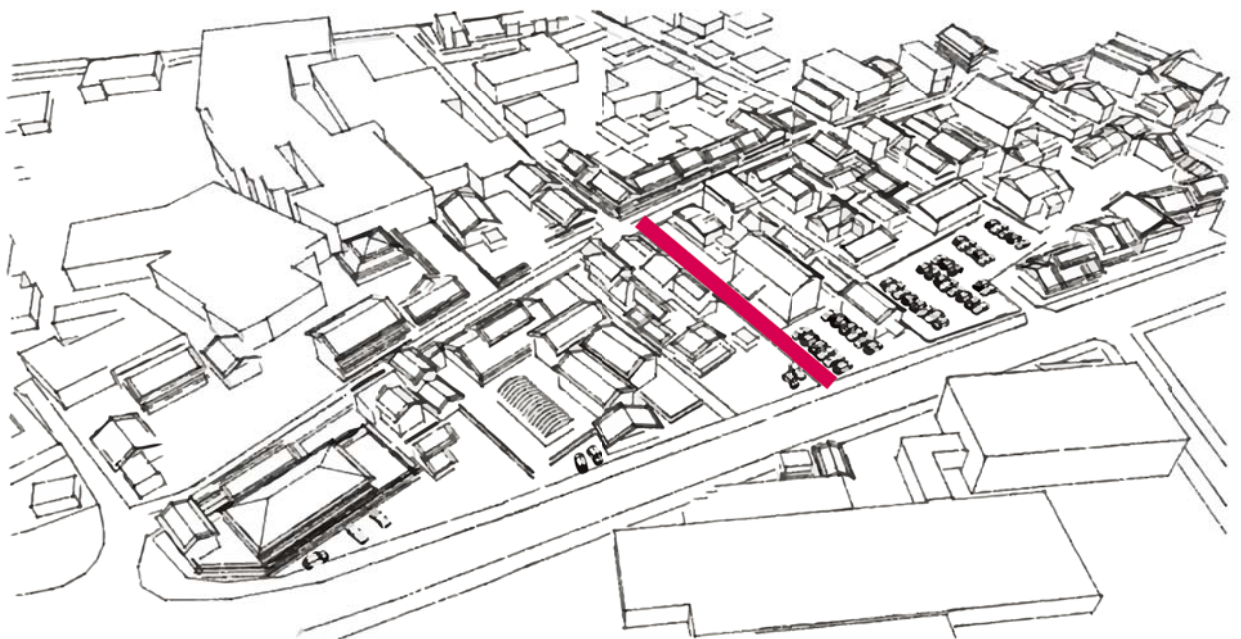
現状



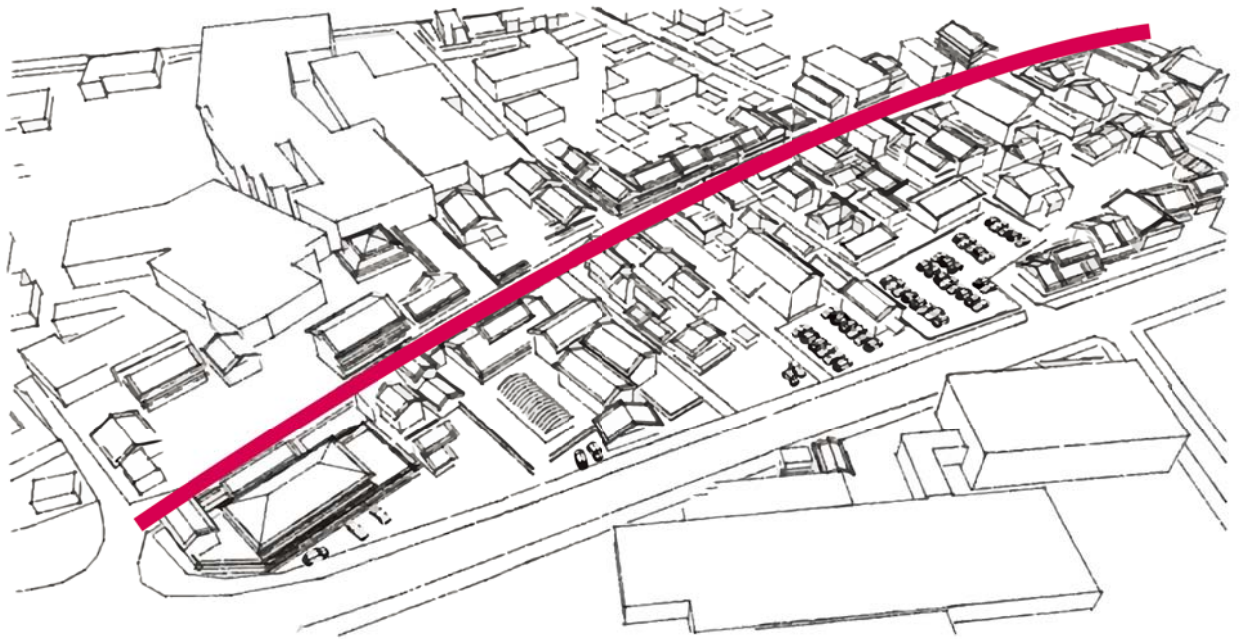
駐車場:多



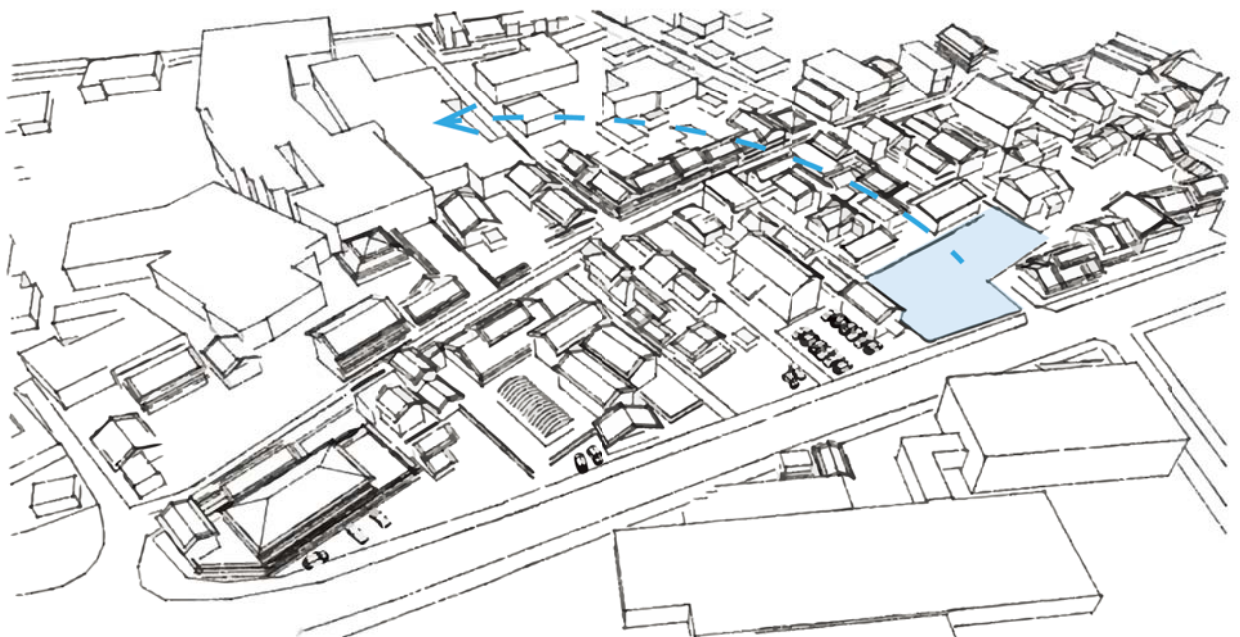
抜け道:少



銀座通り:危



Pの移転

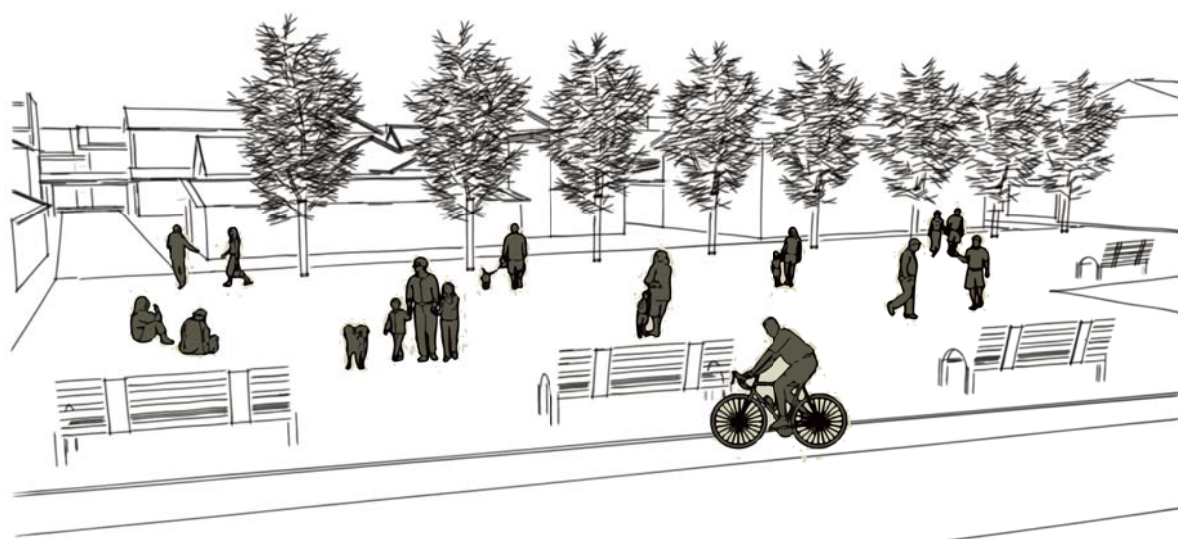


綠地整備

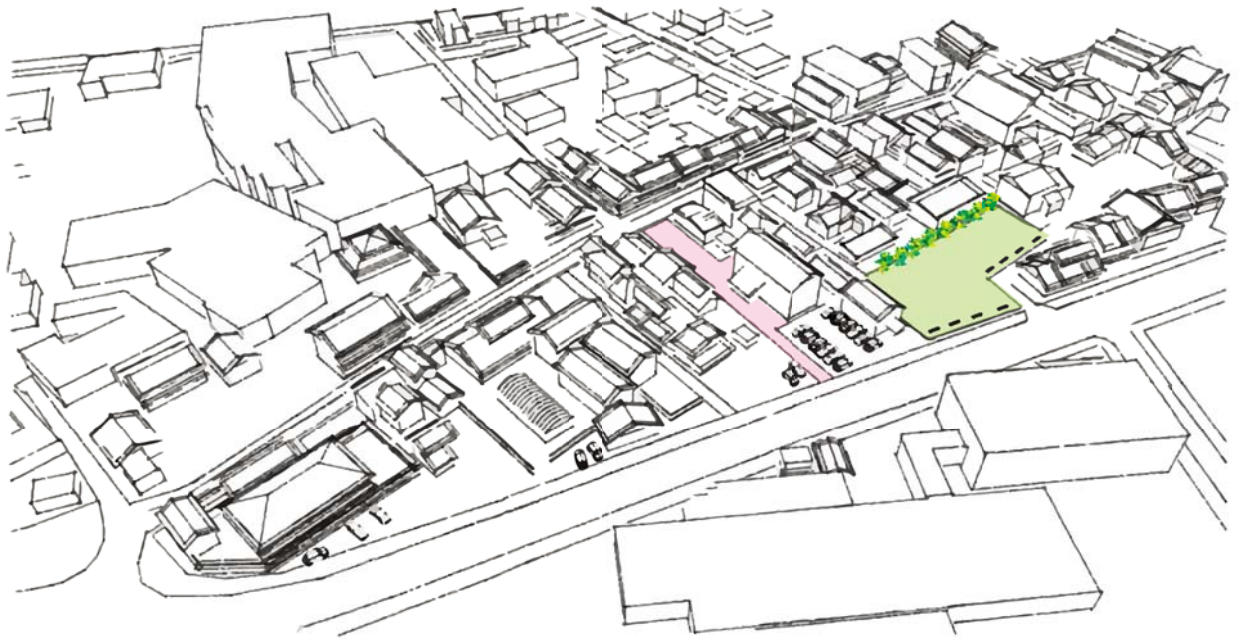
案1



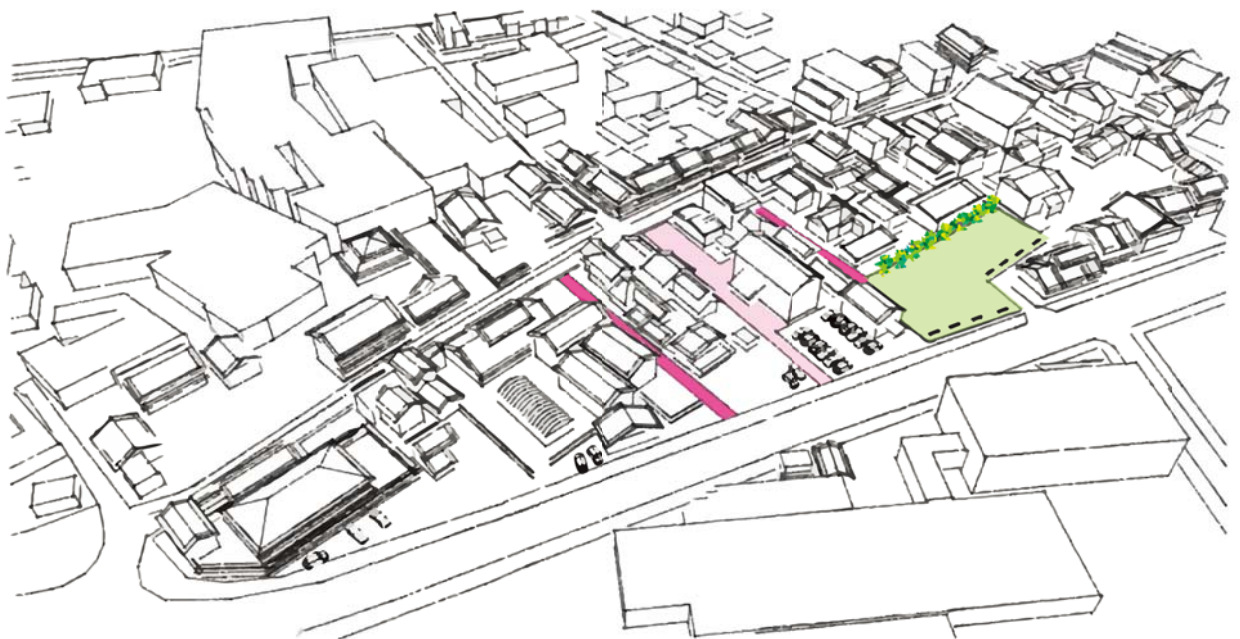
案1



抜け道を+



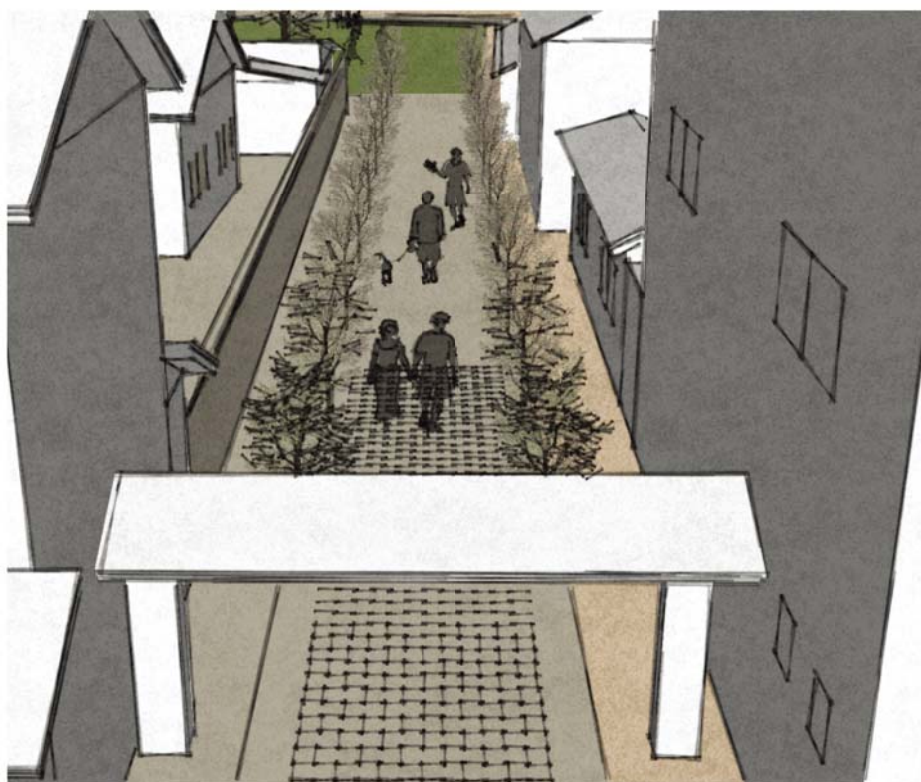
抜け道を+



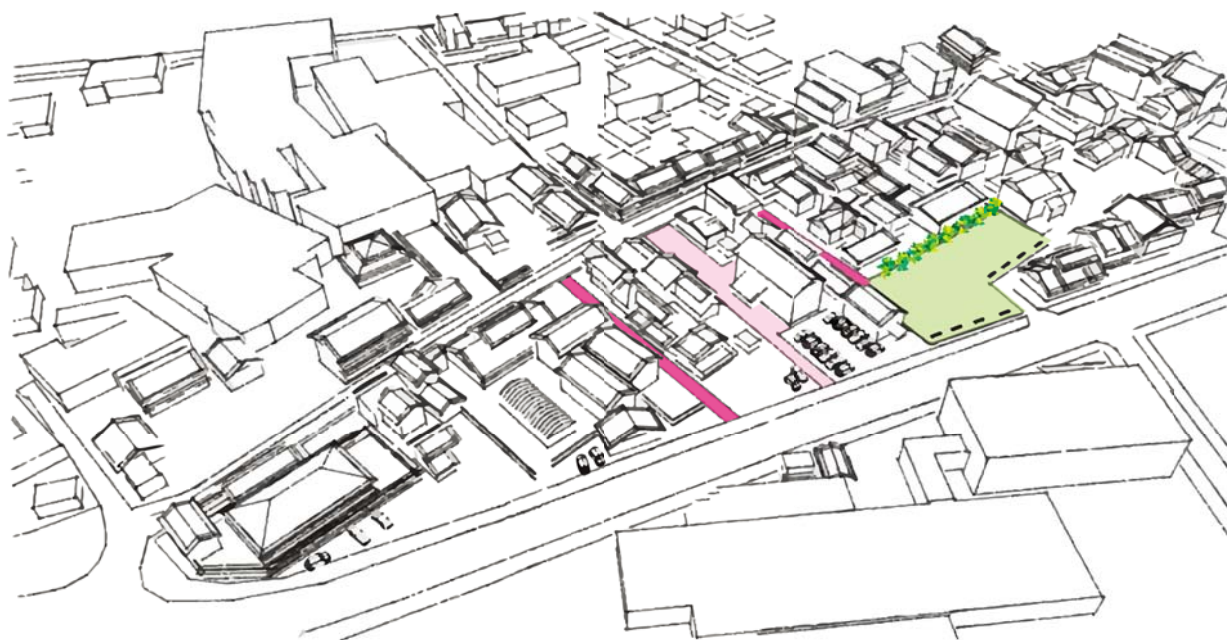
案1



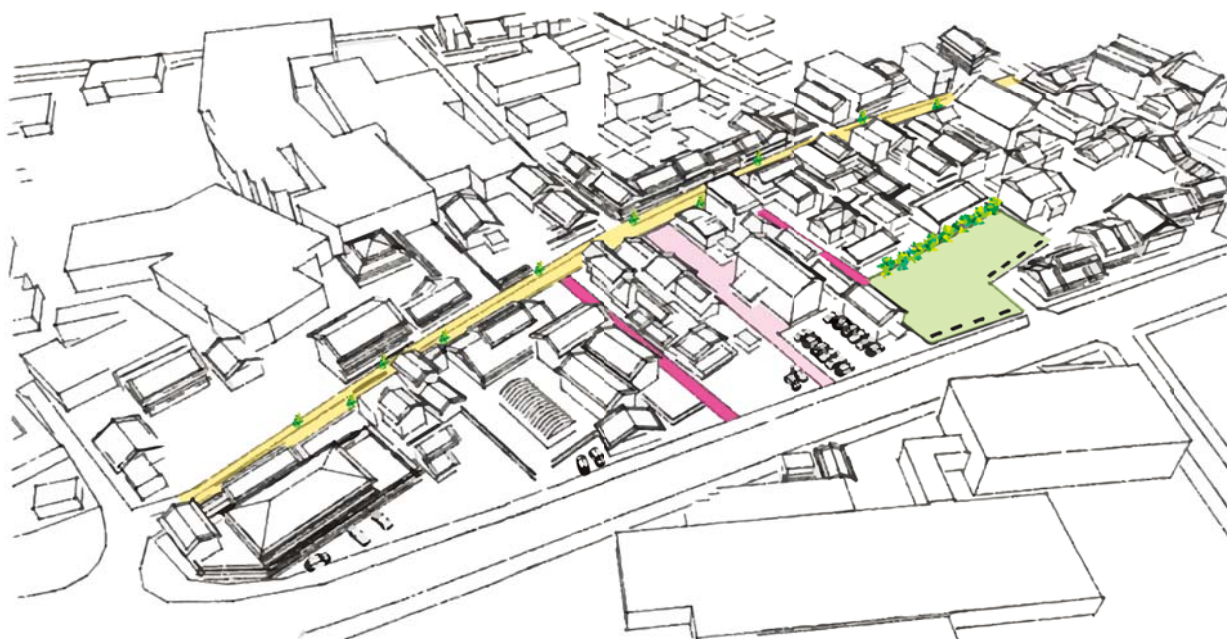
案1



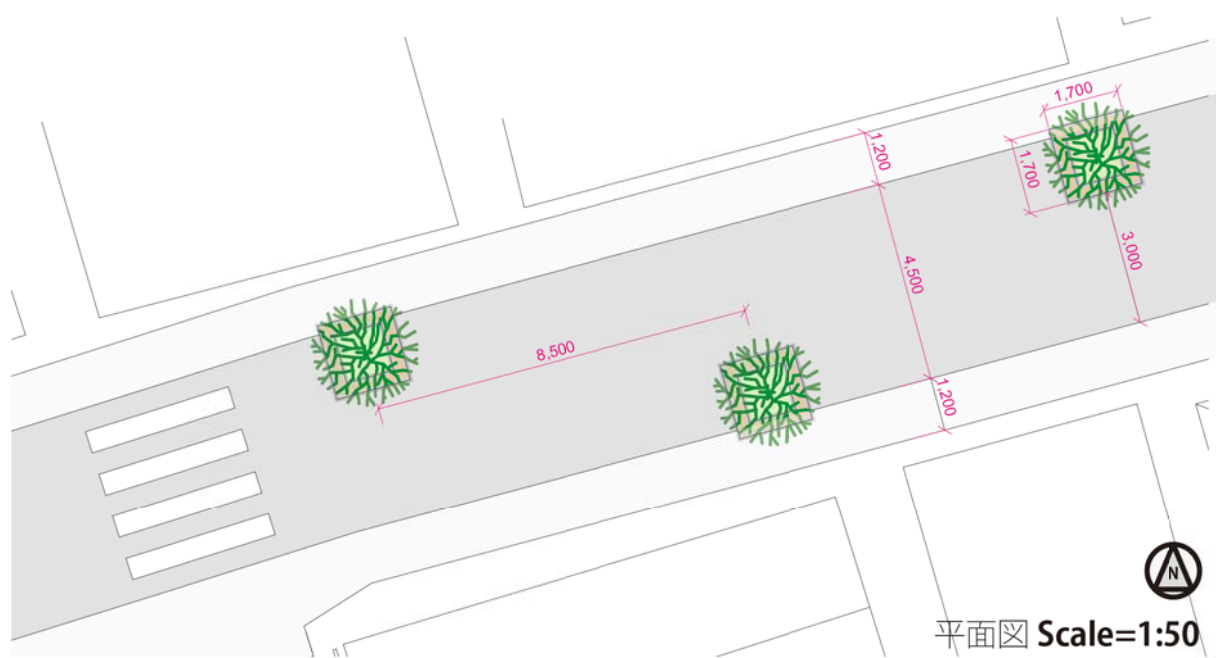
歩行者への配慮



歩行者への配慮



案1



案1



アプローチ

①

既存のヒトの
流動性を高める

ヒトがつながる



②

新しいヒトを
呼び込む

ヒトがふえる



アプローチ

①

既存のヒトの
流動性を高める

ヒトがつながる



②

新しいヒトを
呼び込む

ヒトがふえる





パルムの活用





一定期間、若い起業家へテナントを無料で貸出す



初期投資



初期投資



パルムの空きテナント



低コストで活用

長期滞在の可能性

交流人口 & 多様性UP

対象街区への影響大



低コストで活用

長期滞在の可能性

交流人口 & 多様性UP

対象街区への影響大



低コストで活用

長期滞在の可能性

交流人口 & 多様性UP

対象街区への影響大



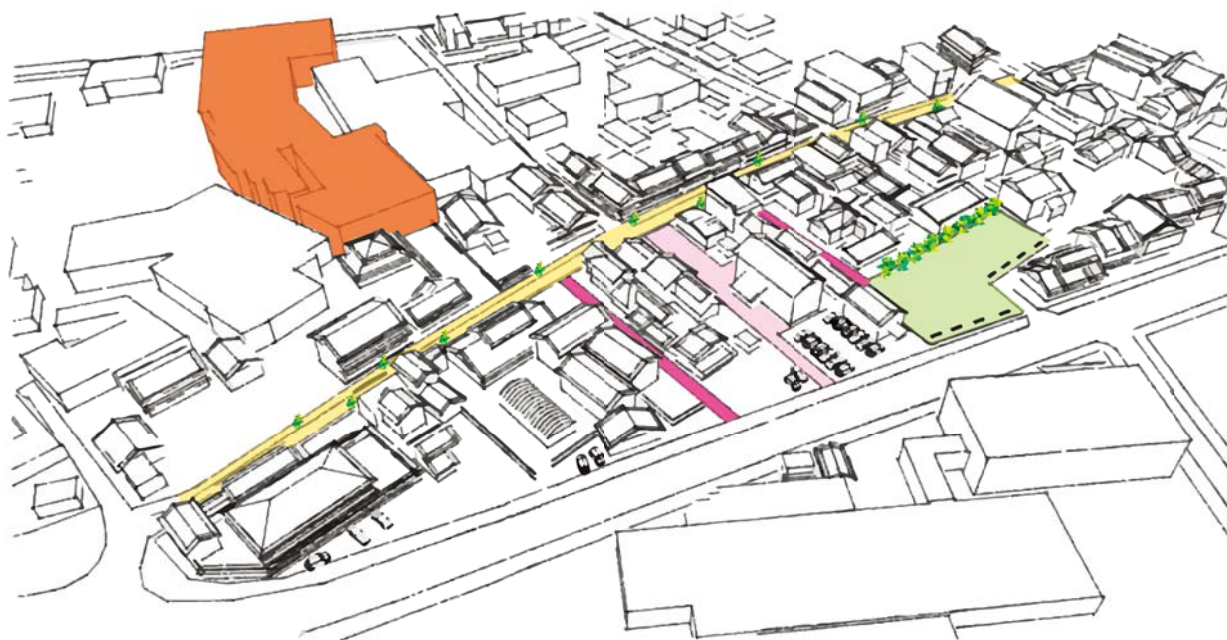
低コストで活用

長期滞在の可能性

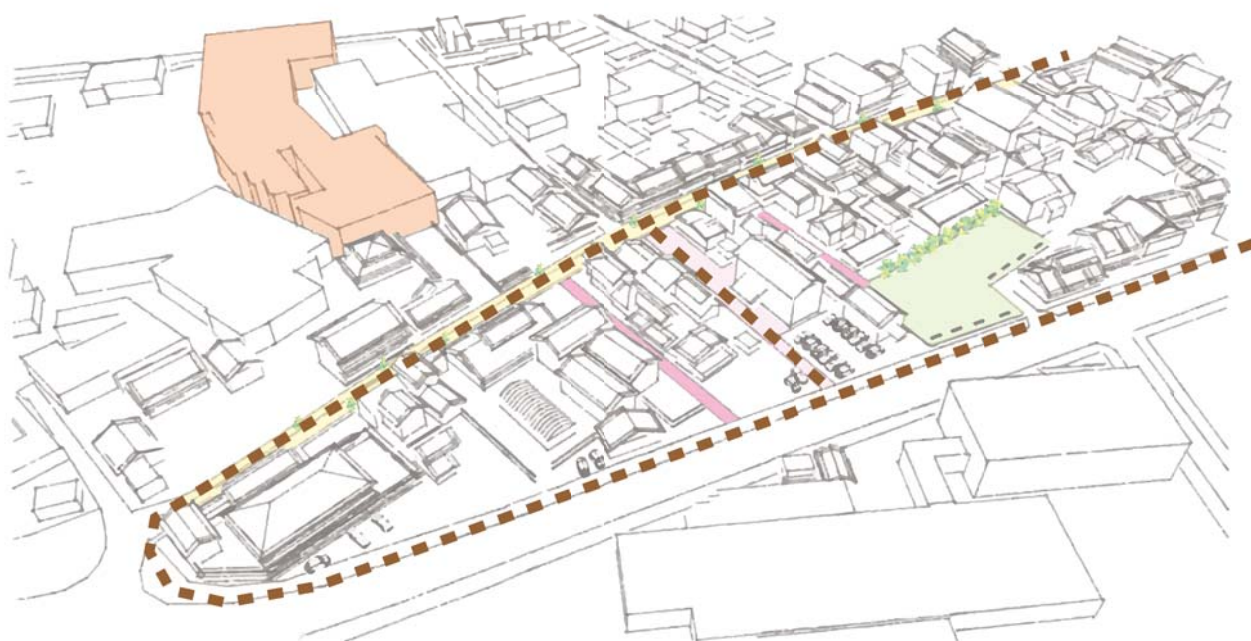
交流人口 & 多様性UP

対象街区への影響大

まとめ



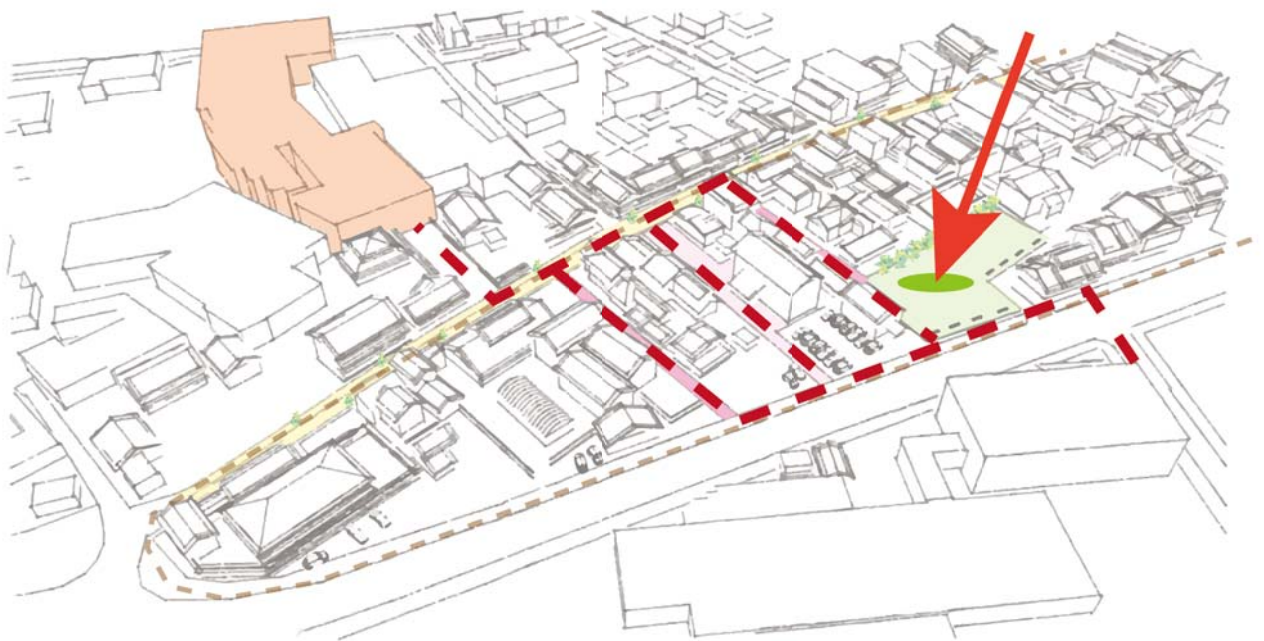
動線



動線



動線





ご静聴ありがとうございました

民家の再生

2016.2.6

信州大学工学部建築学科

民家の再生－ふれあい館まゆぐら－

課題内容

須坂の町家を再生せよ

再生条件

- ・多世代の家族が住まうことのできる集合住宅であること。
ただし、家族構成は自由、店舗や公共施設を含めても良い。
- ・なるべく既存を活かし、大規模な増築はしないこと。
ただし、古いものにこだわりすぎないこと。

民家の再生－ふれあい館まゆぐら－



🏠 対象民家の位置

民家の再生－ふれあい館まゆぐら－



🏠 敷地

民家の再生－ふれあい館まゆぐら－



🏠 外観

民家の再生－ふれあい館まゆぐら－



🏠 小屋組

民家の再生－ふれあい館まゆぐら－



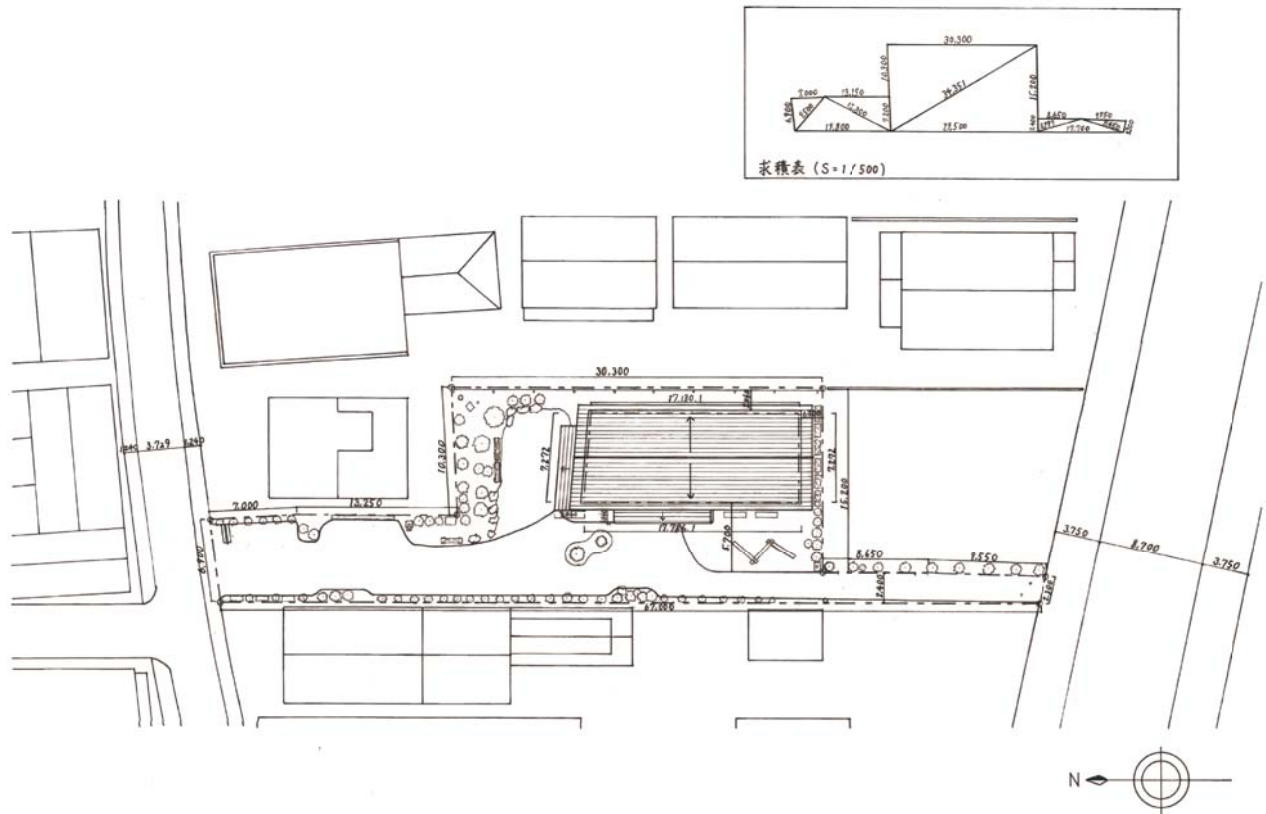
実測風景

民家の再生－ふれあい館まゆぐら－



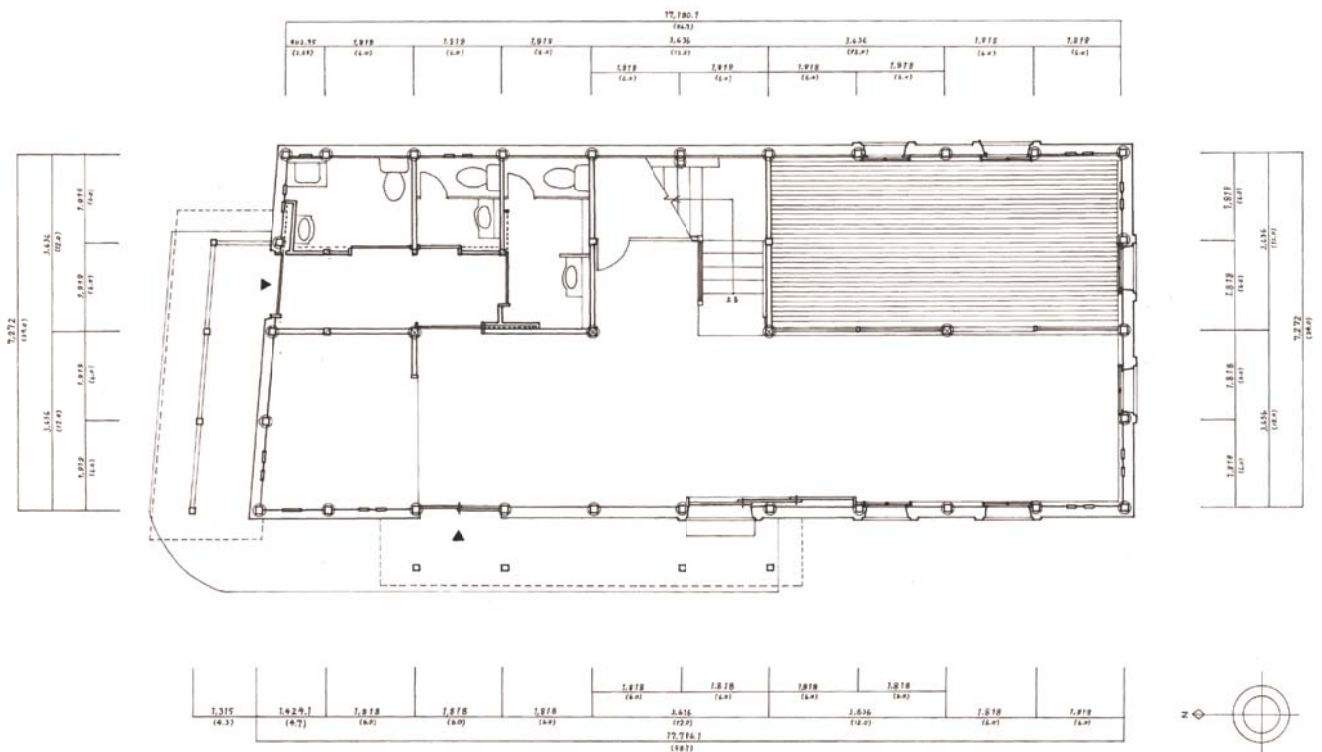
実測風景

民家の再生－ふれあい館まゆぐら－



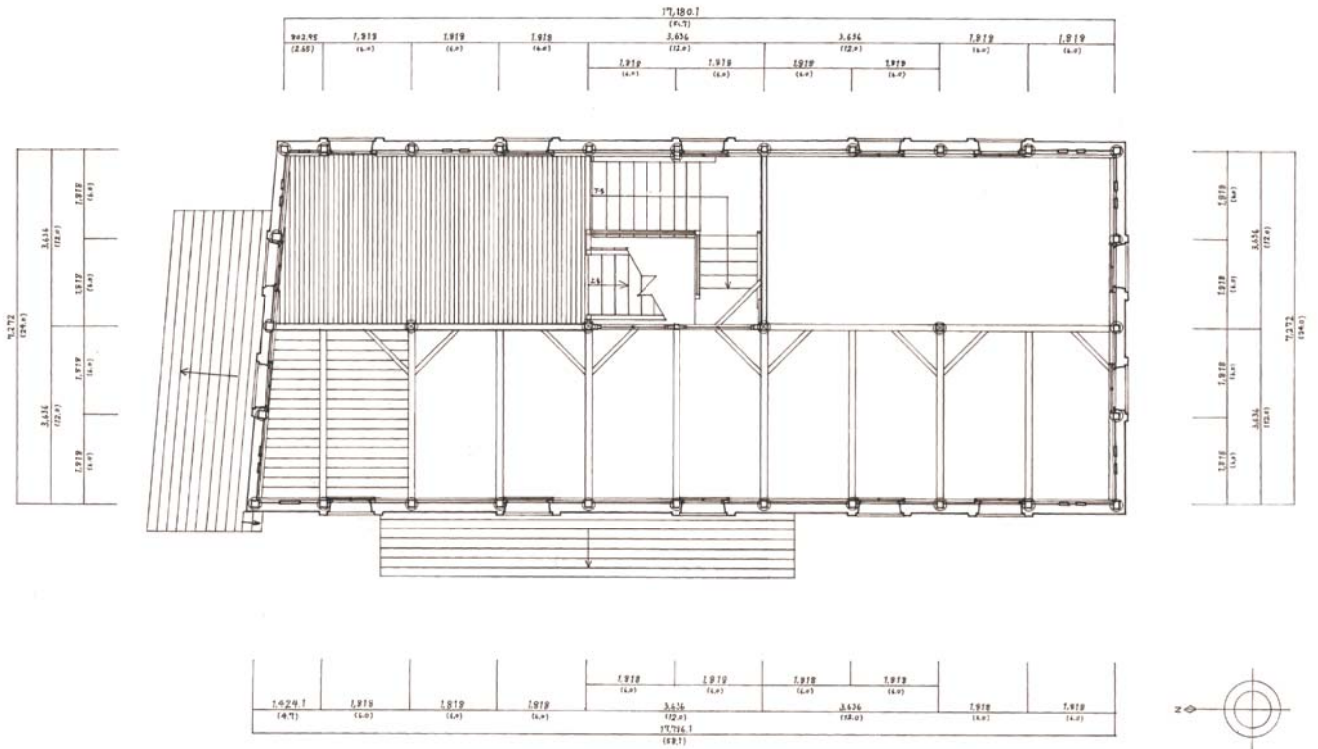
配置図

民家の再生－ふれあい館まゆぐら－



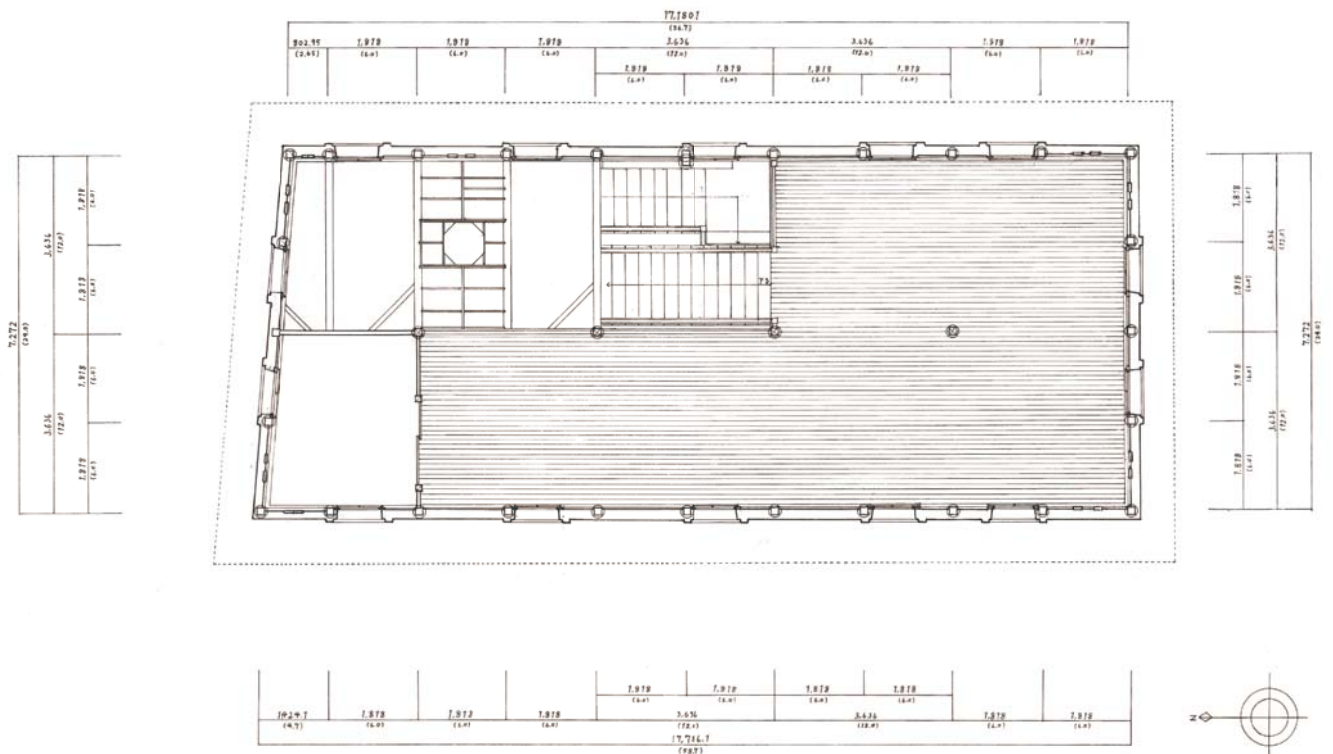
1 階平面図

民家の再生－ふれあい館まゆぐら－



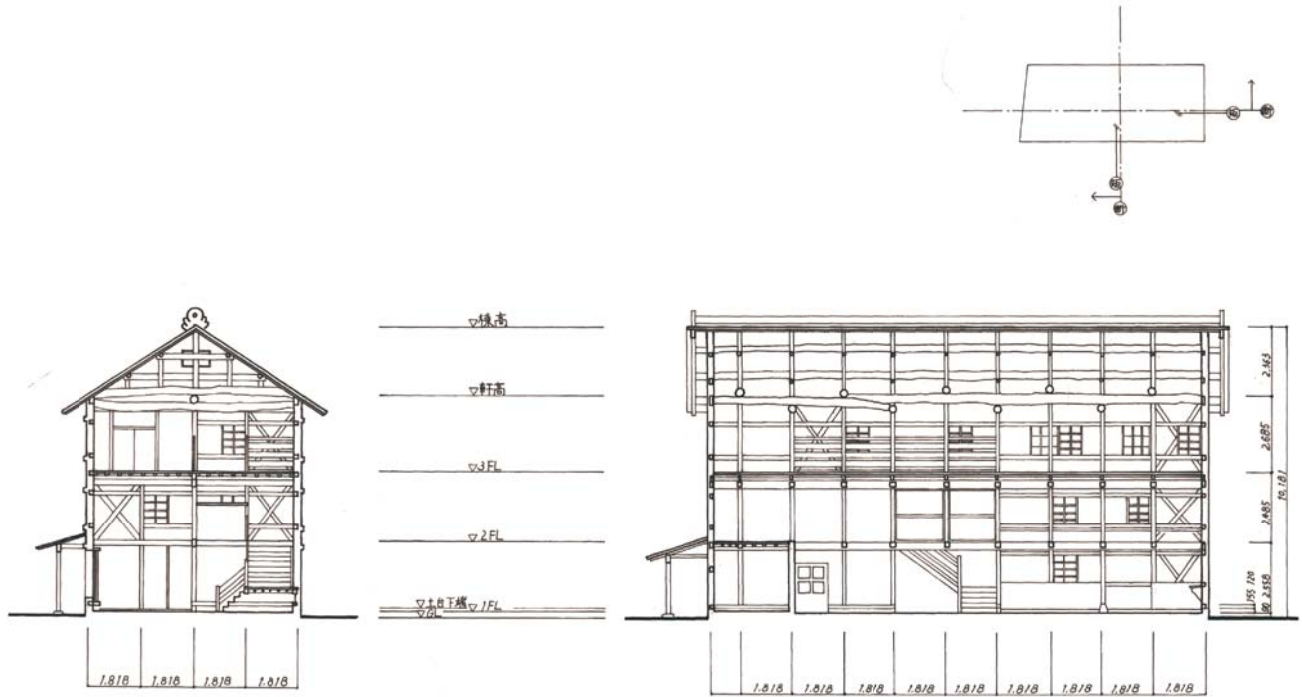
2 階平面図

民家の再生－ふれあい館まゆぐら－



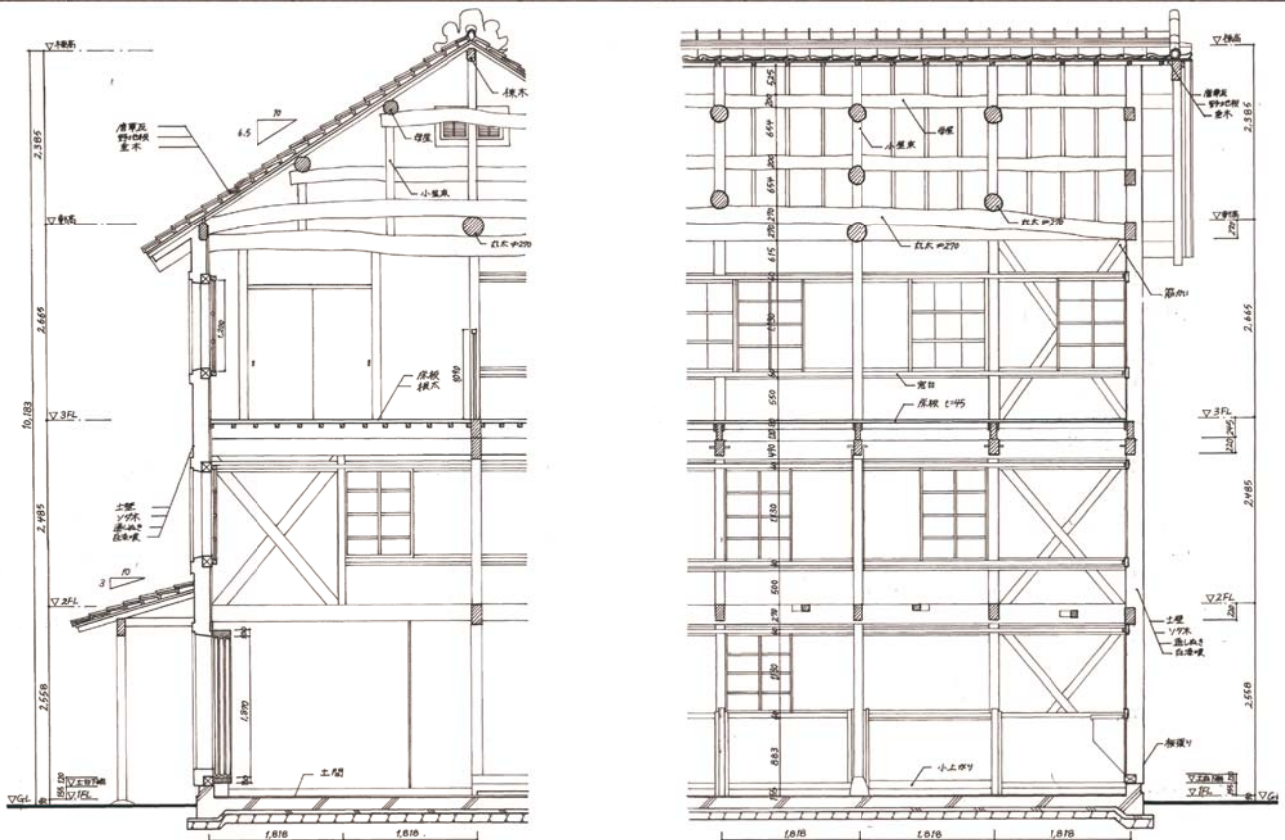
3 階平面図

民家の再生－ふれあい館まゆぐら－



断面図

民家の再生－ふれあい館まゆぐら－



矩計図

民家の再生－ふれあい館まゆぐら－



北側立面図 / 西側立面図

民家の再生－ふれあい館まゆぐら－



東側立面図 / 南側立面図



民家再生

曖昧

+ α

街の教室



外観



内観



銀座通り



+ α

街の教室



外観



内観



銀座通り



塾



絵画教室



陶芸



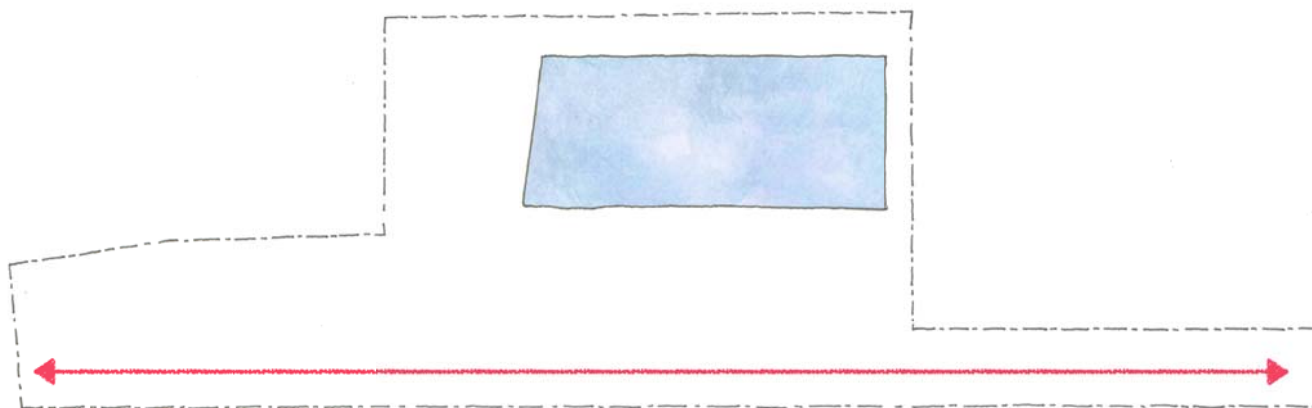
料理



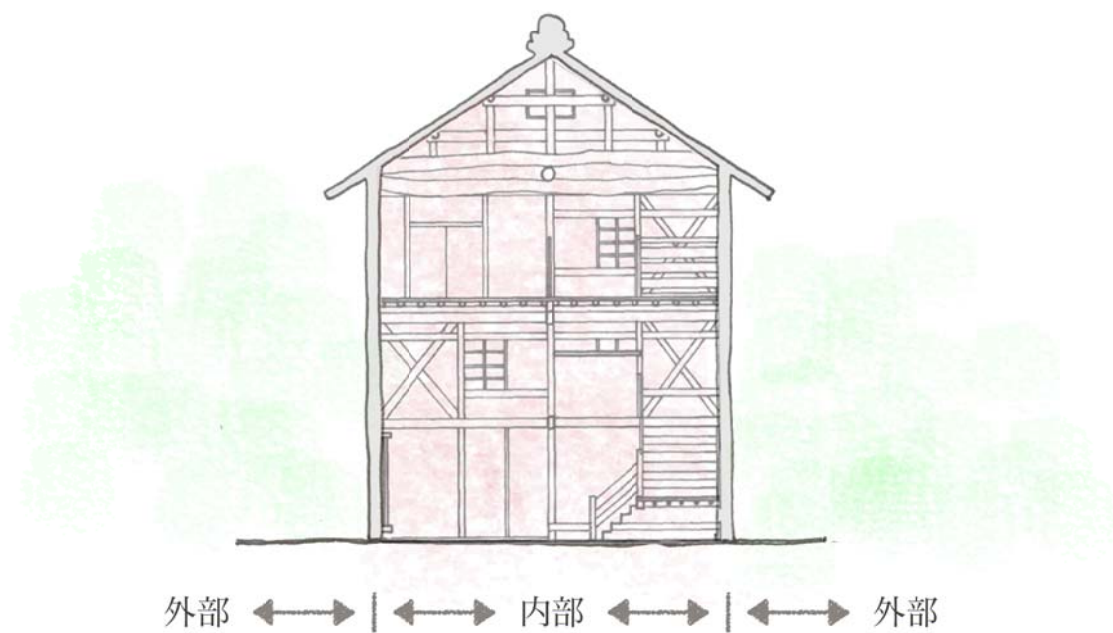
機織り体験

O

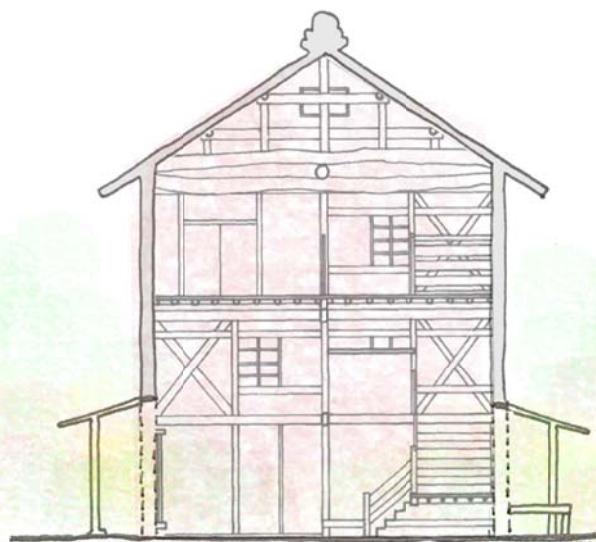
現状分析



中間領域の創生



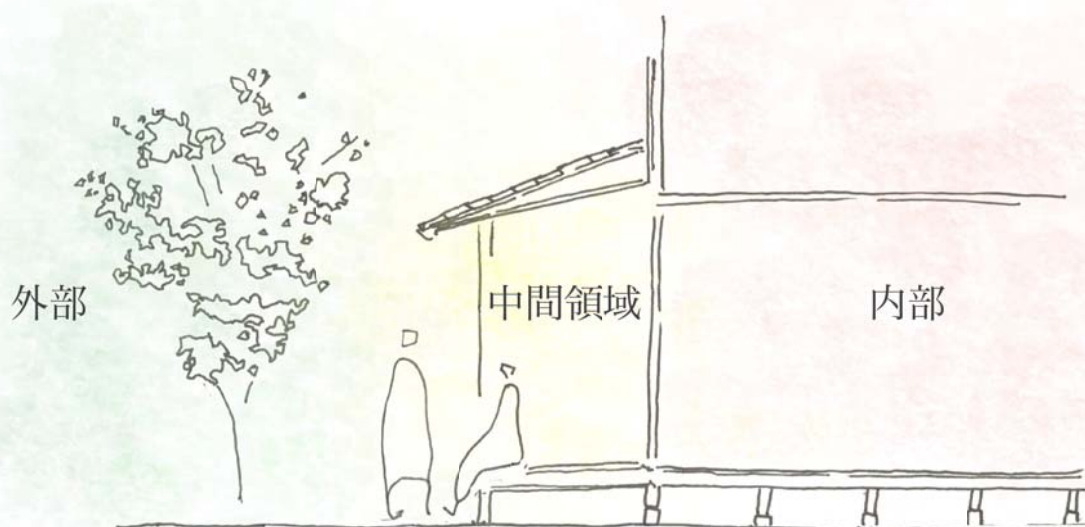
中間領域の創生



外部 ↔ 中間領域 ↔ 内部 ↔ 中間領域 ↔ 外部

中間領域 = 曖昧領域

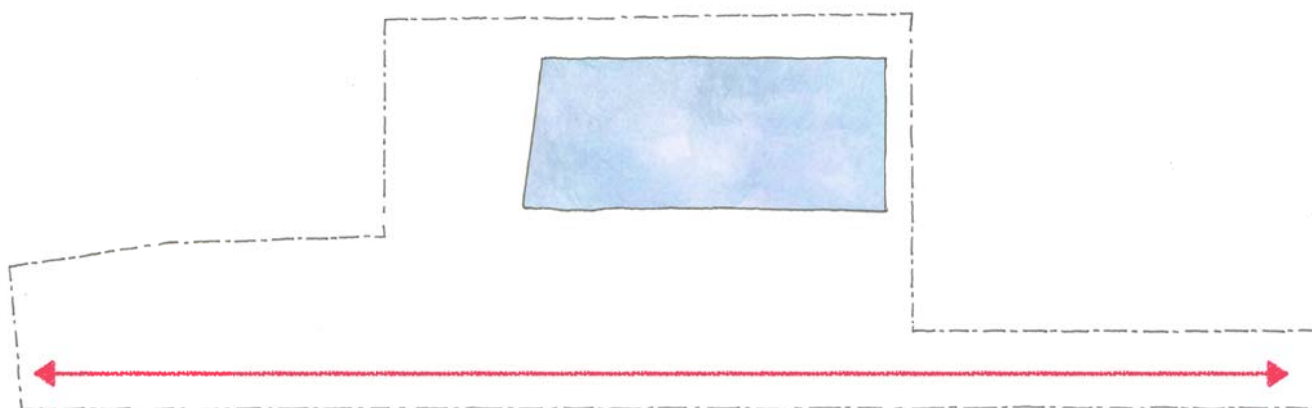
例) オープンテラスや縁側や土間など



中間領域は内外を巧妙に連ねて、街と人、自然と人を優しくつないでくれる空間。

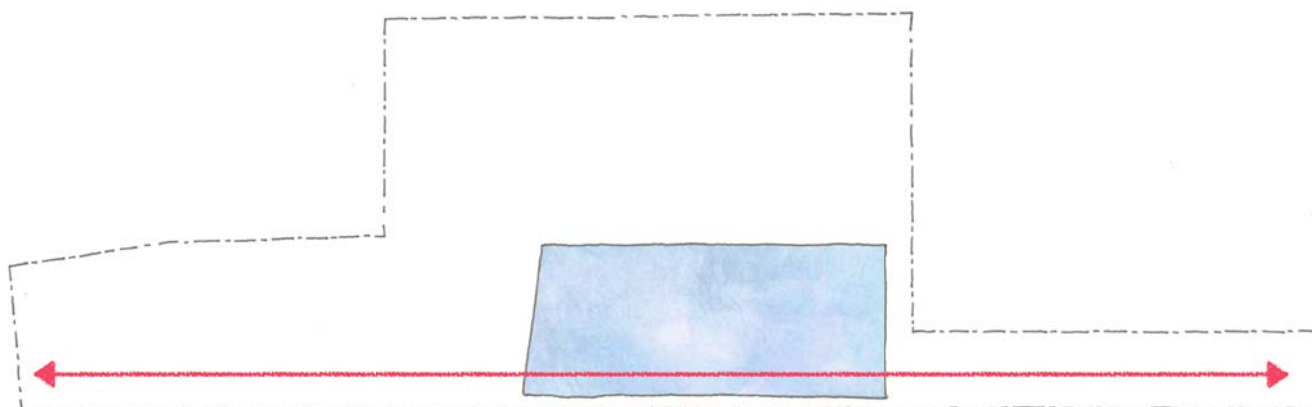
0

現状分析



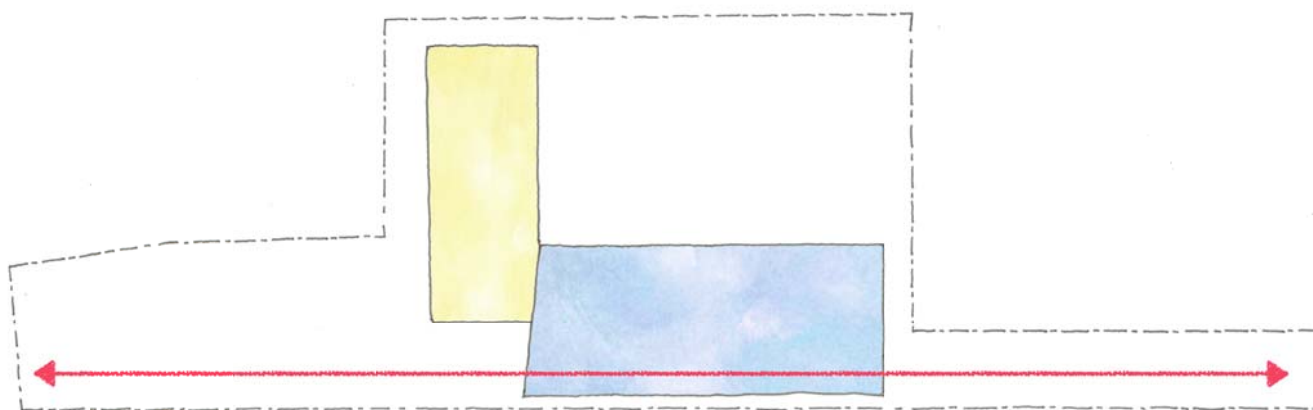
1

移築



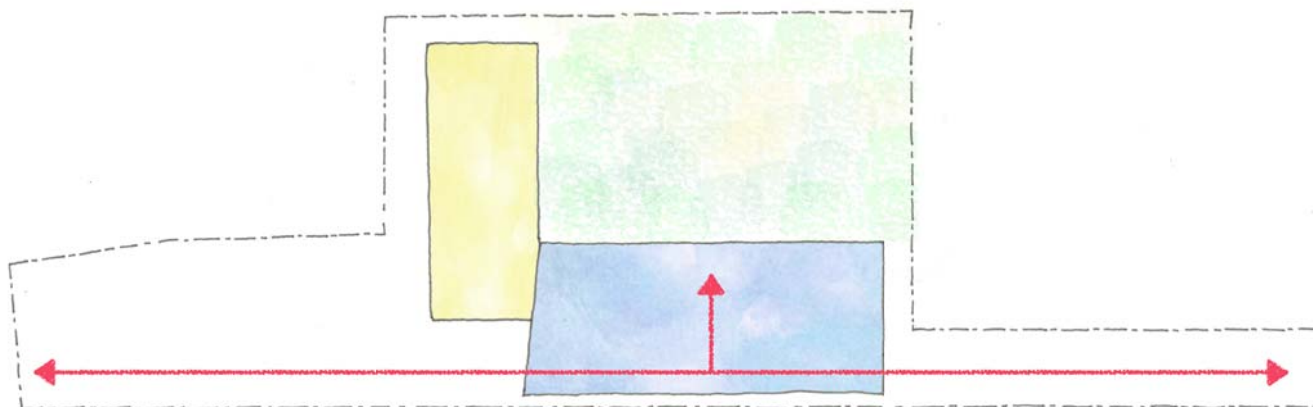
2

増築

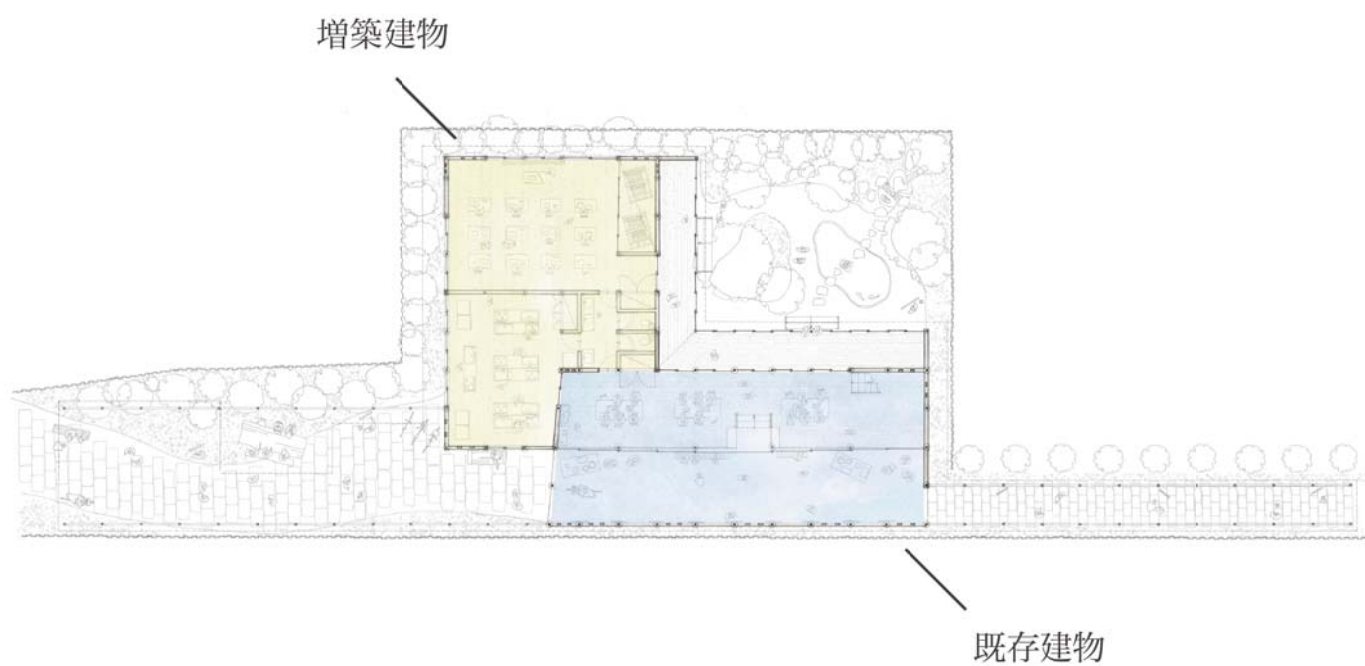
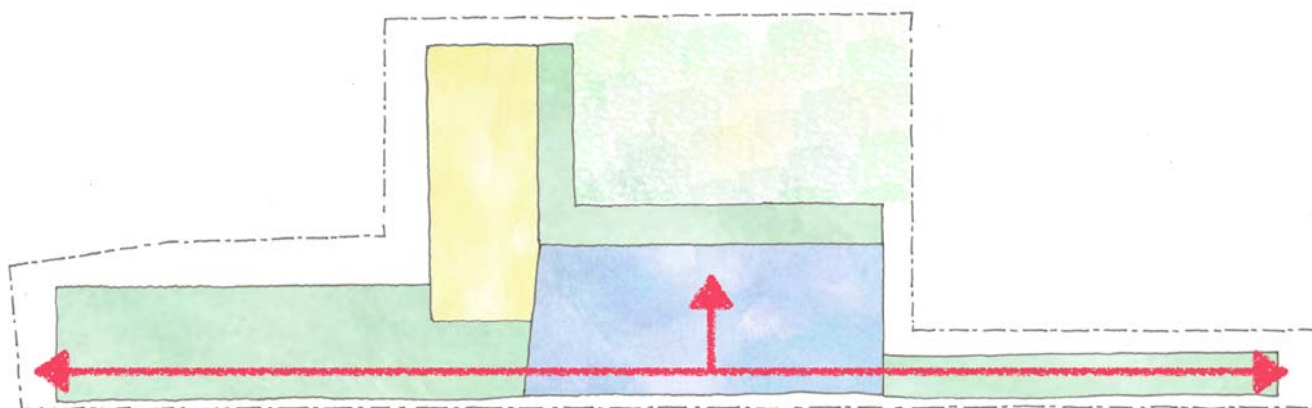


2

増築

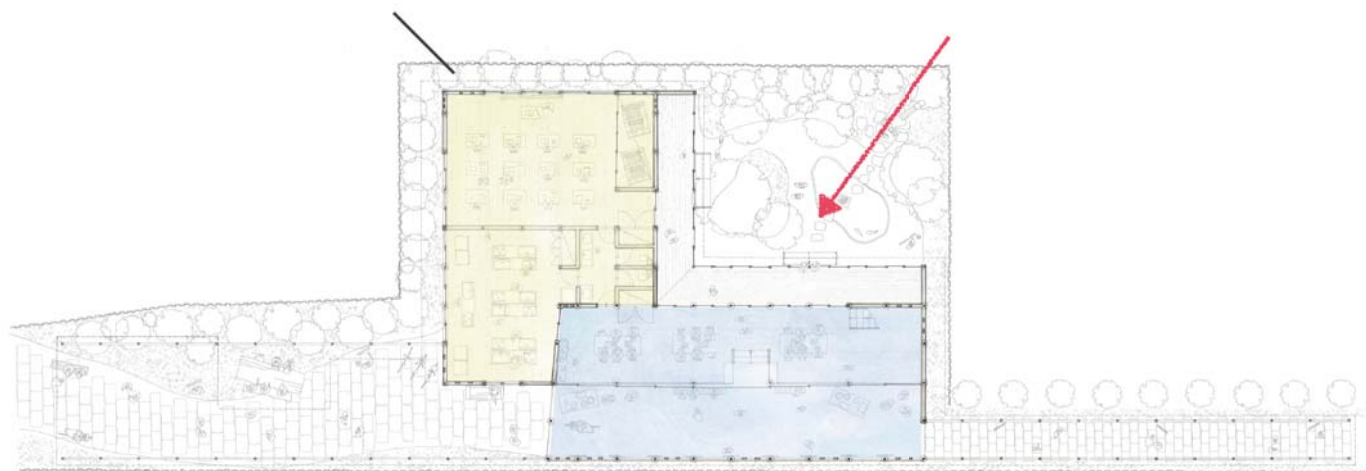


3 軒の拡大



1階平面図

増築建物

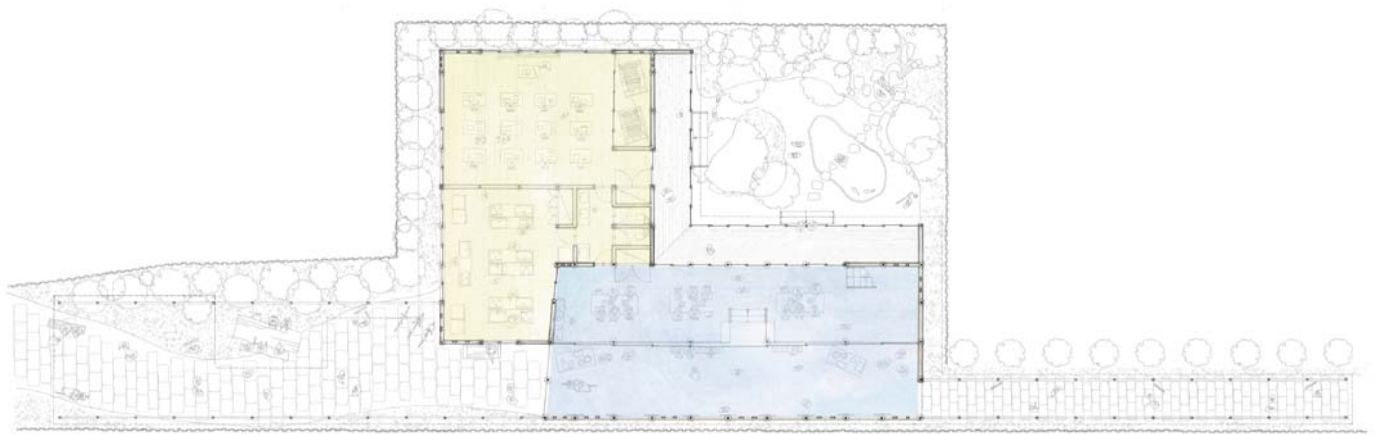


既存建物

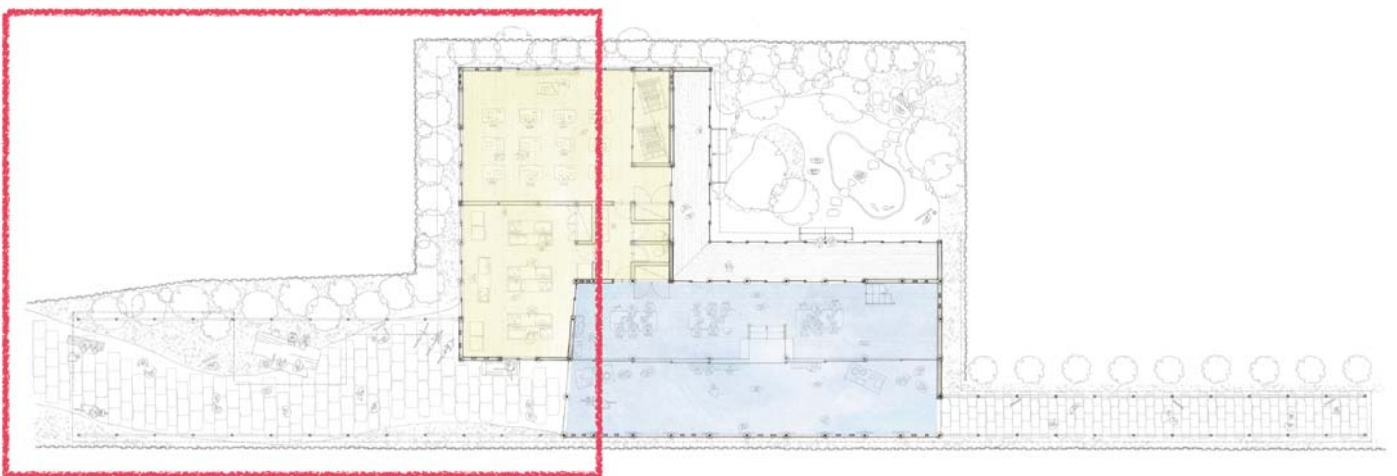
1階平面図



外観パース（庭から眺める）

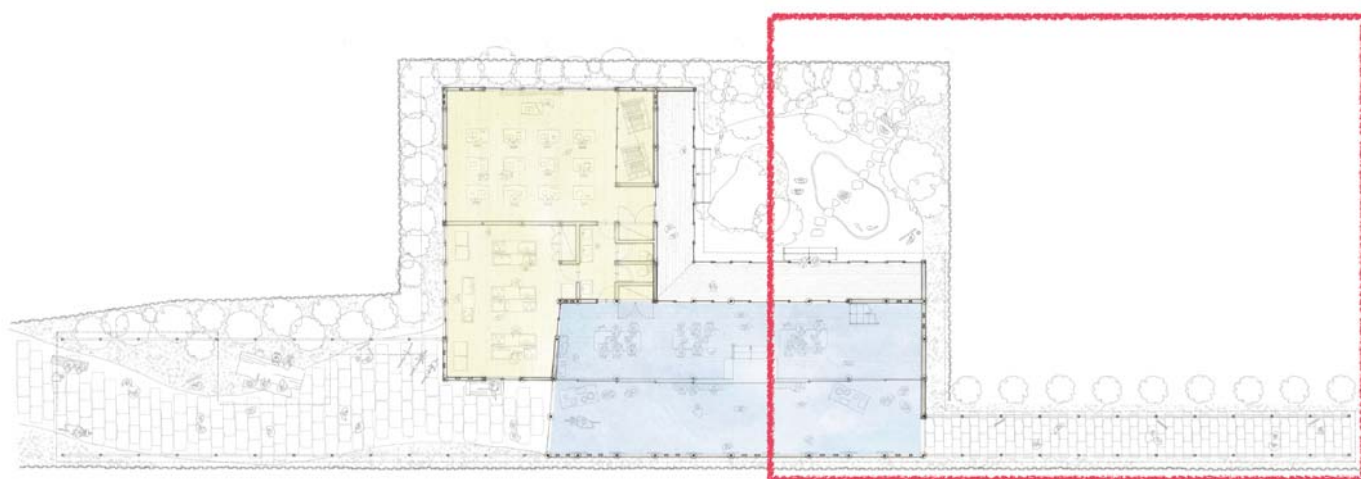
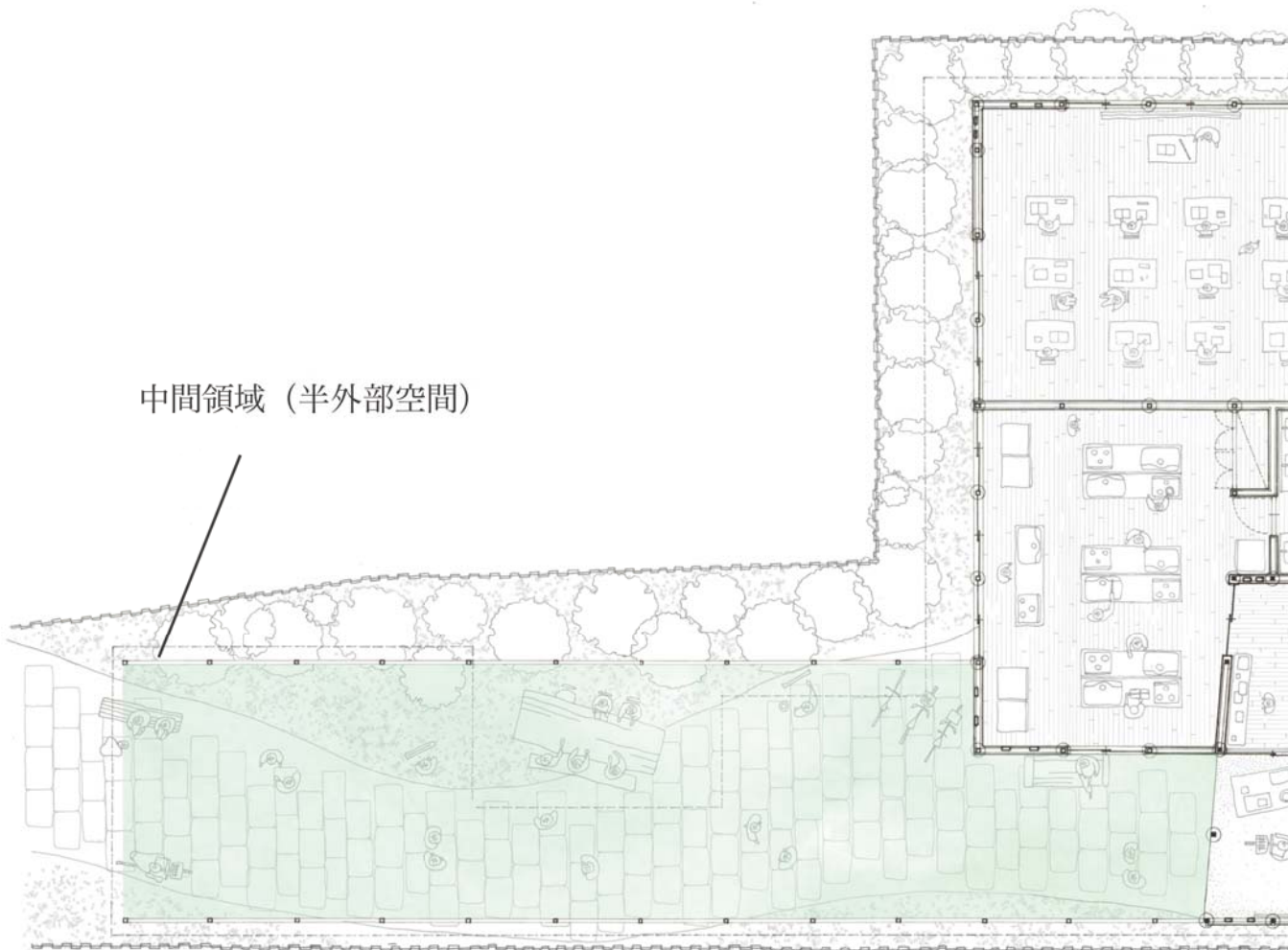


1階平面図

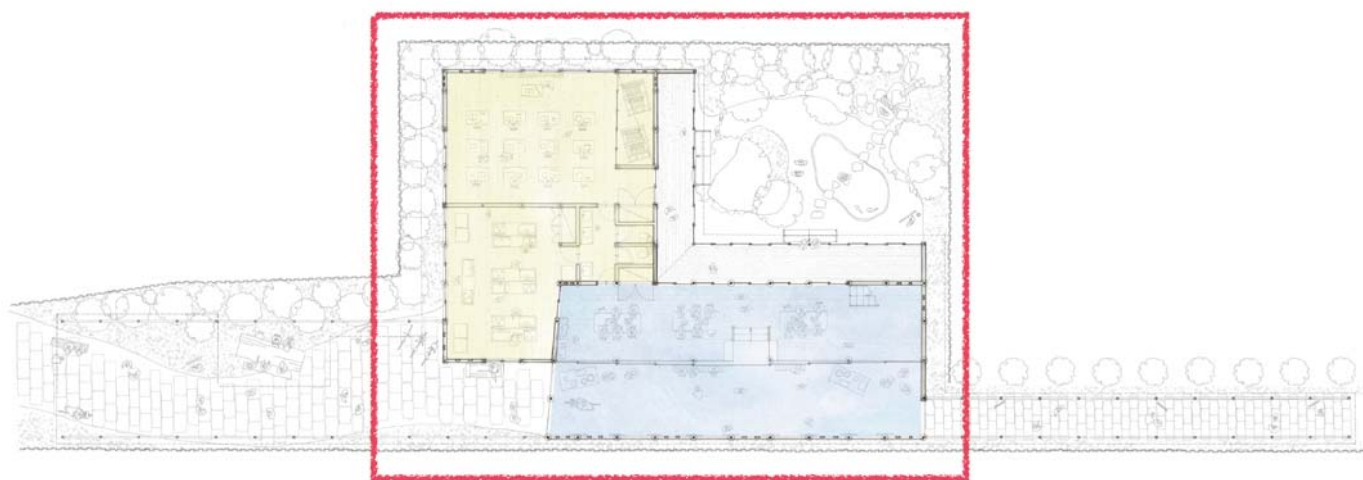
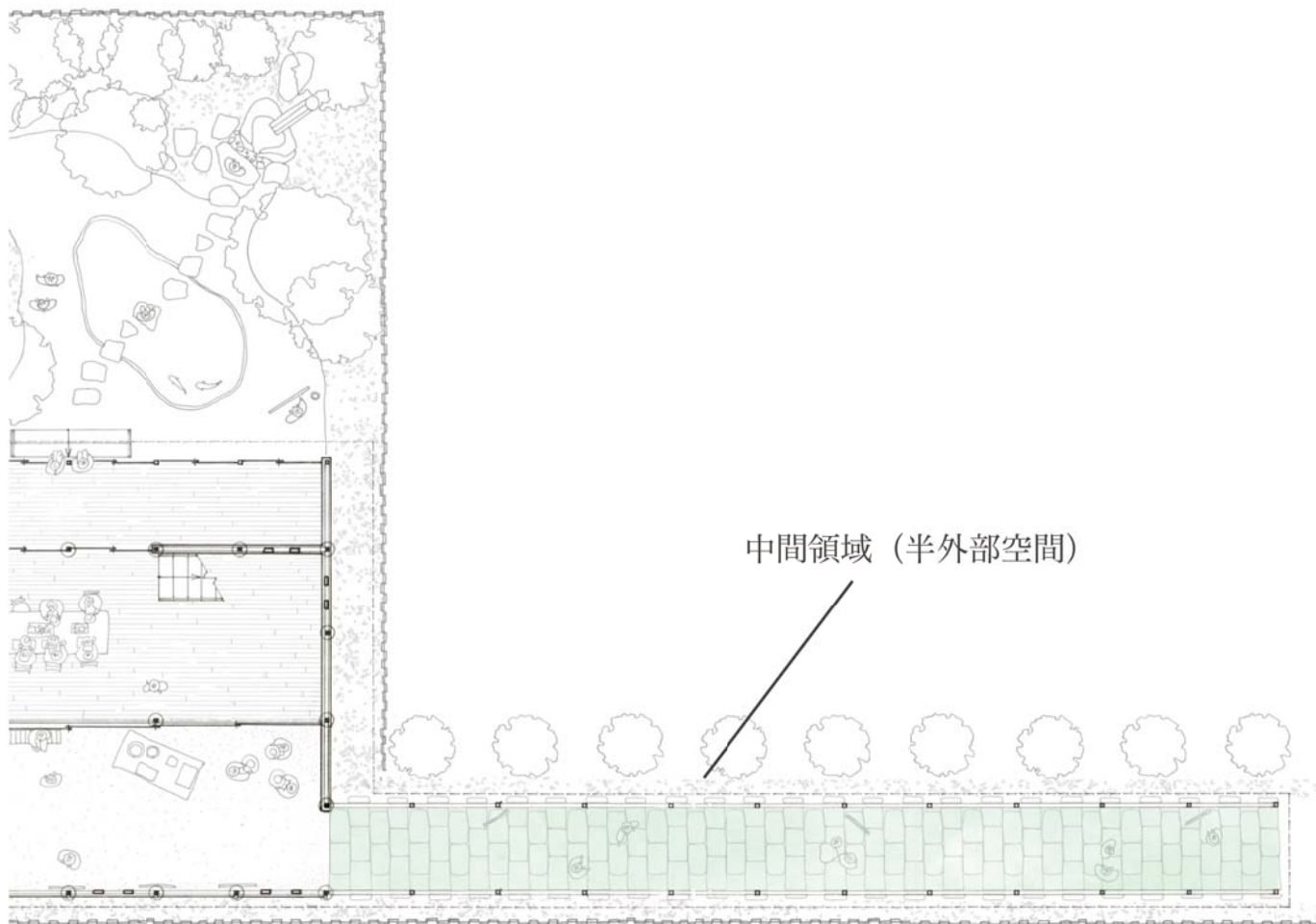


1階平面図

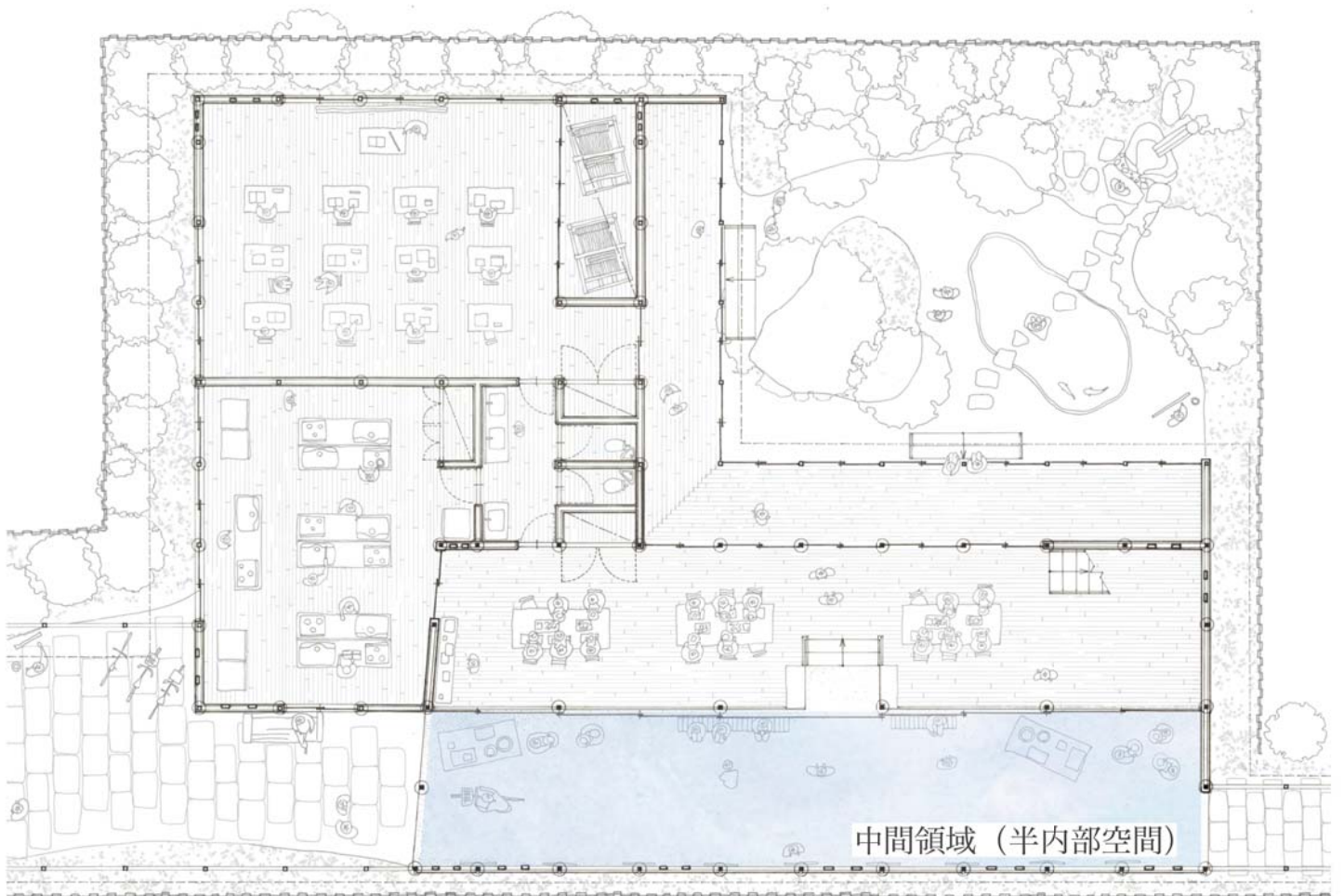
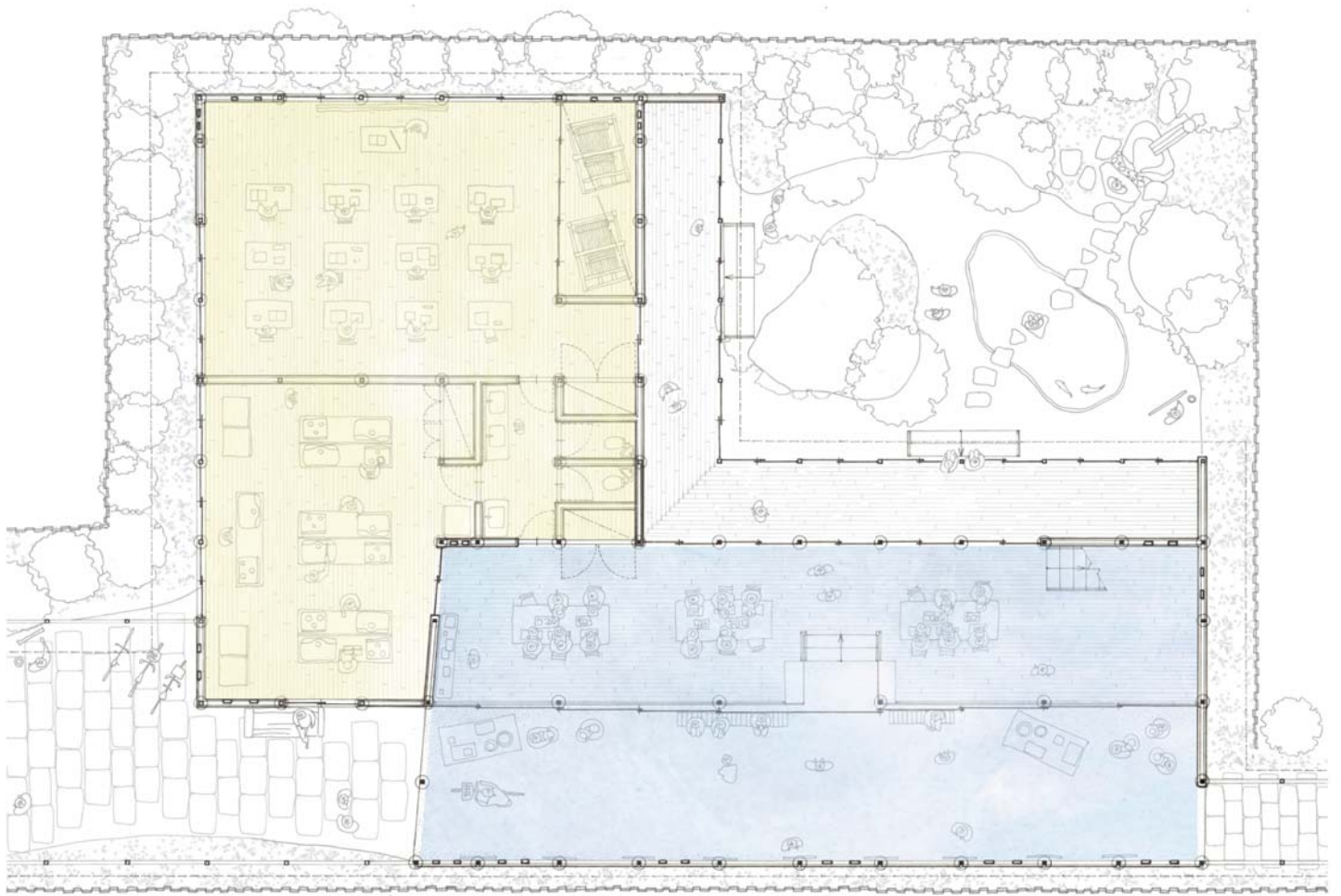
中間領域（半外部空間）

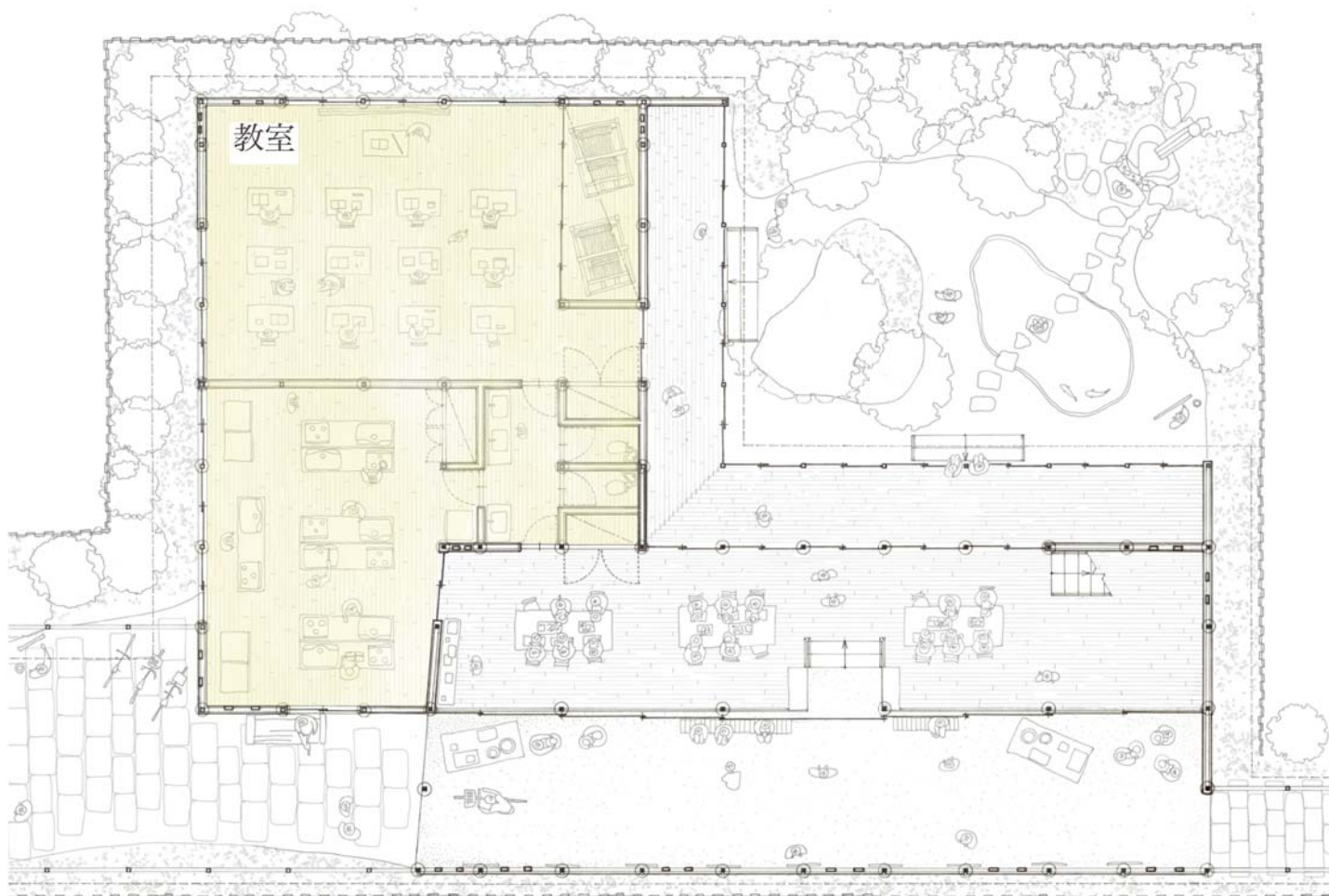
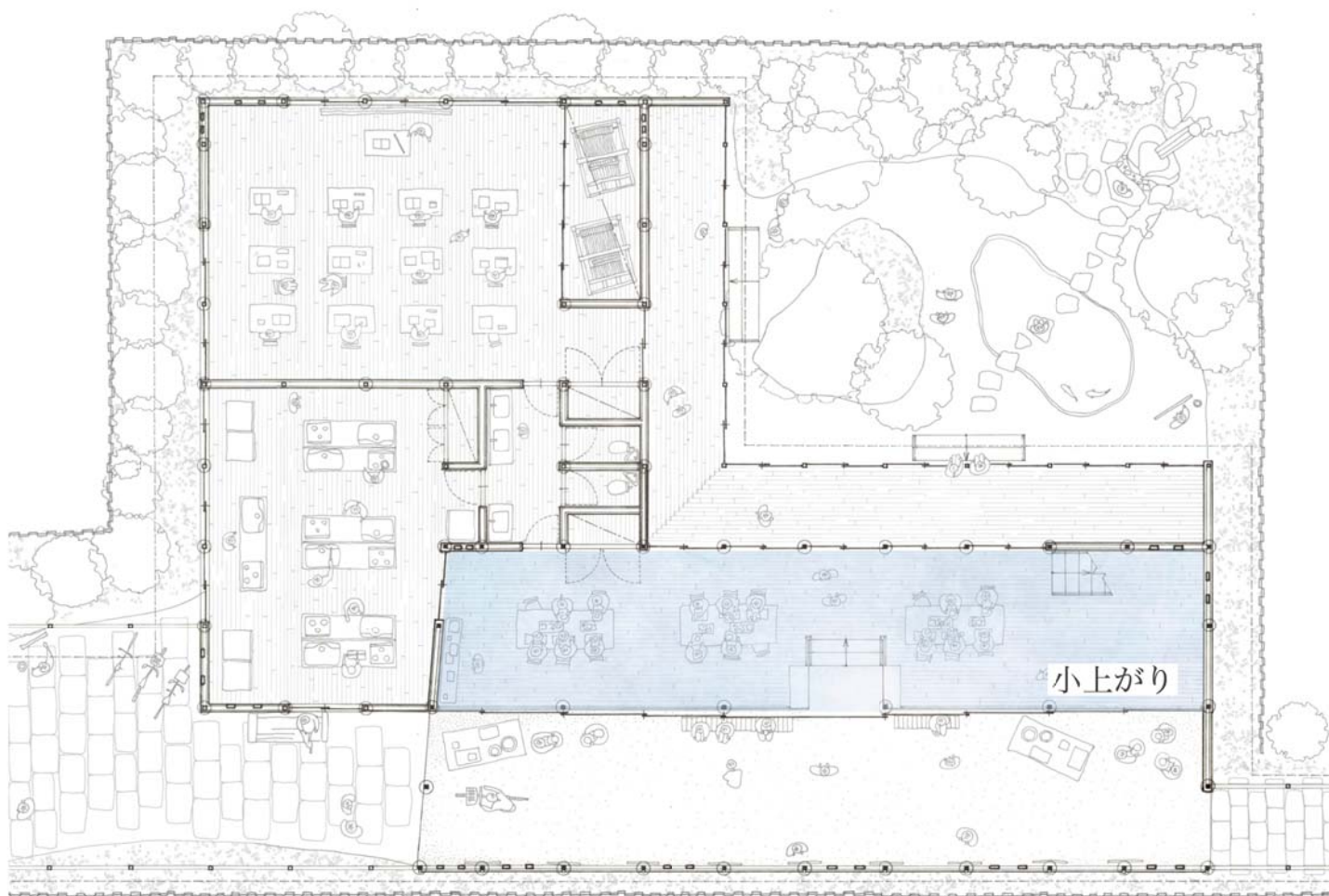


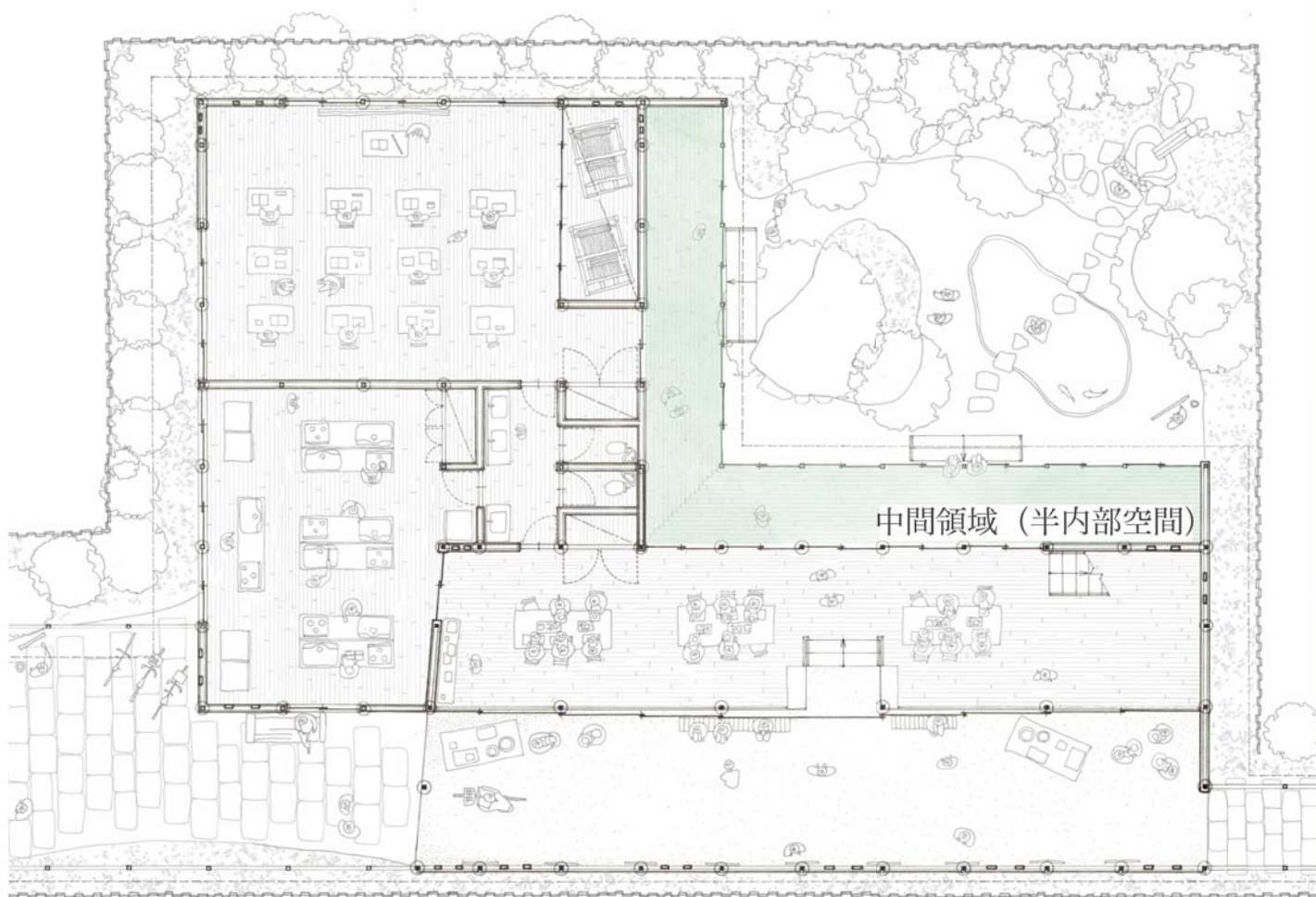
1階平面図



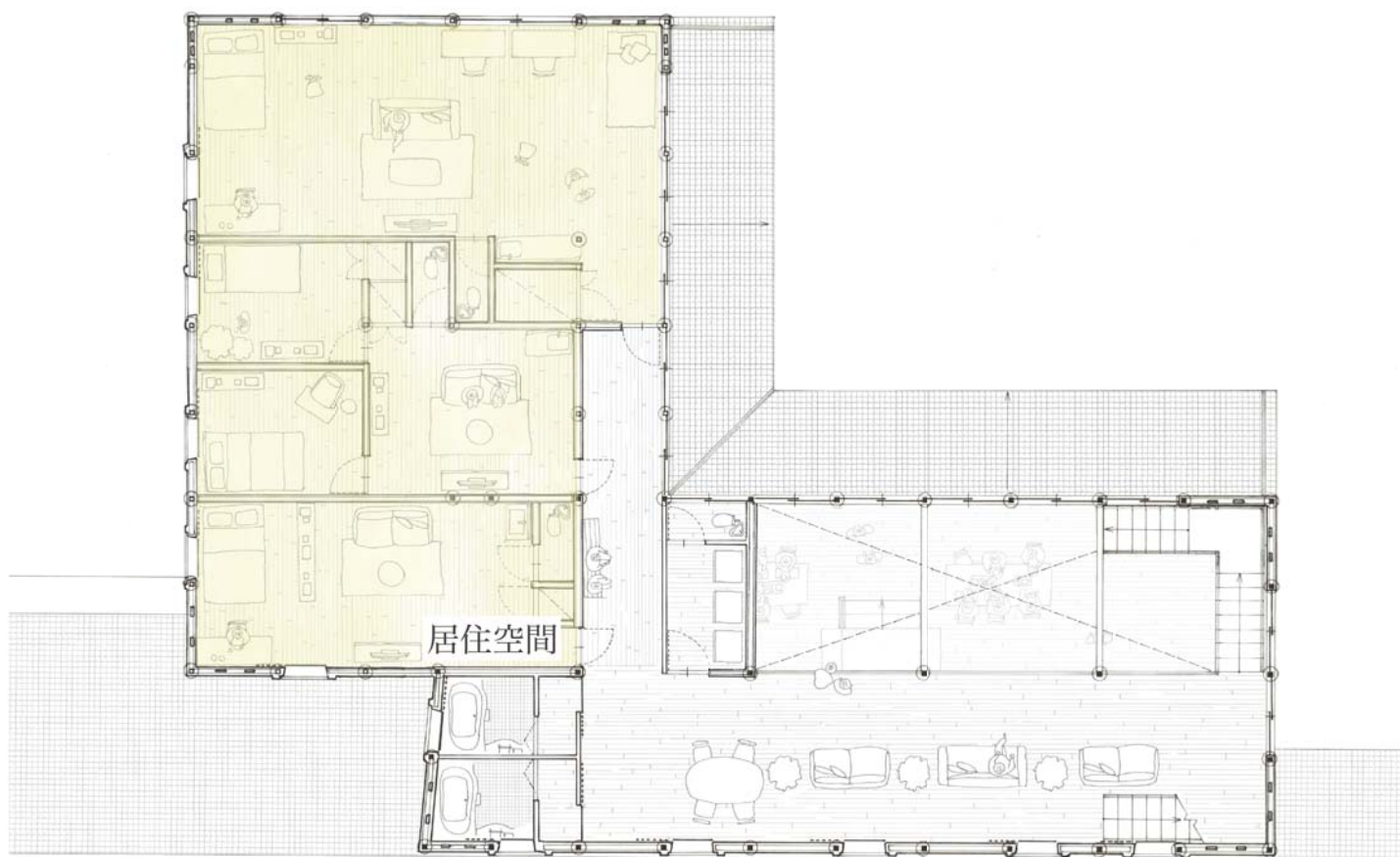
1階平面図







2階平面図



2階平面図



2階平面図

Casa Kura



ものづくりの再生

Craft Renaissance

【MEMBER】



Traditional Craft



Modern arts



X



【DIAGRAM】

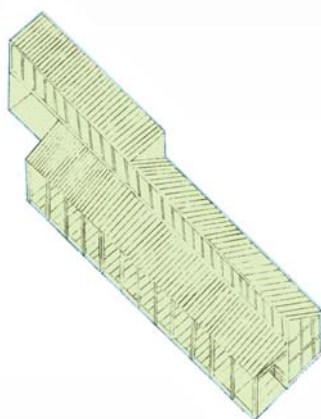
現代芸術家が
繭蔵での生活から
刺激を受ける。

更に、対照的な伝統技術
者が向かいに住むこと
により、相互作用を生む。

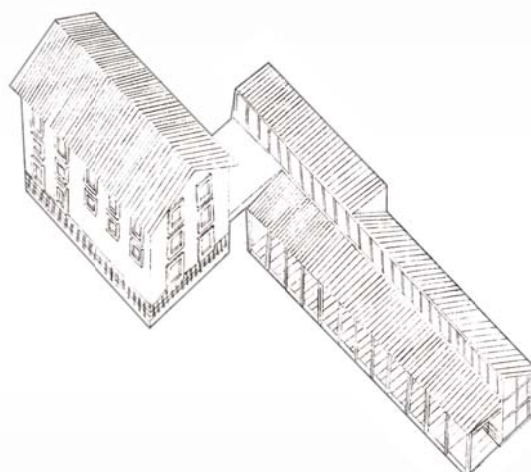
コンクリートの狭い空間での共通
アトリエや共通屋上庭園など交流の
場を多く設け、共同作品を作っていく。



+



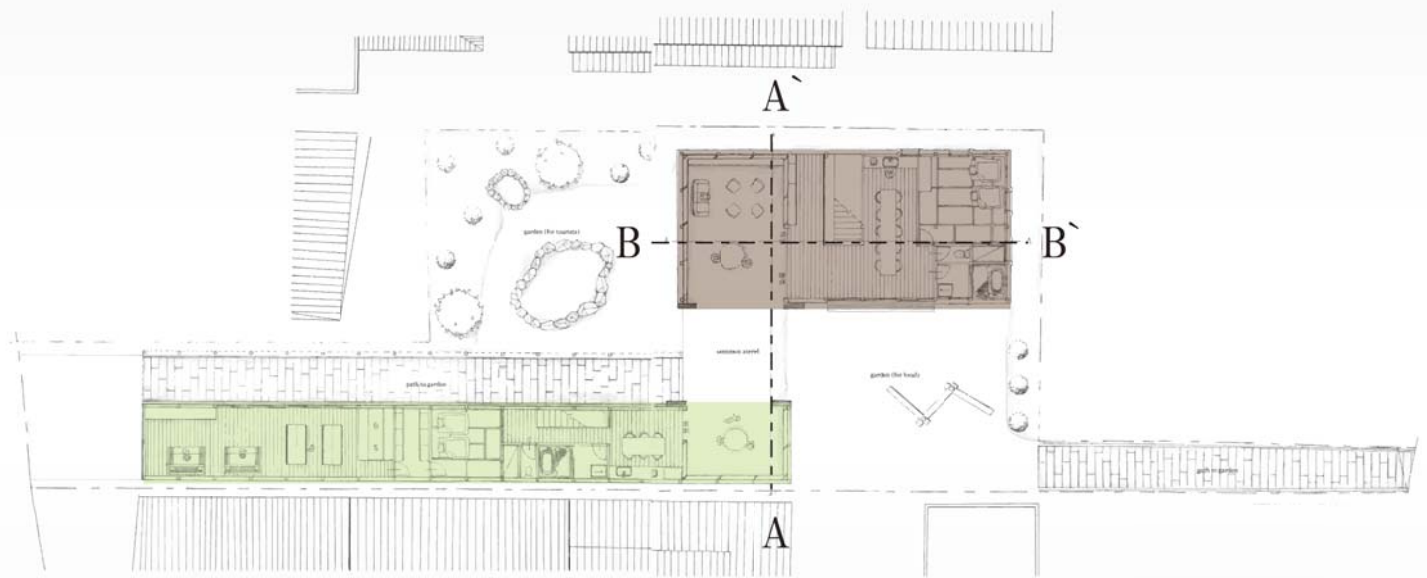
=



Old Kura
for young artists

New house
for traditional craftme

Interaction for new crafts



AS BUILT DRAWING

Image of interaction level

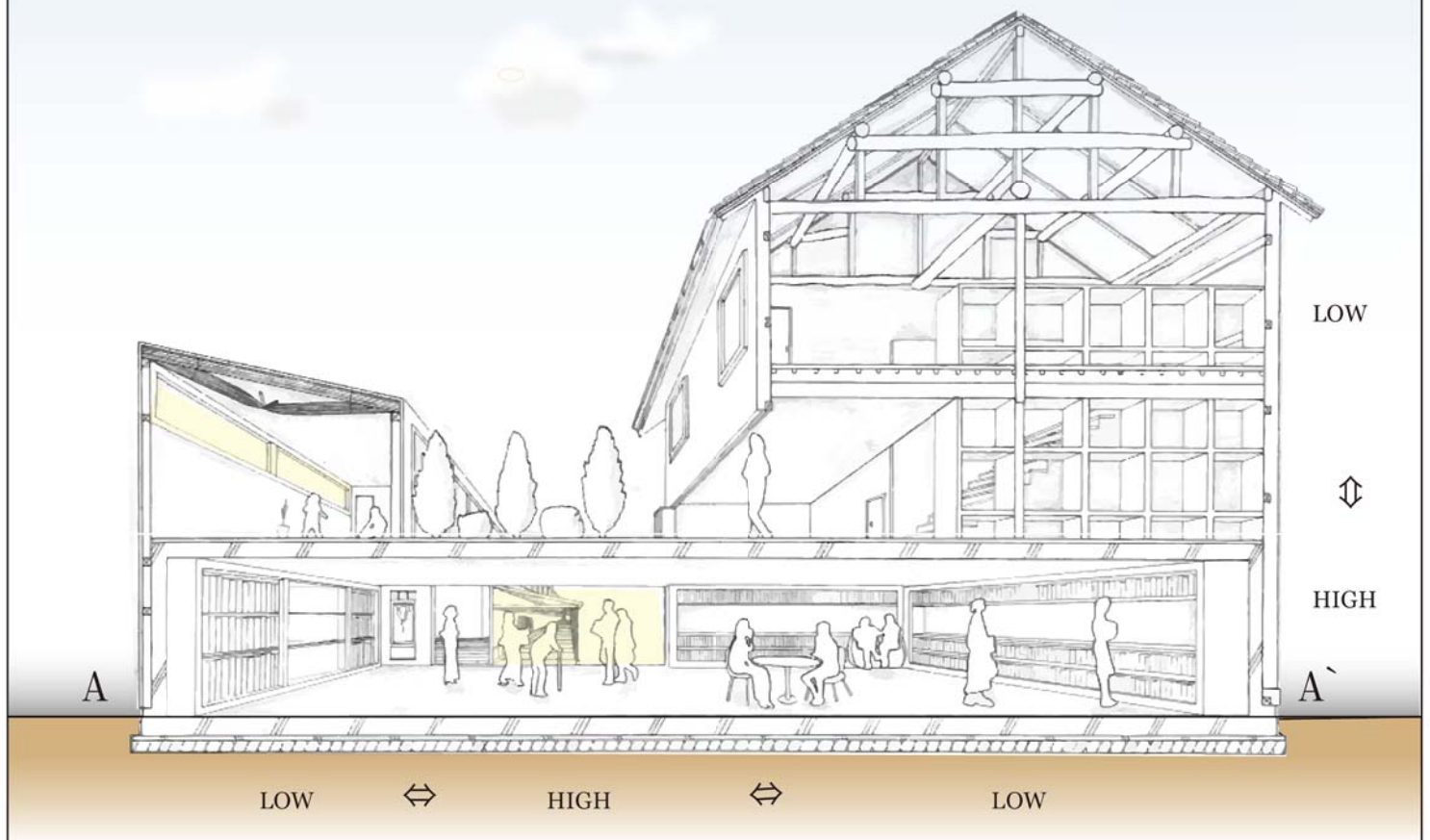
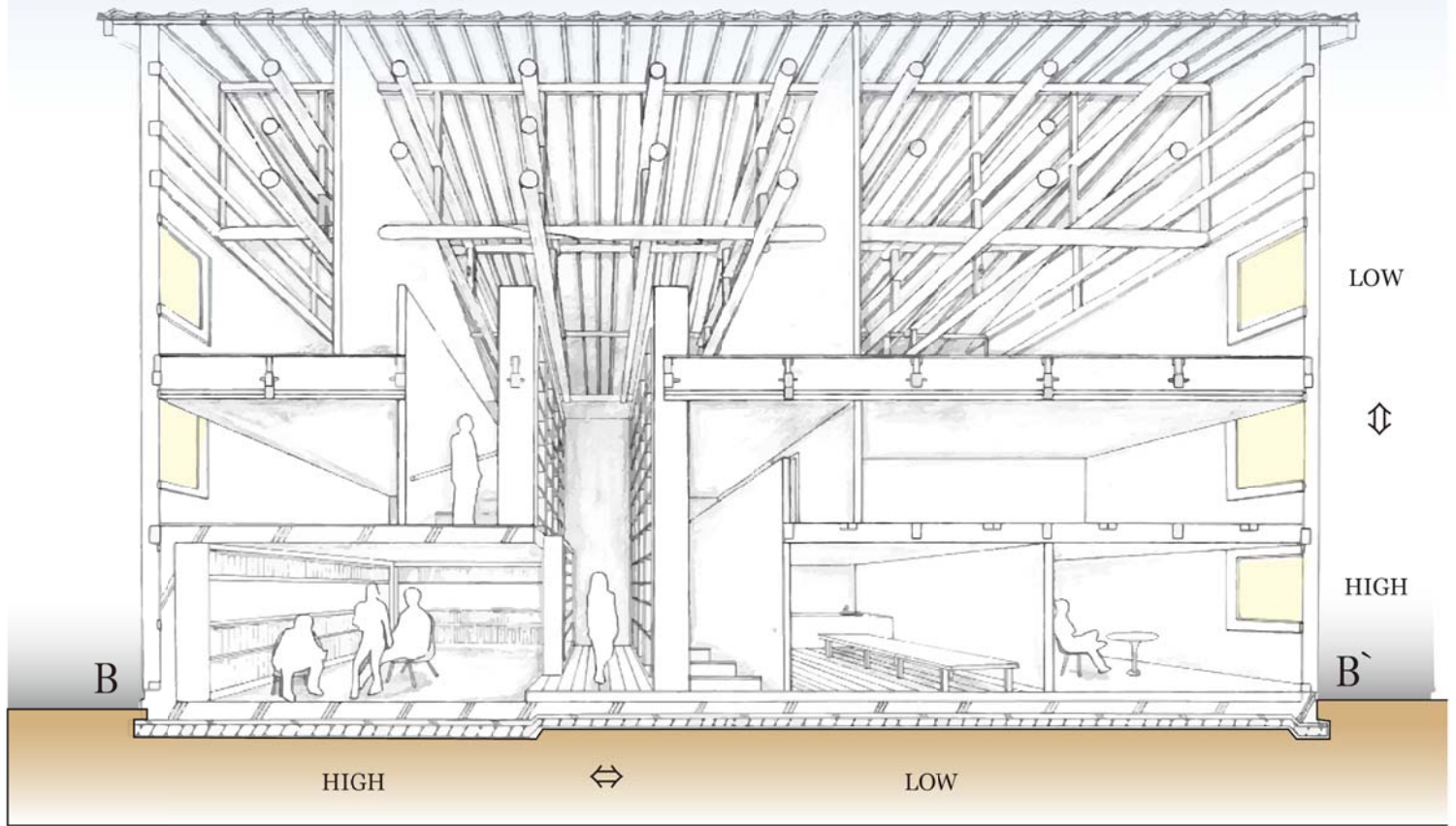


Image of creativity level



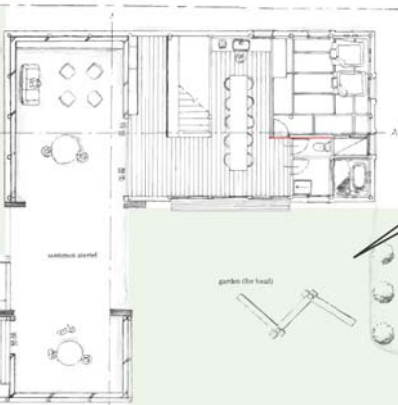
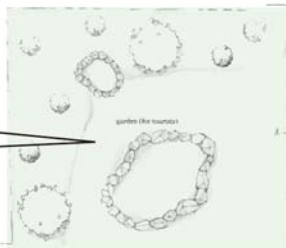
【PLAN】

① 観光客と住民の動線を分ける



AREA MAP

garden for tourists



garden for local



SITE PLAN & 1st FLOOR PLAN S=1:50

SITE PLAN

② 共通空間による相互作用

private space (total = 306.65 m²)
common space (total = 354.16 m²)

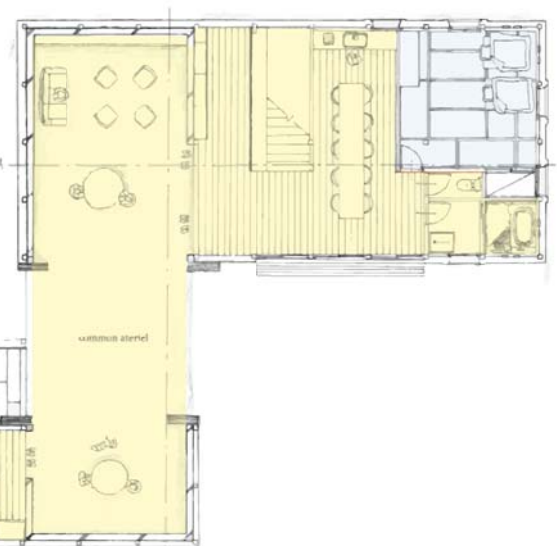
$$\text{Interaction rate} = \frac{\text{common area}}{\text{total area}} = 0.63 = 63\%$$



raw silk gallery

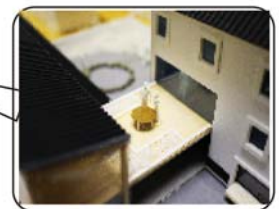
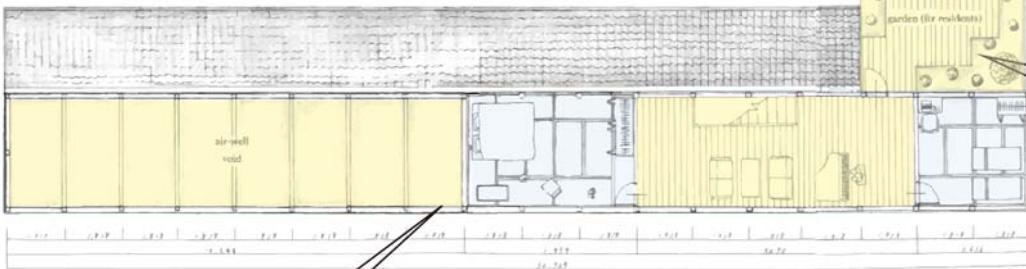
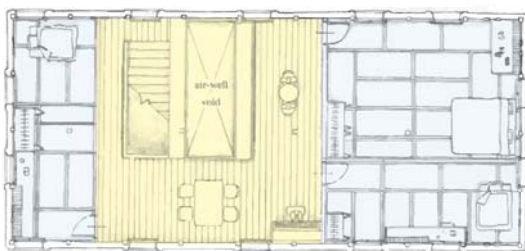


privacy

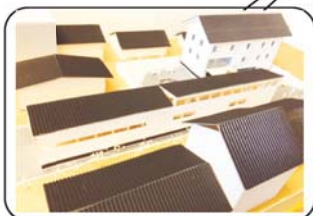


1st FLOOR PLAN

3rd FLOOR PLAN



garden for residents



lighting

2nd FLOOR PLAN

new & old wooden structure



SOUTH ELEVATION & SECTION



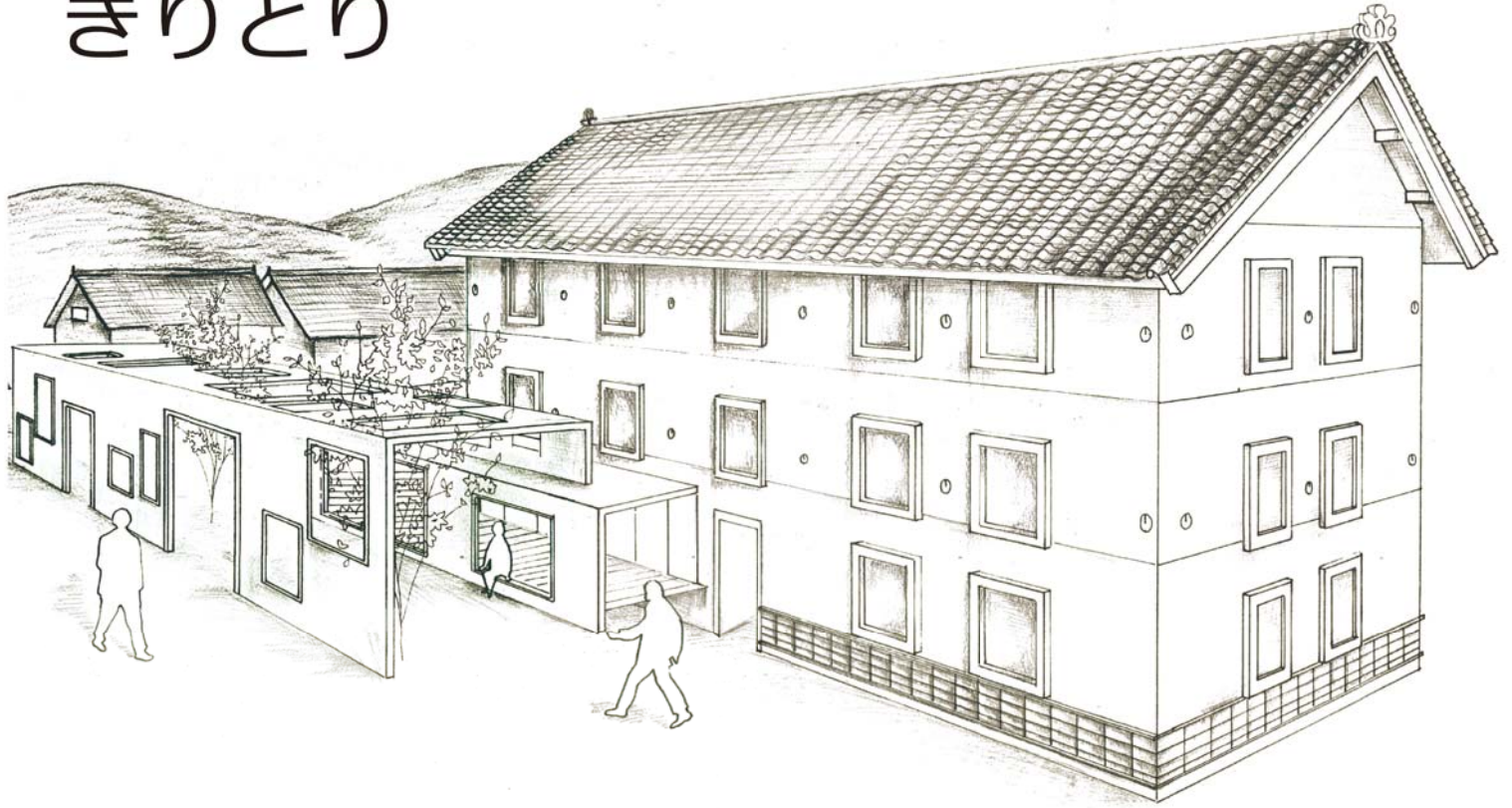
EAST ELEVATION



須坂市の発展を願って



きりとり



信州大学 3年

13T7052D 渡辺有紀子

コンセプト

須坂という自然豊かな場所にサテライトオフィスを付加する

サテライトオフィスとは

企業団体の本拠から離れたところに設置されたオフィスのこと

都会にあるオフィスは密集したビルの一隅。そんな閉鎖的な空間から離れ、オープンで景色が素晴らしい場所で働くことで新たなアイデアが生まれる。

また高齢者と若者がいる町はとても魅力的。高齢者は知恵を教え、ワーカーは若者を育てていく。



管理人

老夫婦 2人 夫婦 2人
そこに住む人の生活の
サポートをする



ワーカー

単身者 7人
須坂にある期間訪れ仕事を行う



学生

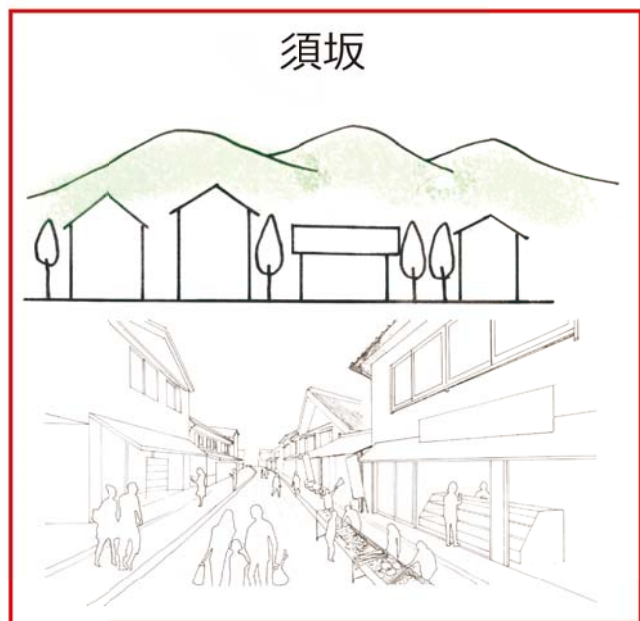
3人
ワーカーから仕事など
を教えてもらう



地域住民

+α
ワーカーの日々の生活
を

プログラム



×

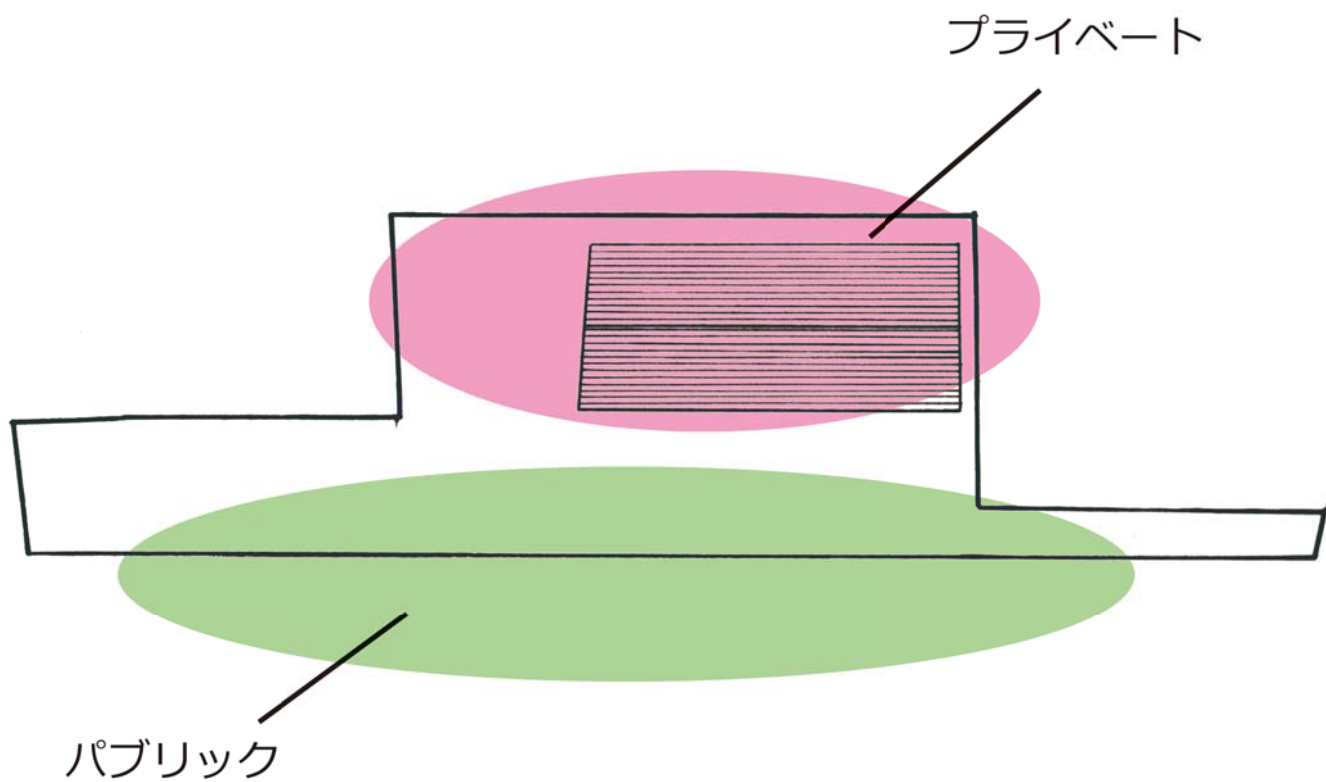


須坂でサテライトオフィスを行うことで
空き家を利用したプロジェクトや地域住民参加型のイベントを行うことができる
地域住人と交流していく中で新しい経験をすることができる
そして様々な景色のある場所で伸びのびと仕事を行い新たなアイデアを生む

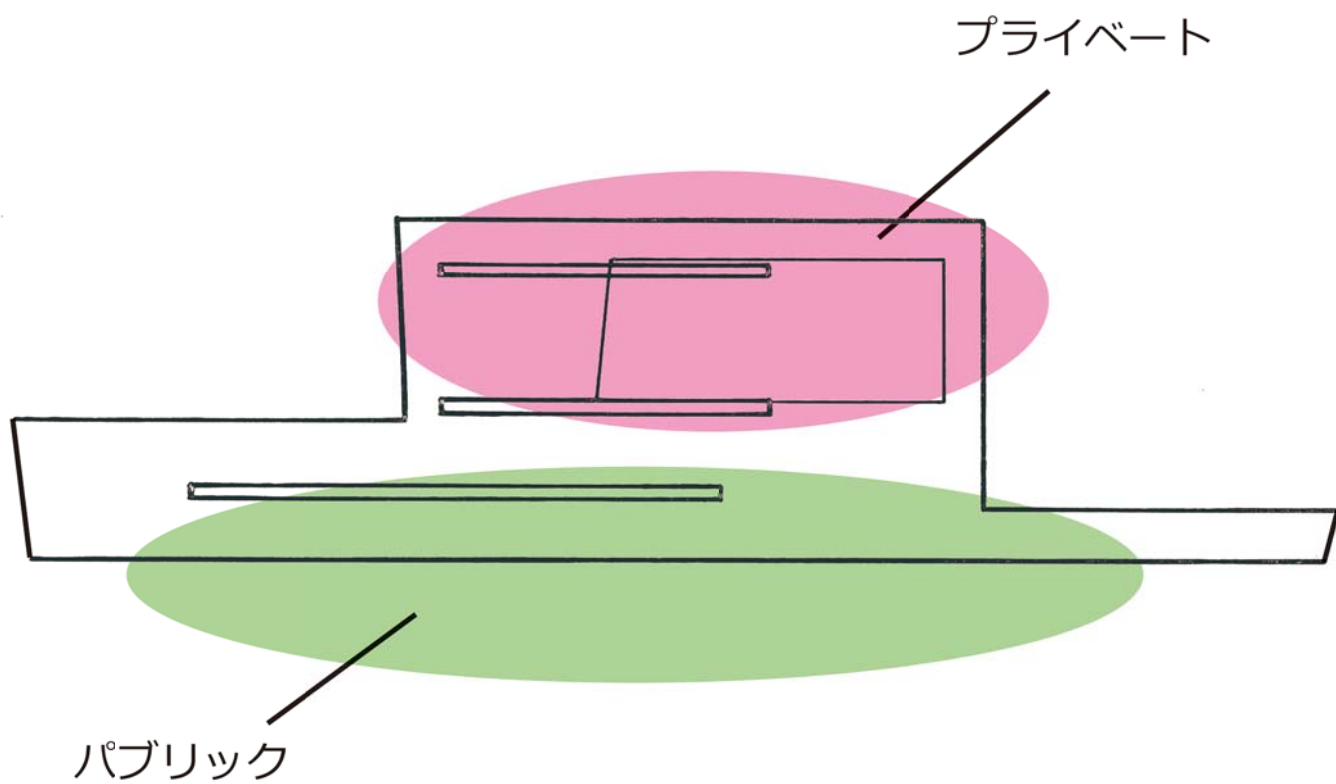
現状



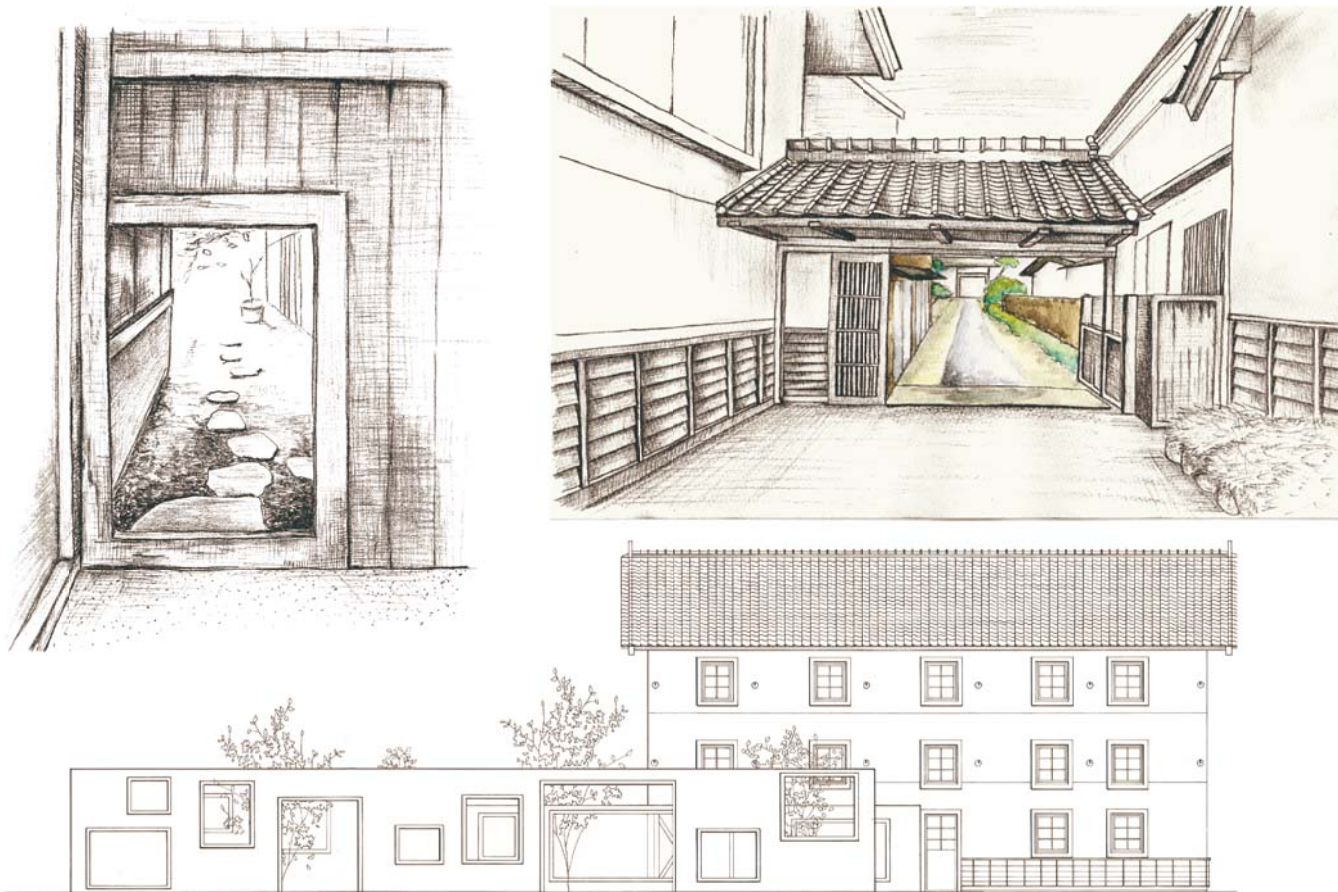
ダイアグラム



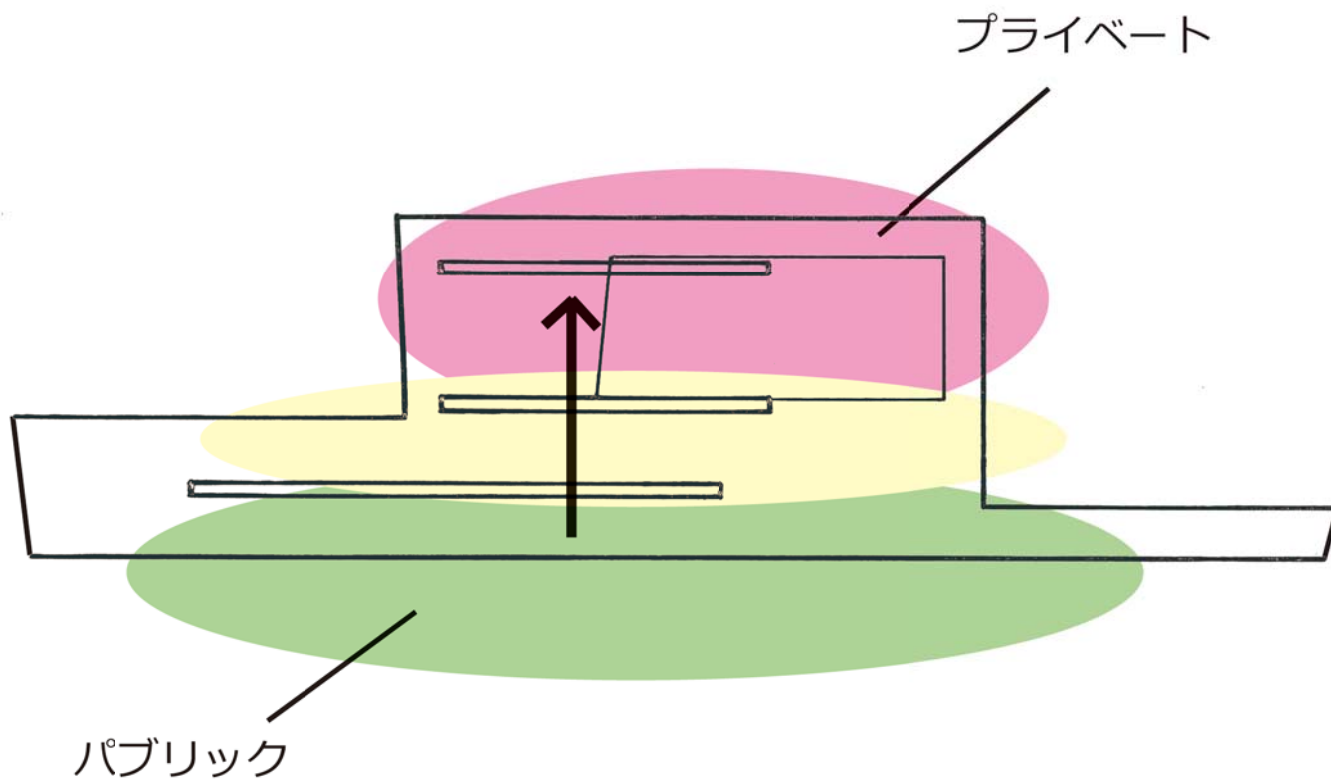
ダイアグラム



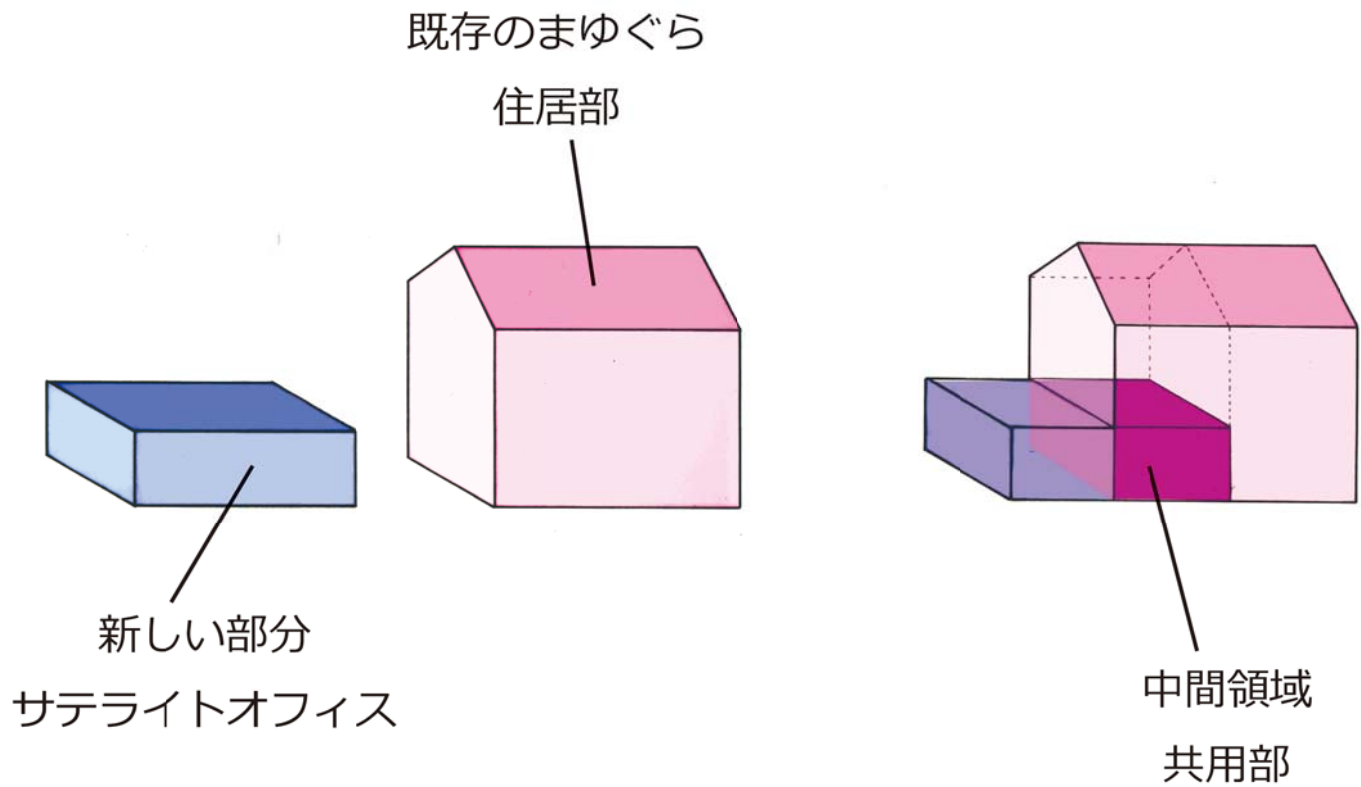
ダイアグラム



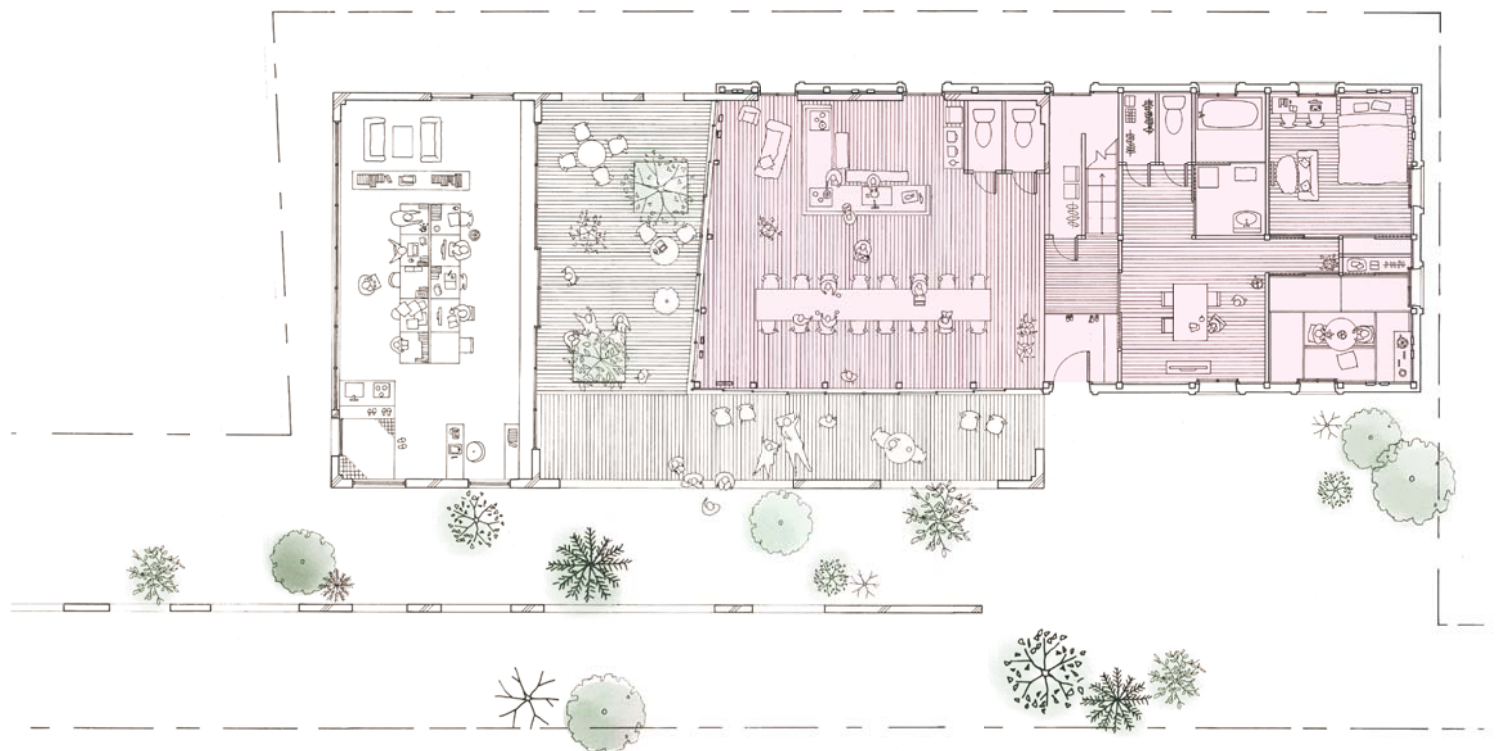
ダイアグラム



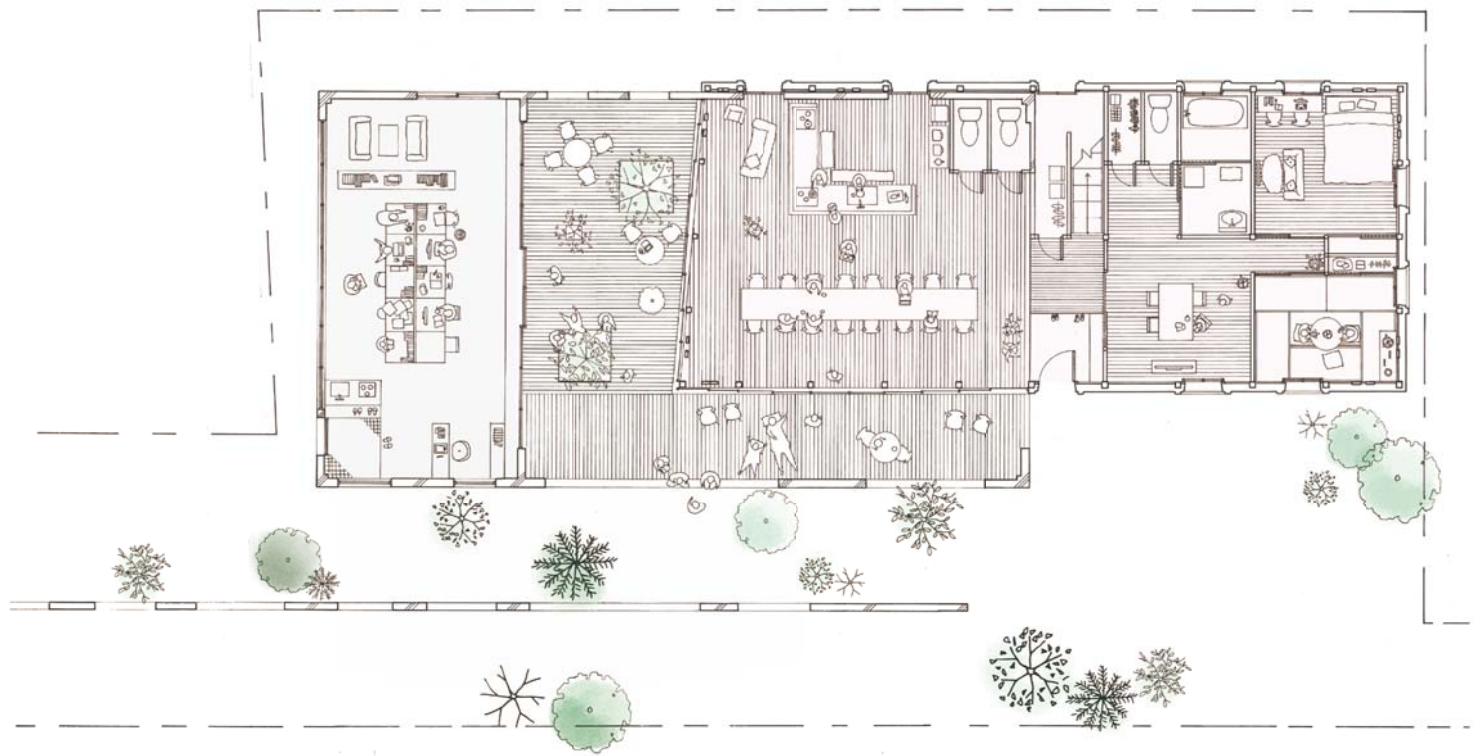
ダイアグラム



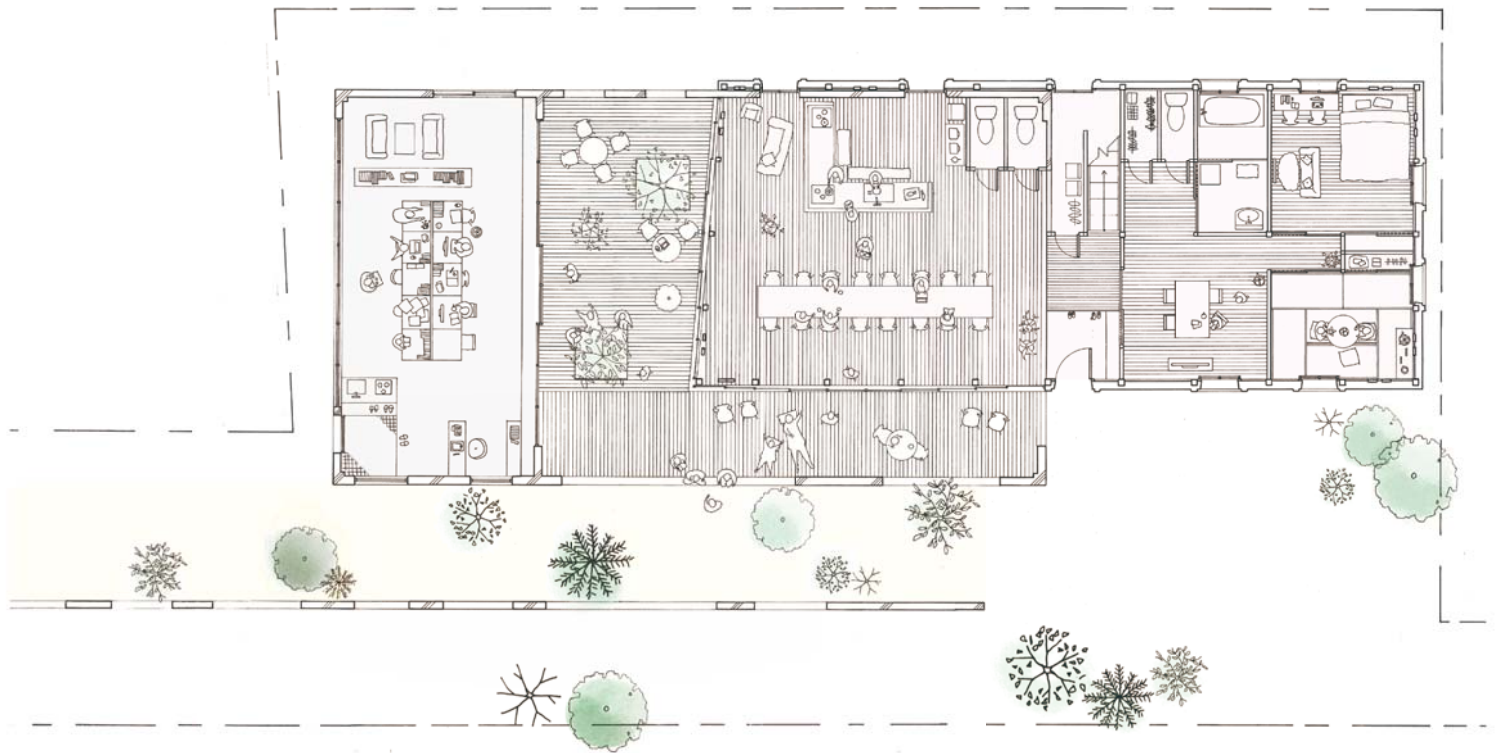
一階平面図



一階平面図



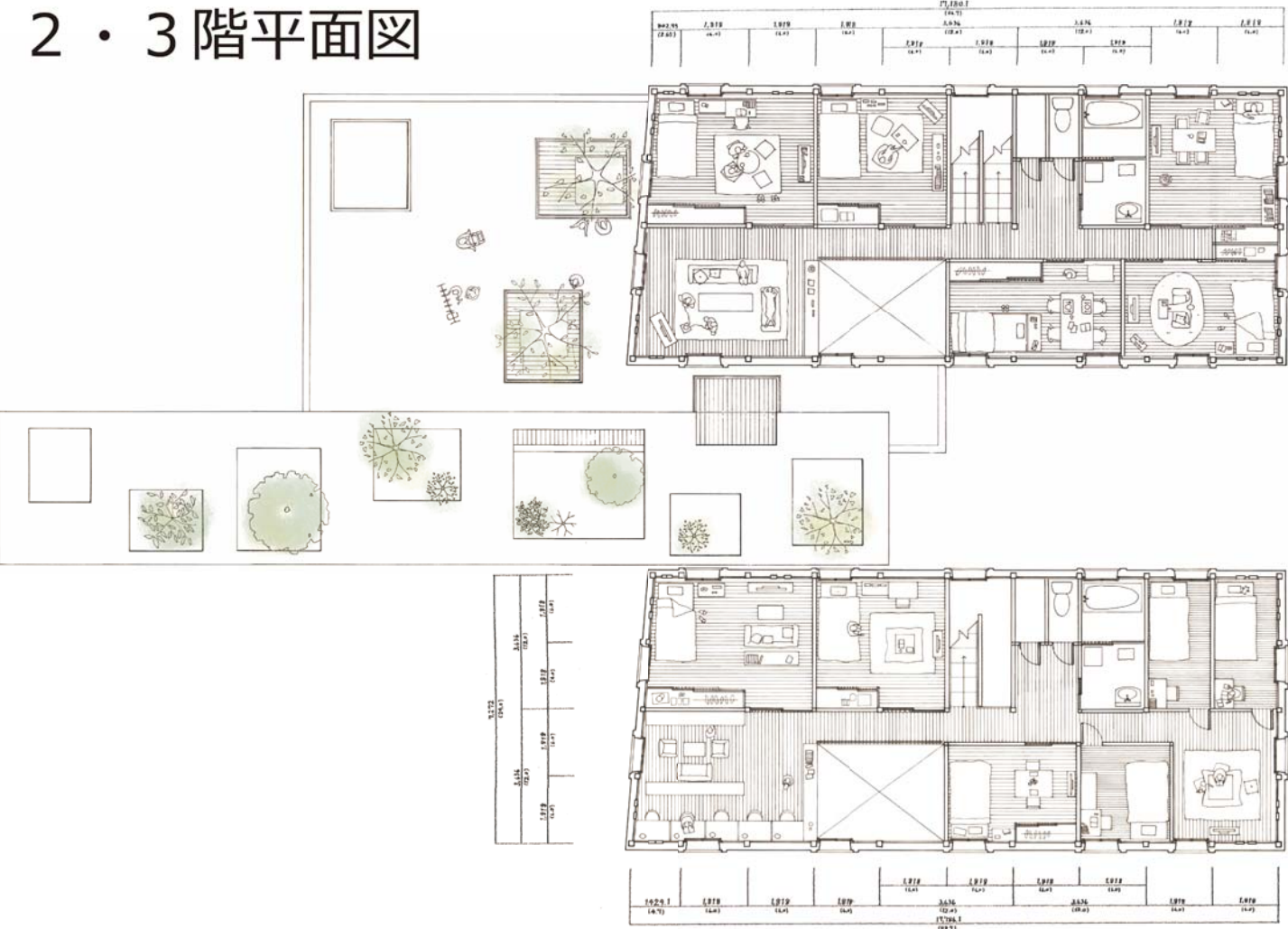
一階平面図



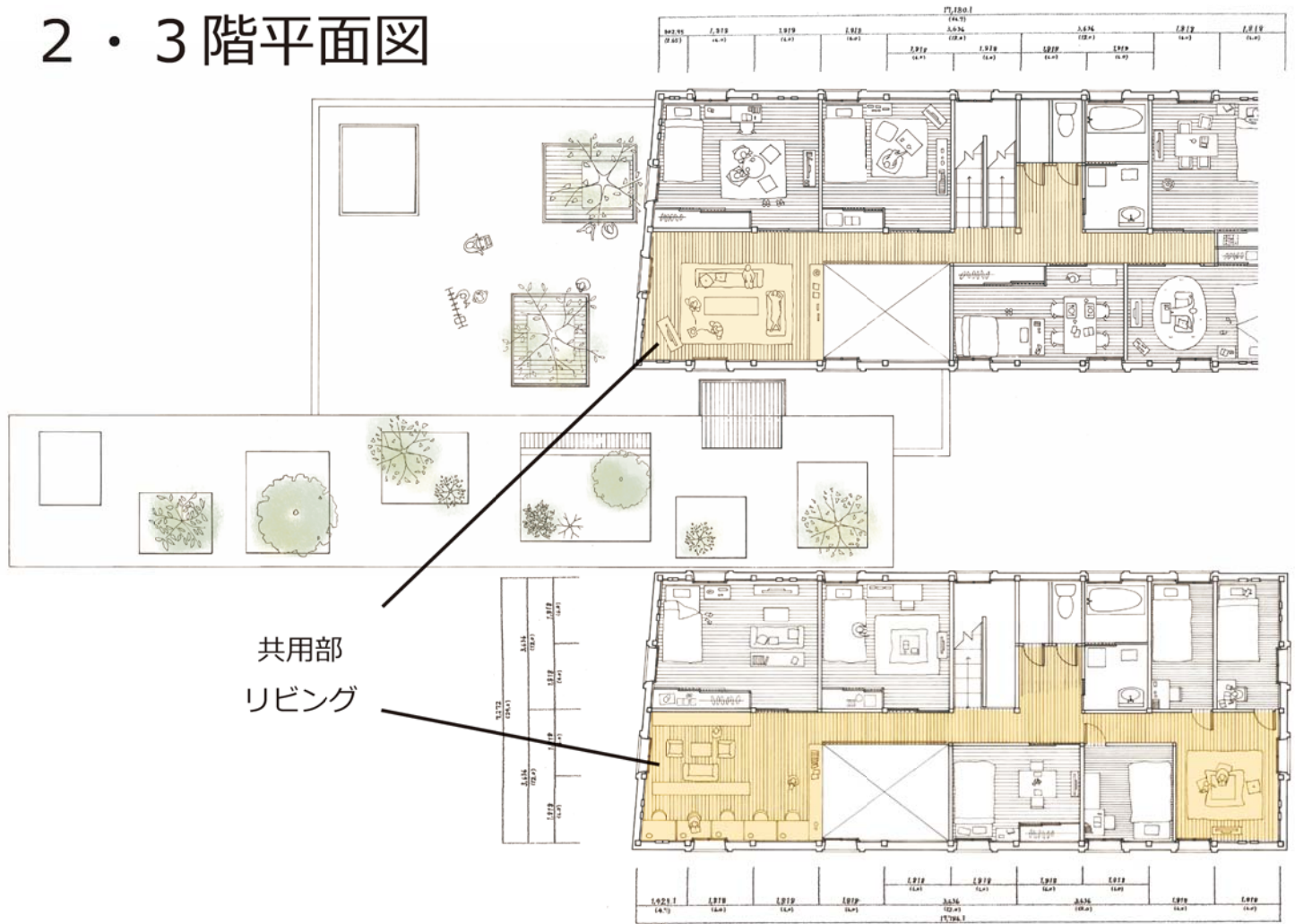
一階平面図



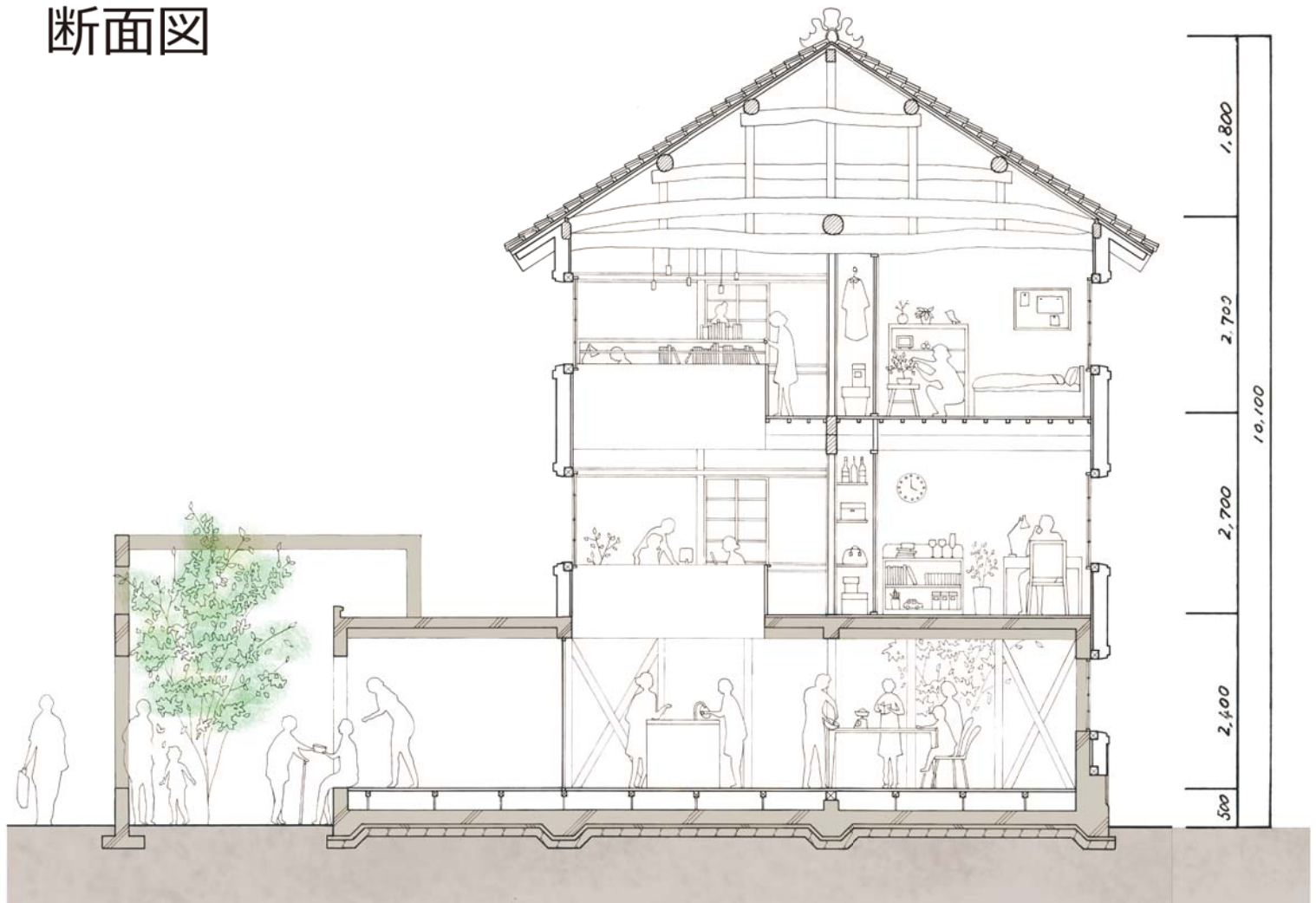
2・3階平面図



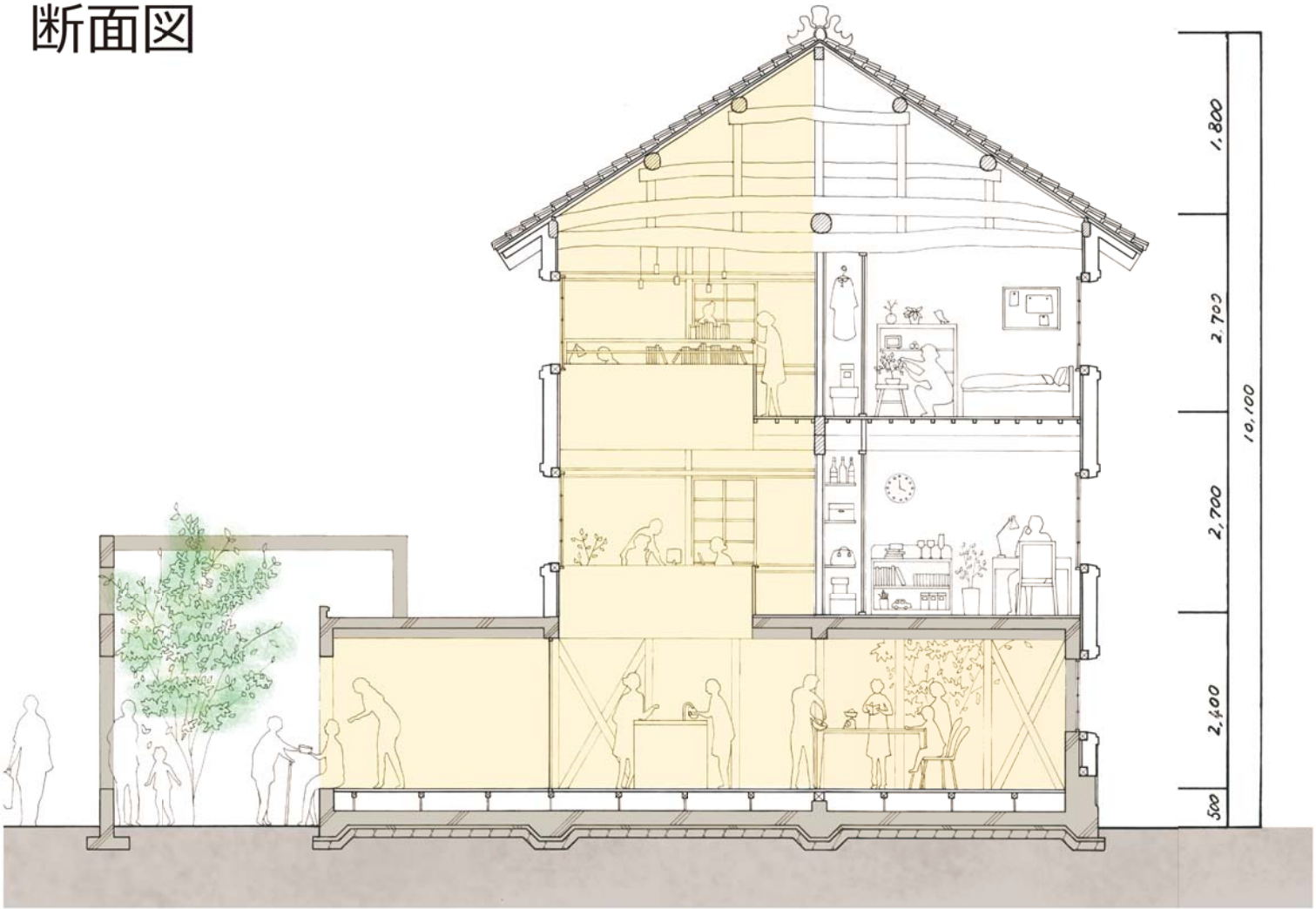
2・3階平面図



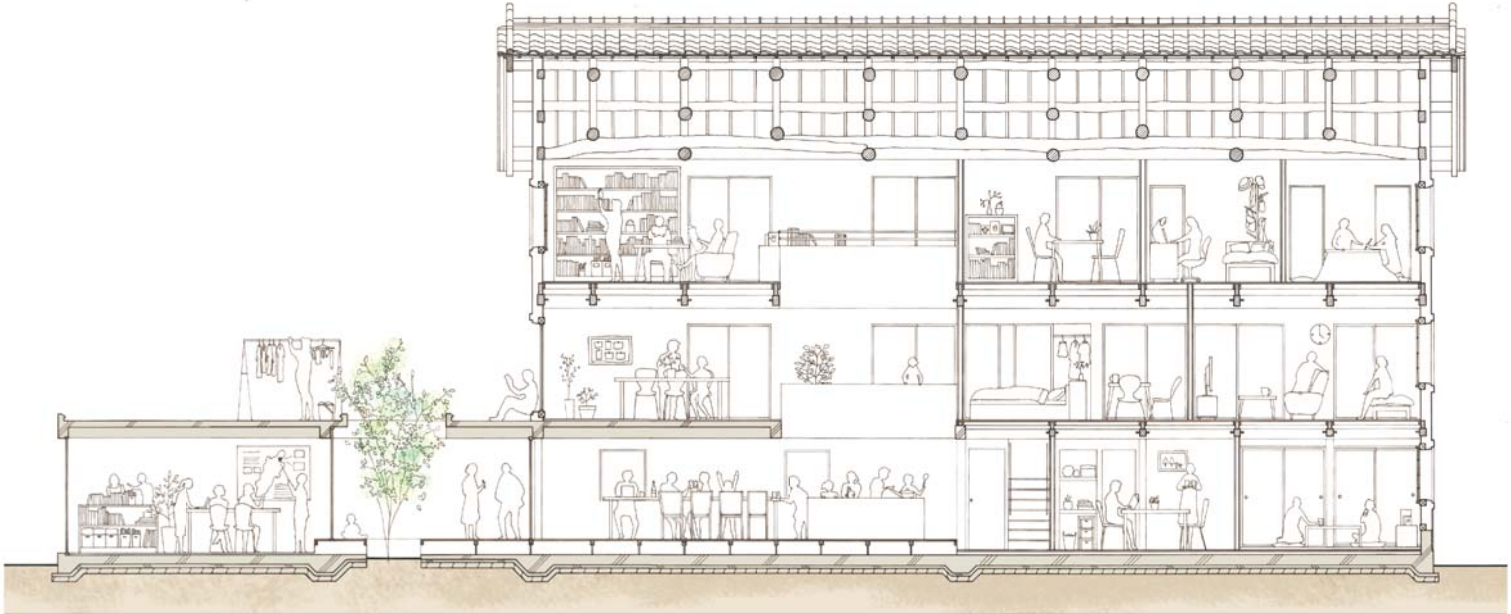
断面図



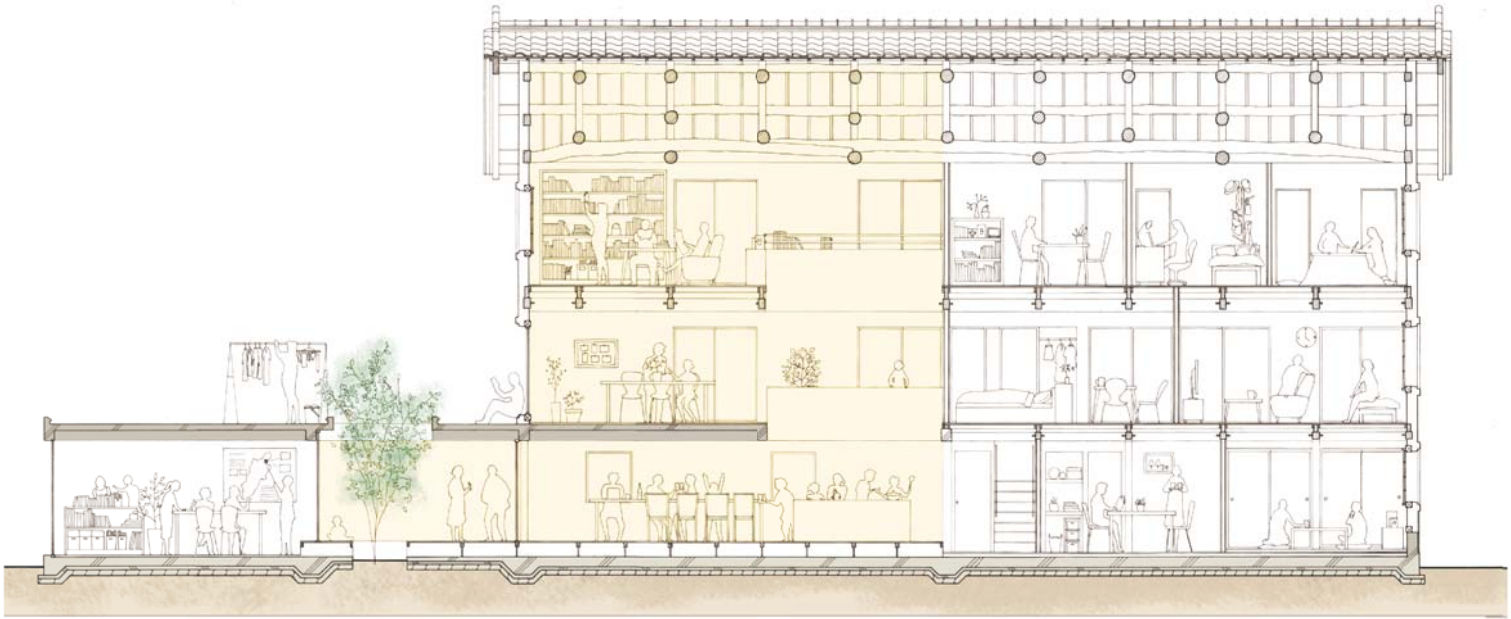
断面图



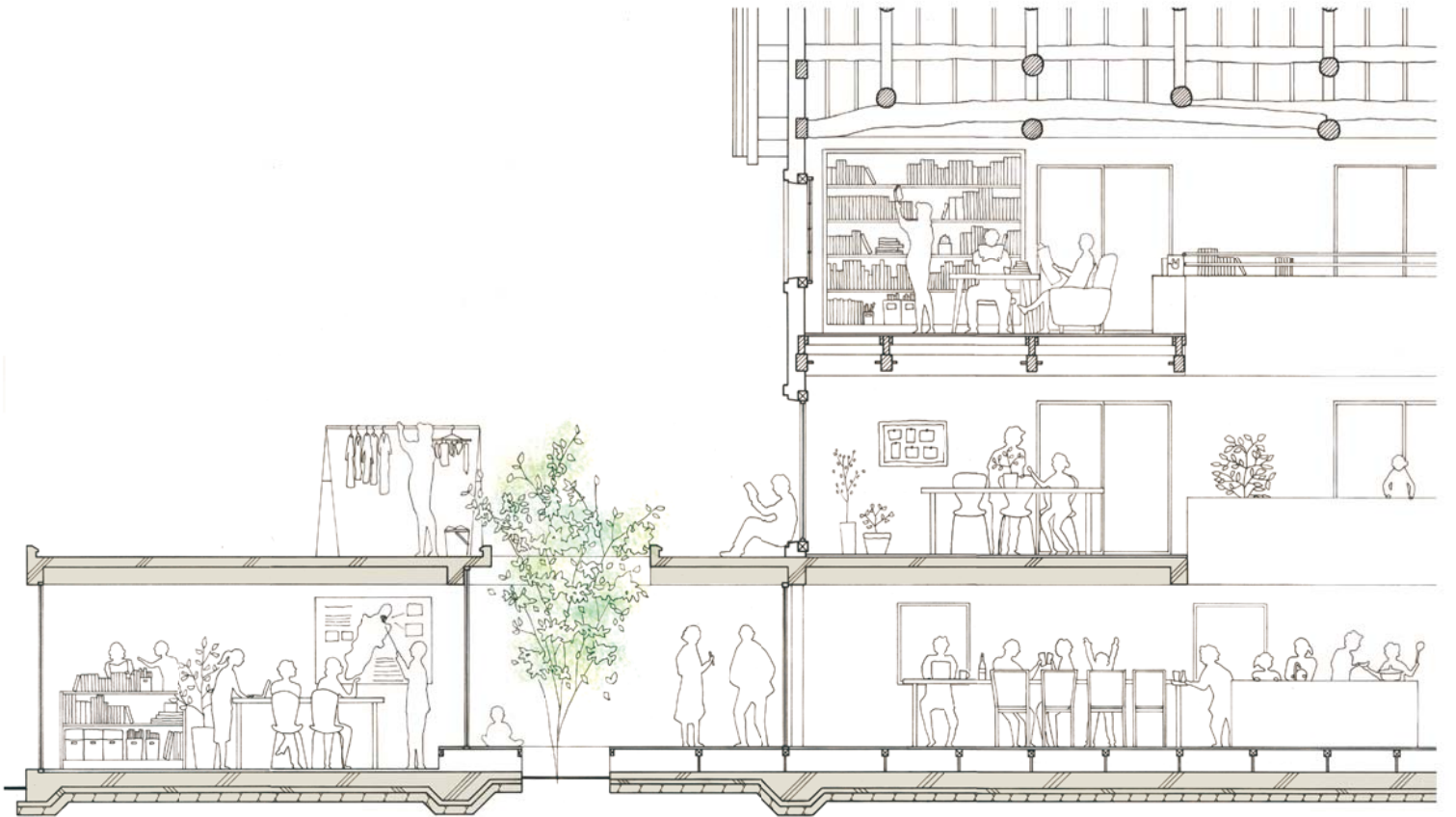
断面图



断面图



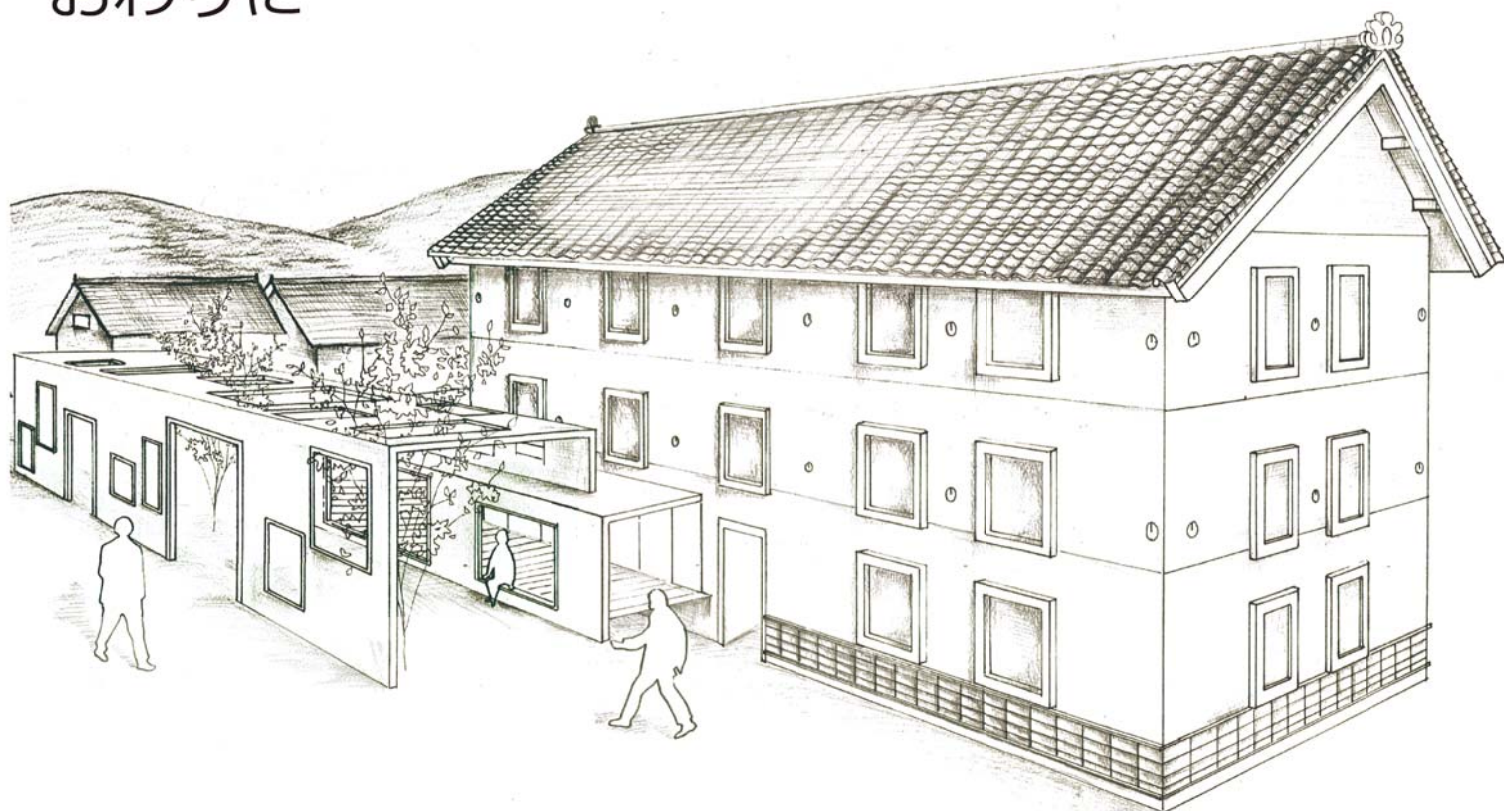
断面图



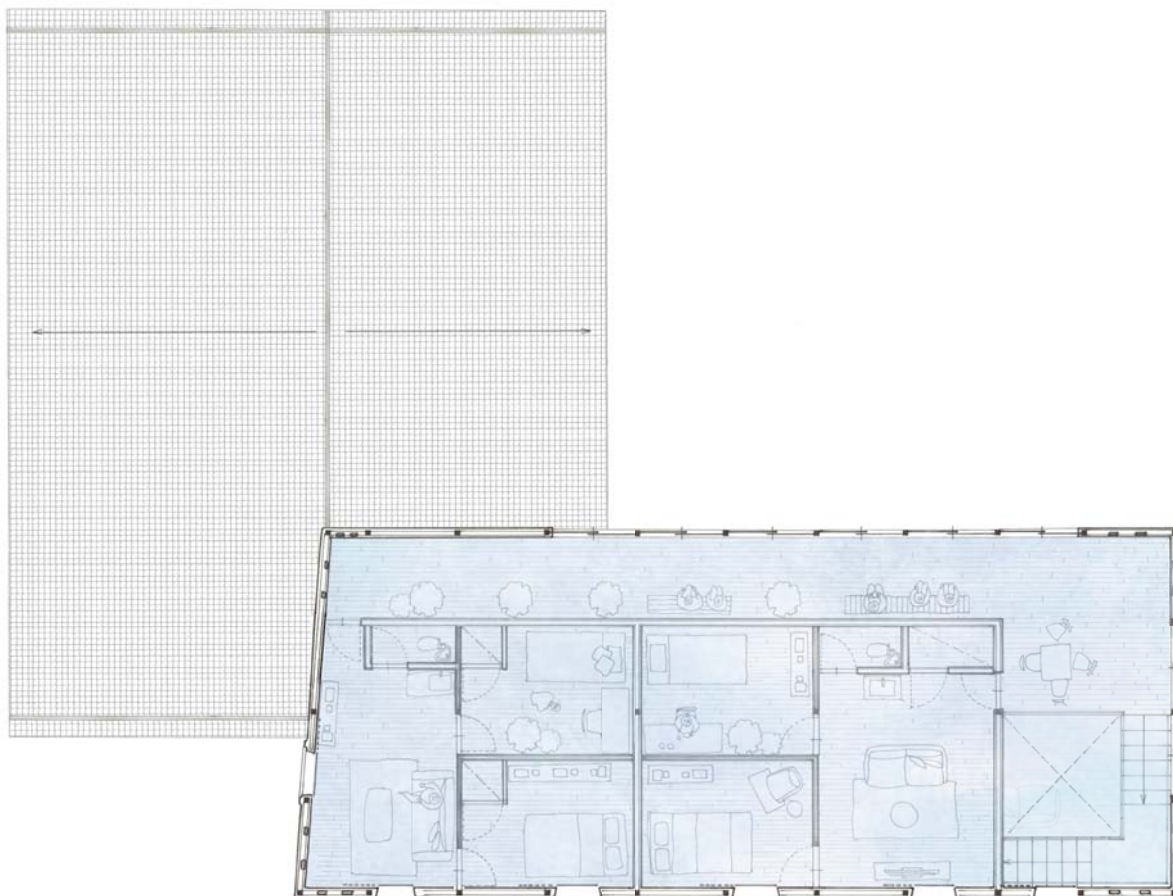
立面図



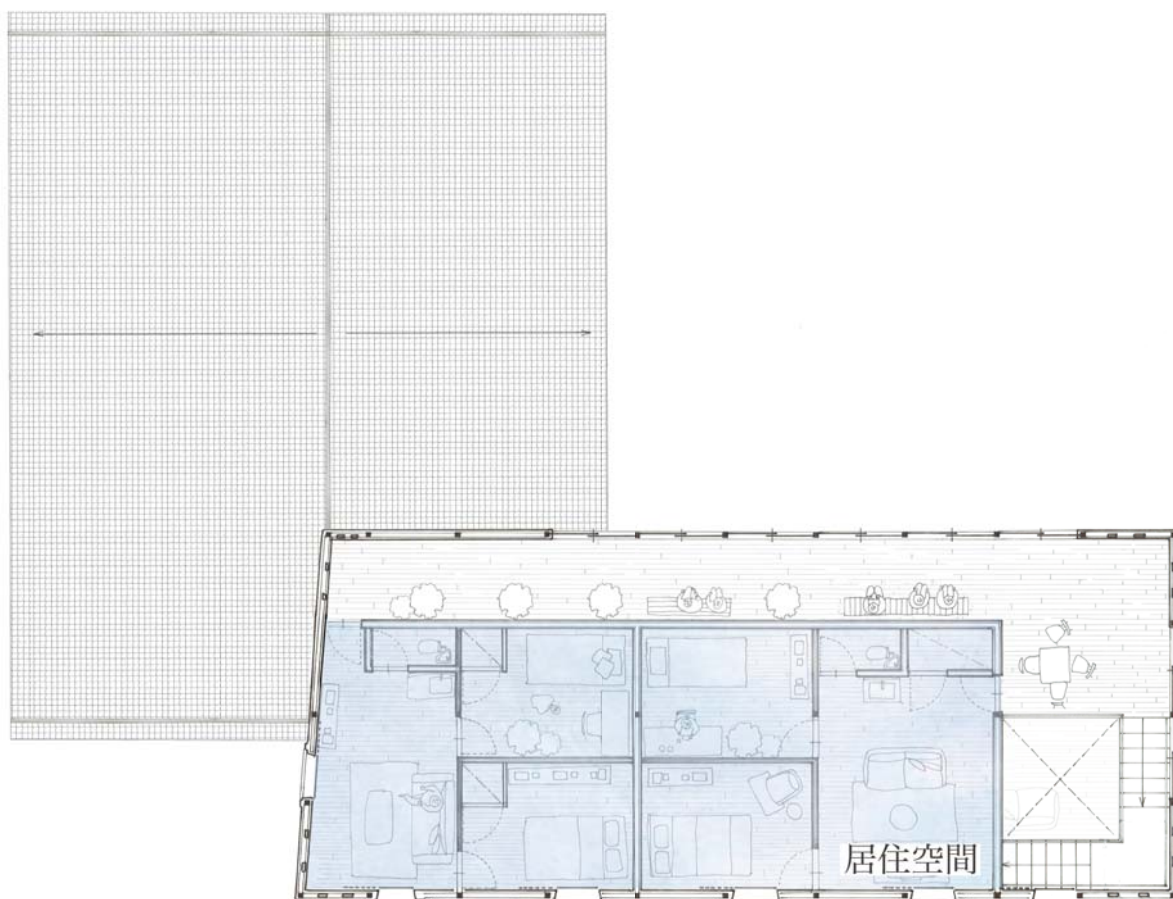
おわりに



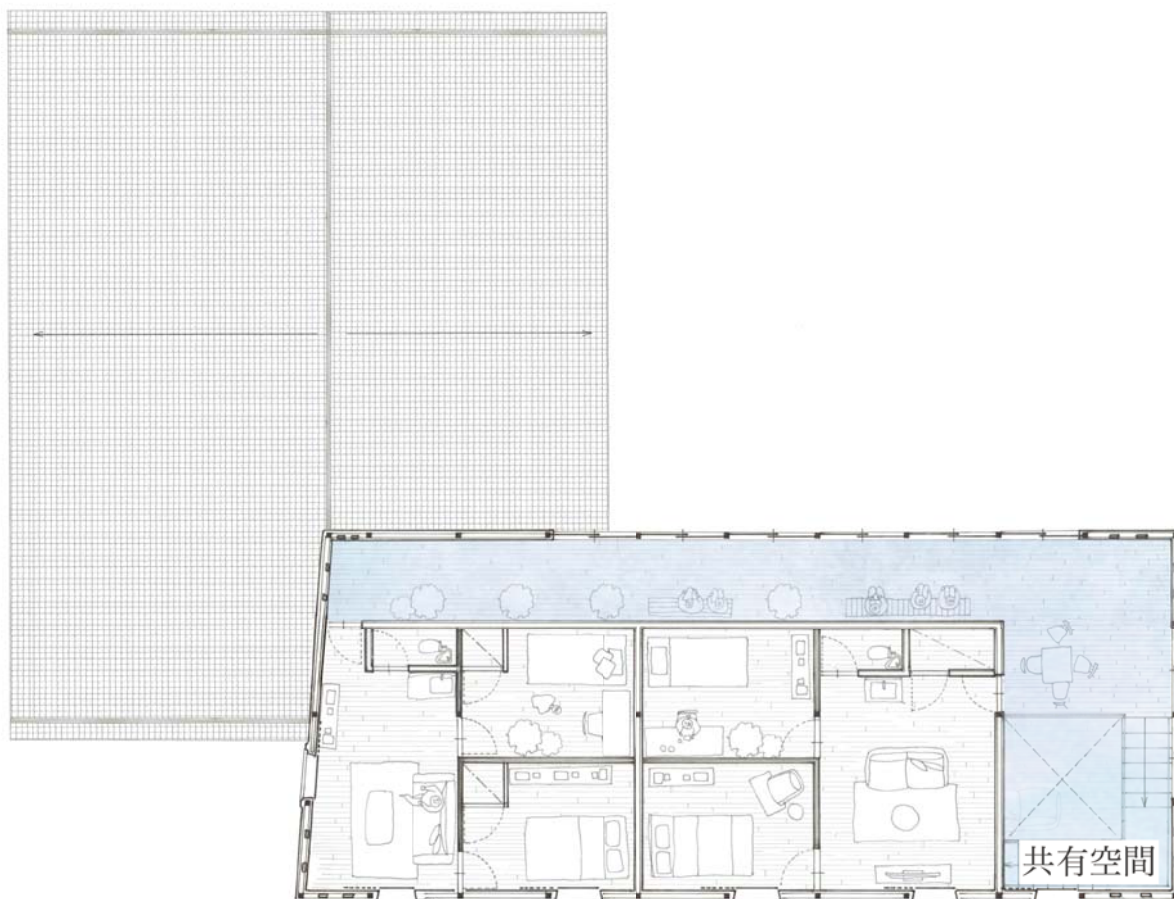
ご清聴ありがとうございました。



3階平面図



3階平面図



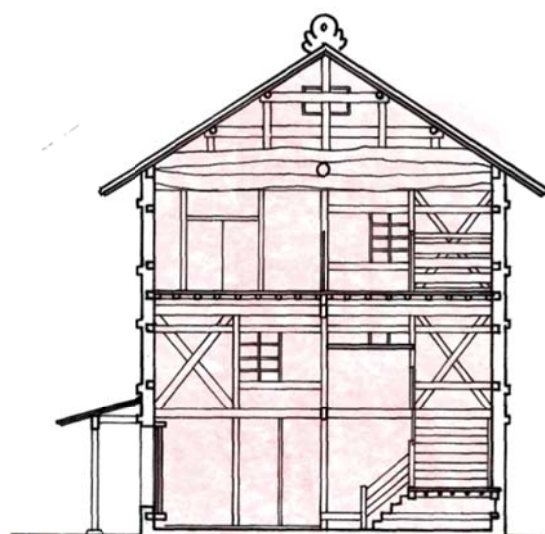
3階平面図



北立面図

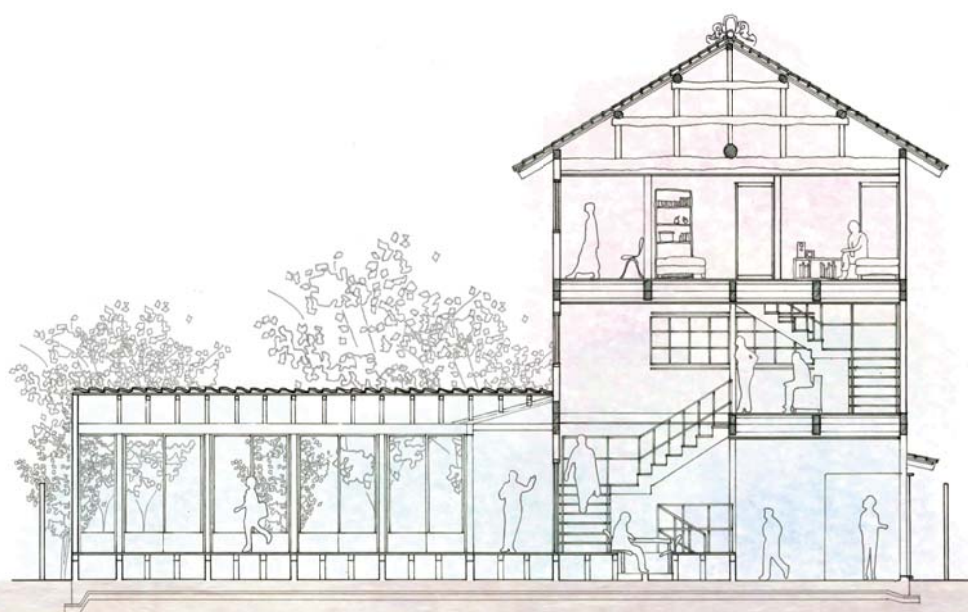


東立面図



プライベート

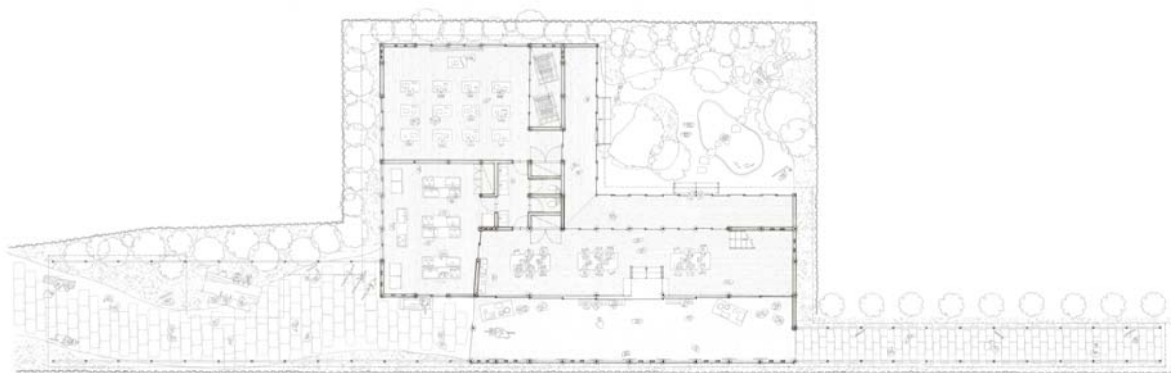
既存短手断面図



プライベート

パブリック

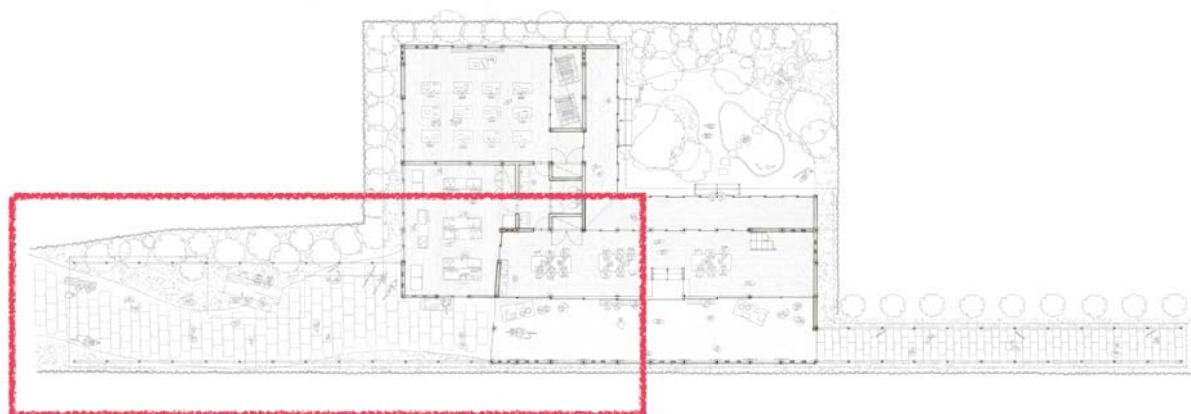
短手断面図



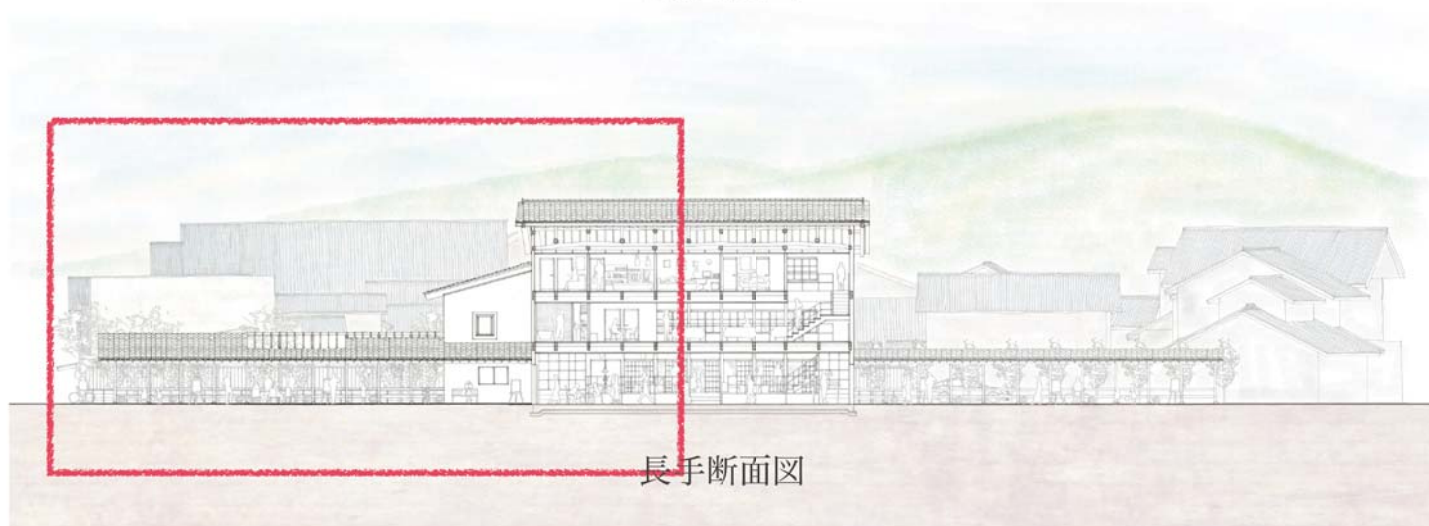
1階平面図



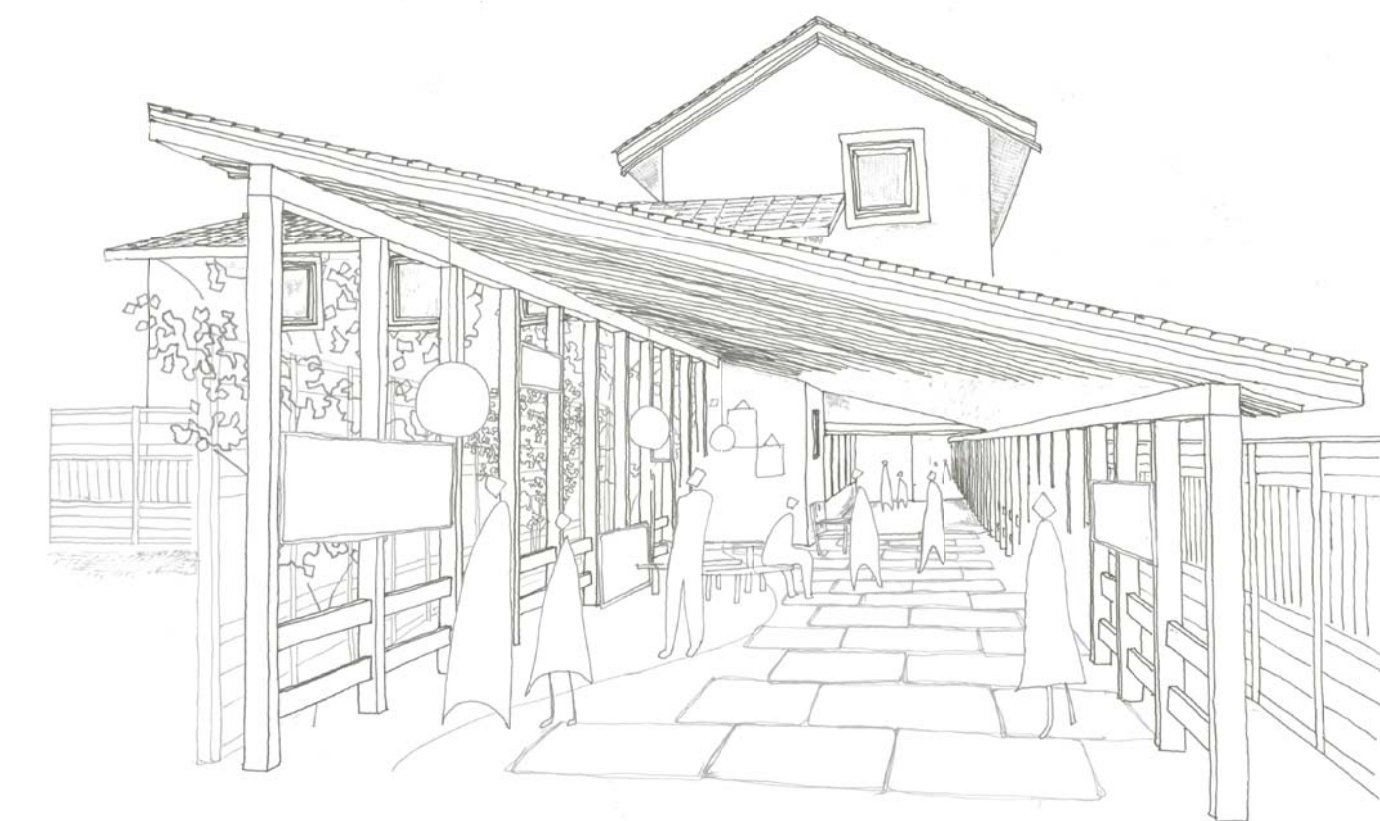
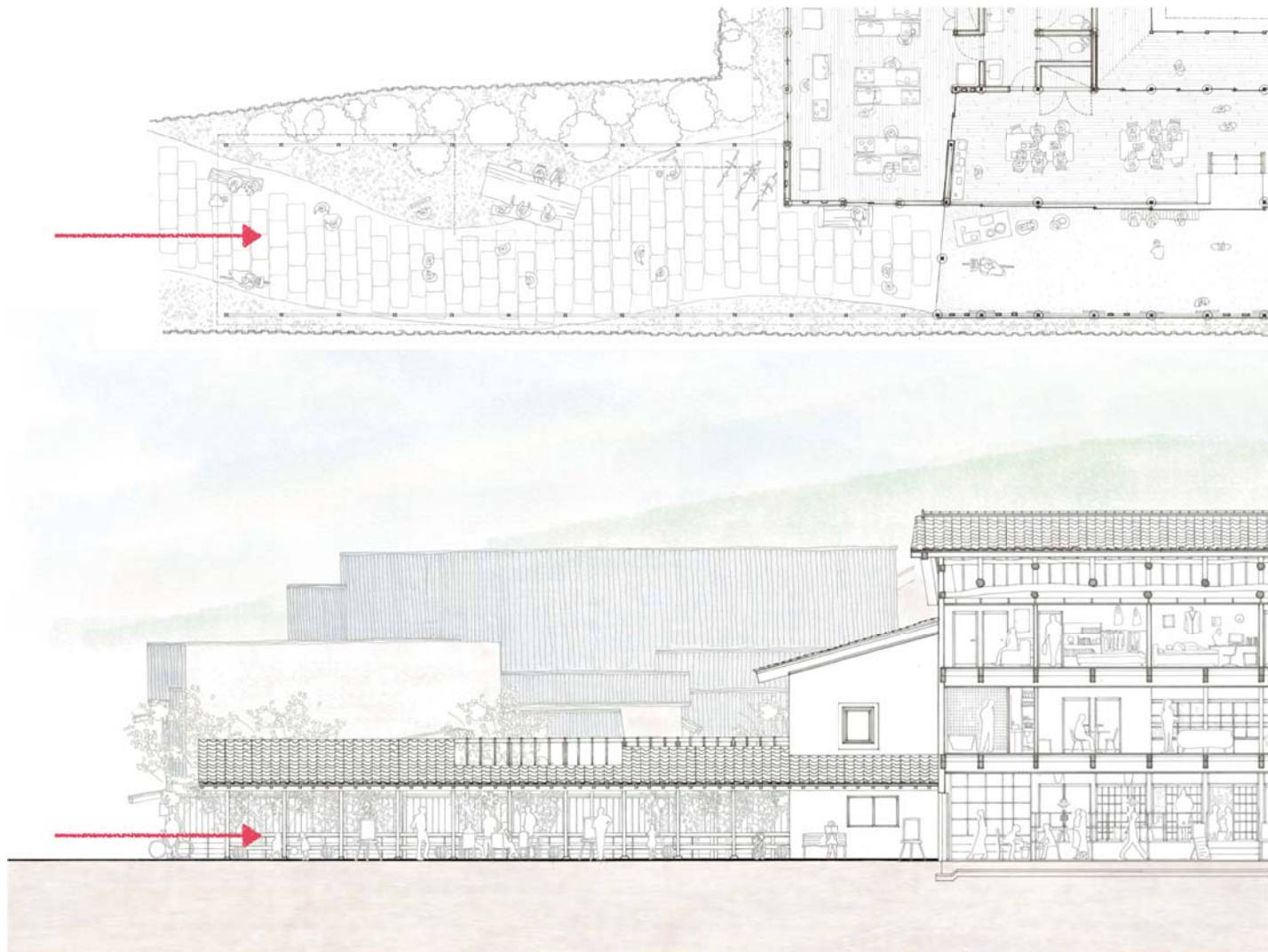
長手断面図



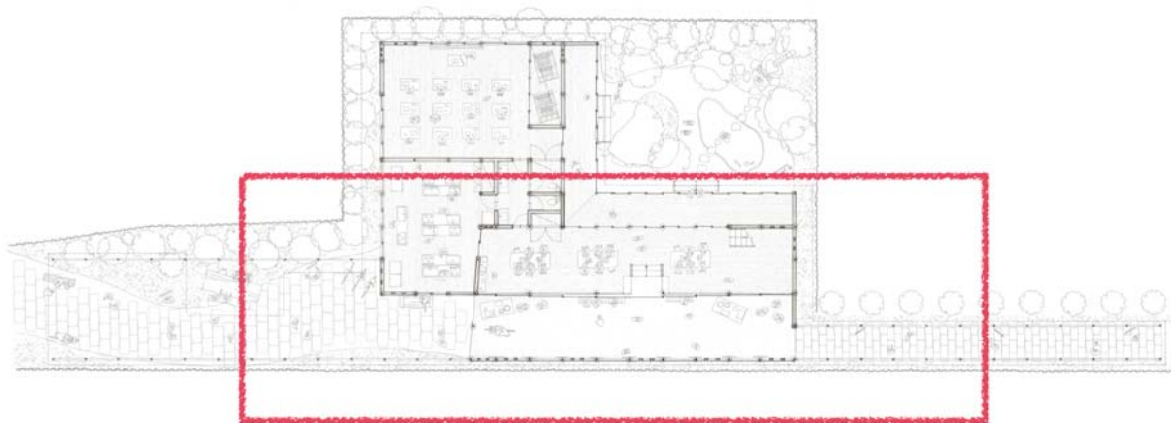
1階平面図



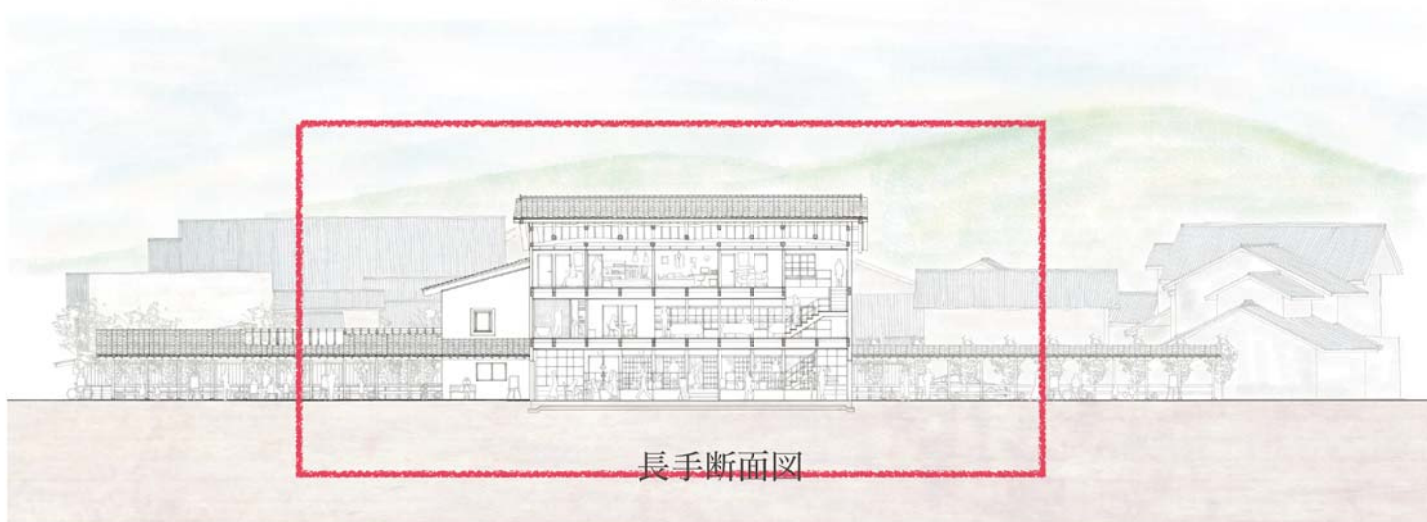
長手断面図



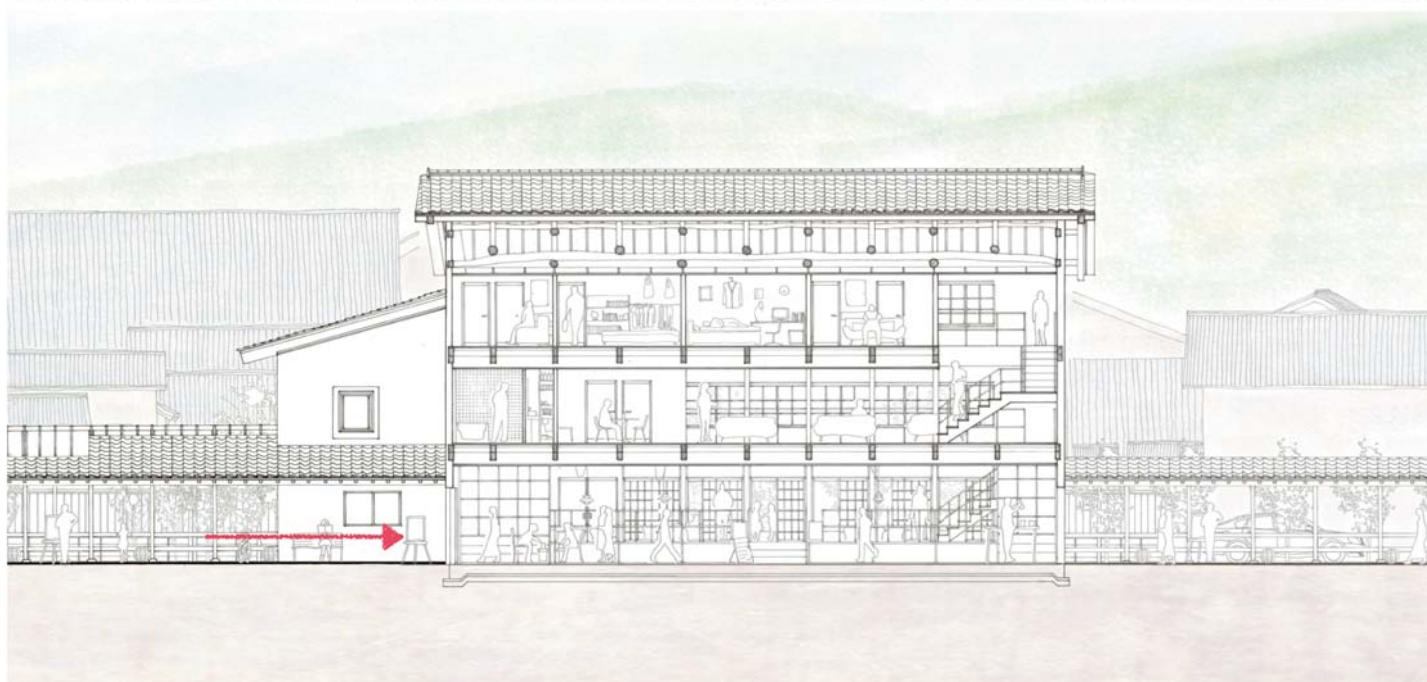
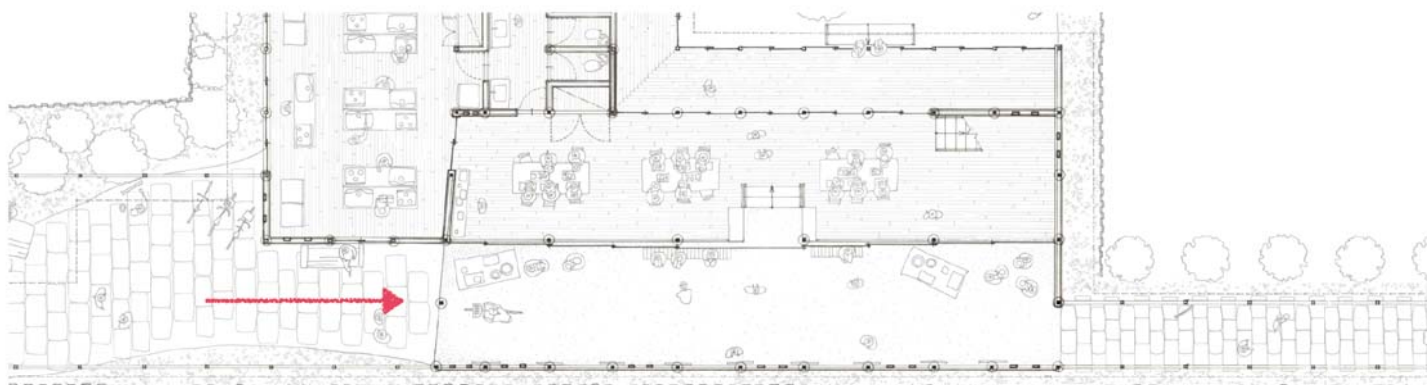
外観パース（半外部空間）



1階平面図

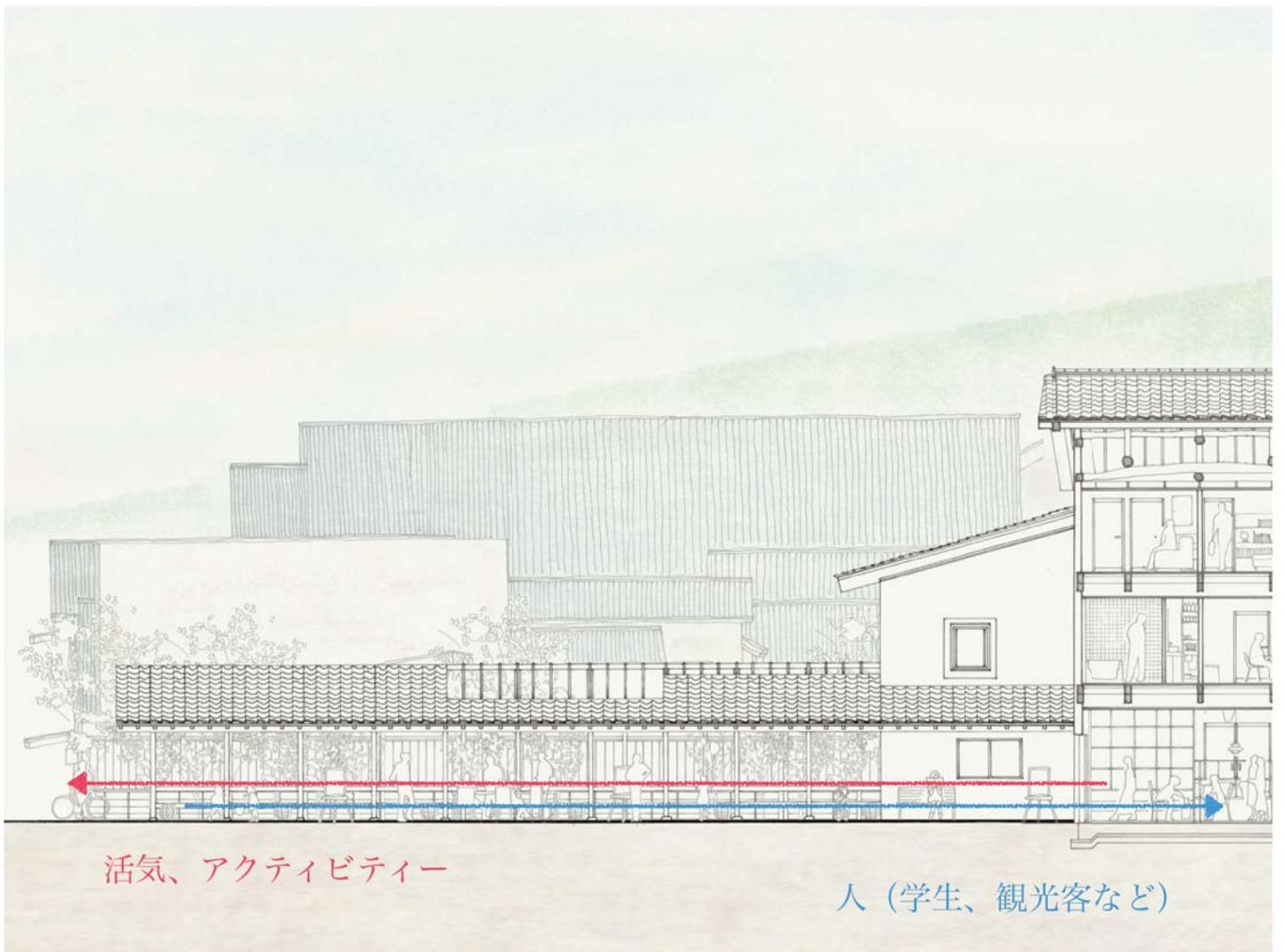


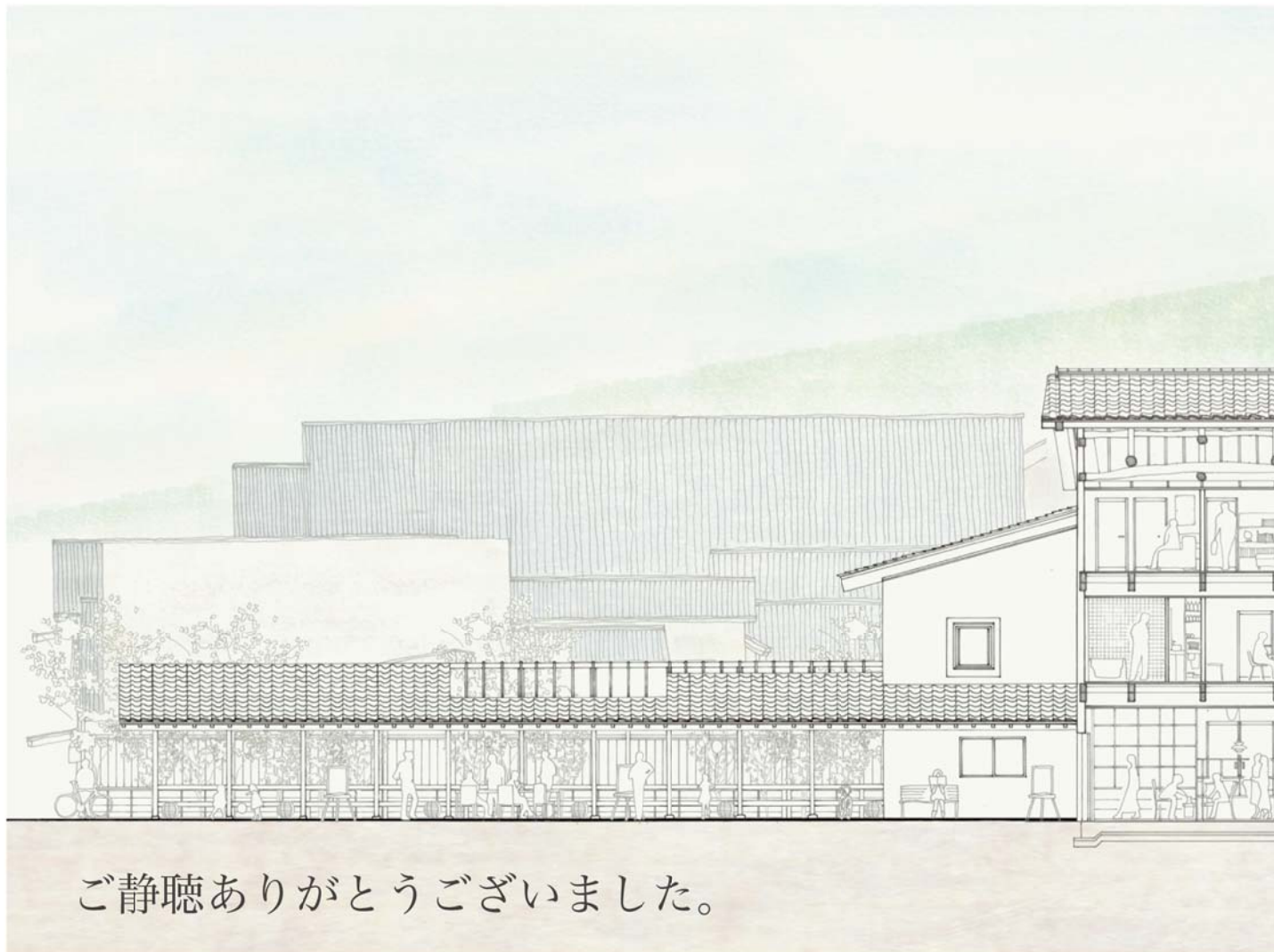
長手断面図





内観パース（半内部空間）





ご静聴ありがとうございました。

建築心理学演習課題

まちなかベンチのデザイン

信州大学大学院 理工学系研究科 建築学専攻

課題内容

- 須坂市の歴史的市街区に求められるベンチについて考える。
 - 地域のニーズを配慮した上で、適切な配置を試みる。
 - 敷地選びは自由に進めて良い。
 - 設置期間は5年を基本とする。
- 取組みに際しては、3人のチームを5つ編成する。
- Op: 河東(かとう)線記念公園

2014年度の成果



スケジュール

時期	内容
7月下旬	現地見学および調査
10月	班ごとに作業・エスキス@週1
11月	↓中間報告@しらふじ
12月	プレゼンテーション@しらふじ
1月	ベンチの図面準備・発注
2月	ベンチの納品



スケジュール

時期	内容
7月下旬	現地見学および調査
10月	班ごとに作業・エスキス@週1
11月	↓中間報告@しらふじ
12月	プレゼンテーション@しらふじ
1月	ベンチの図面準備・発注
2月	ベンチの納品



須坂市ベンチ計画

信州大学大学院 修士1年

石井伸幸

妹尾真麻

福島由華

敷地



敷地計画地

横町中央交差点前
県立須坂病院むかい

敷地調査



周辺には市民が利用する県立須坂病院や市立図書館、また、観光客が多く訪れる須坂クラシック美術館、まゆぐら、笠鉾会館などが立地する



面している国道は須坂市の中央通りであり、市民が生活動線に使用している道であると同時に、観光客が訪れる道であるということがいえる

そこで、須坂に住む市民だけではなく
訪れる観光客が楽しみながら須坂を感じることができるベンチ

かつ

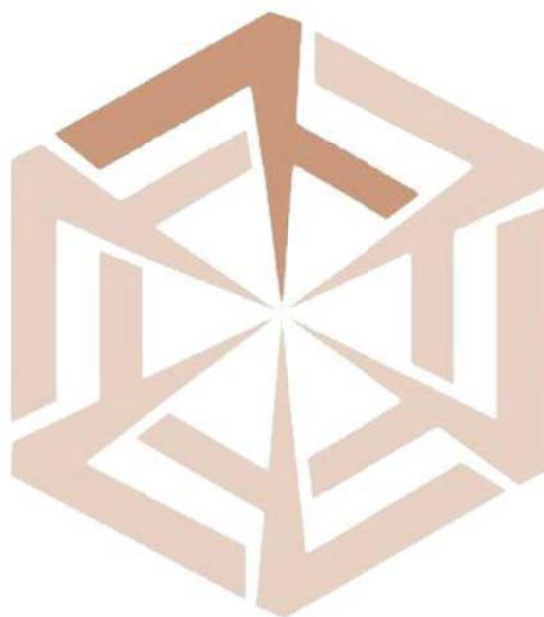
市の玄関口ともいえる敷地計画地にシンボルとして
モニュメント性のあるベンチ

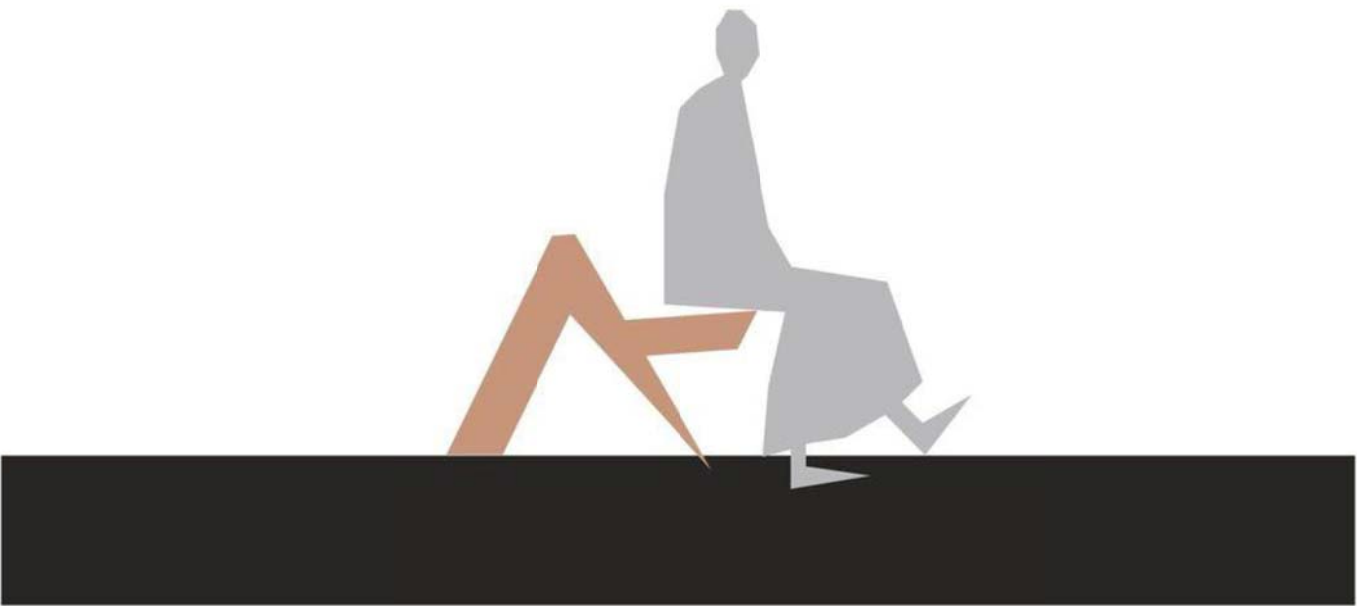
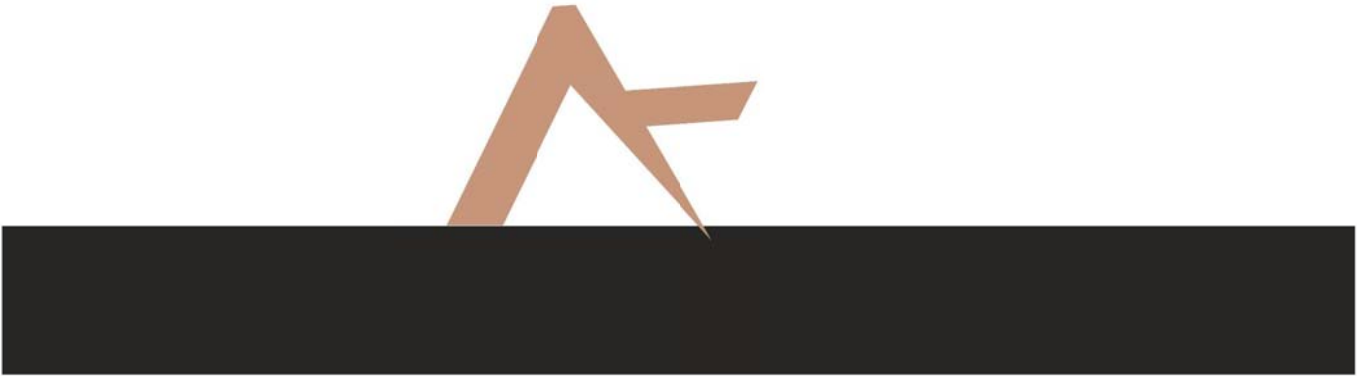
以上のようなベンチを提案する

今回、私たちは須坂市の中央通りに須坂市を象徴するシンボルのひとつ
「市章」を用いたペンチ計画をおこなった

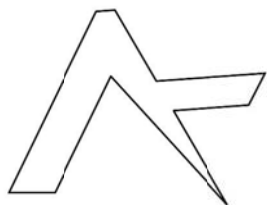


須坂市の市章（須坂市HP抜粋）
須坂市の市章は亀の甲を須坂の「ス」の文字で表わし
須坂の歴史と将来への発展を意味する



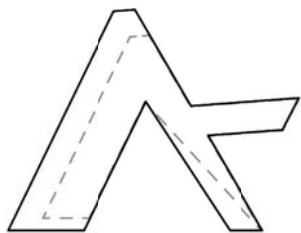


ダイヤグラム



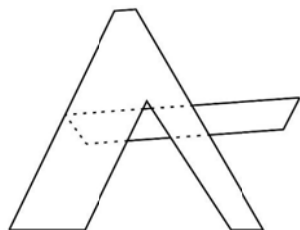
市章をトレースした形

ダイヤグラム

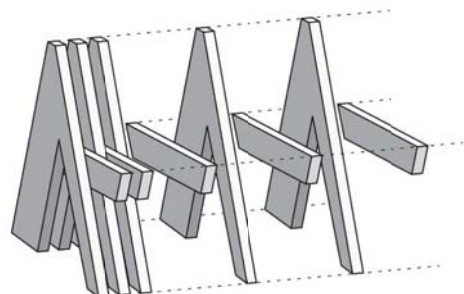


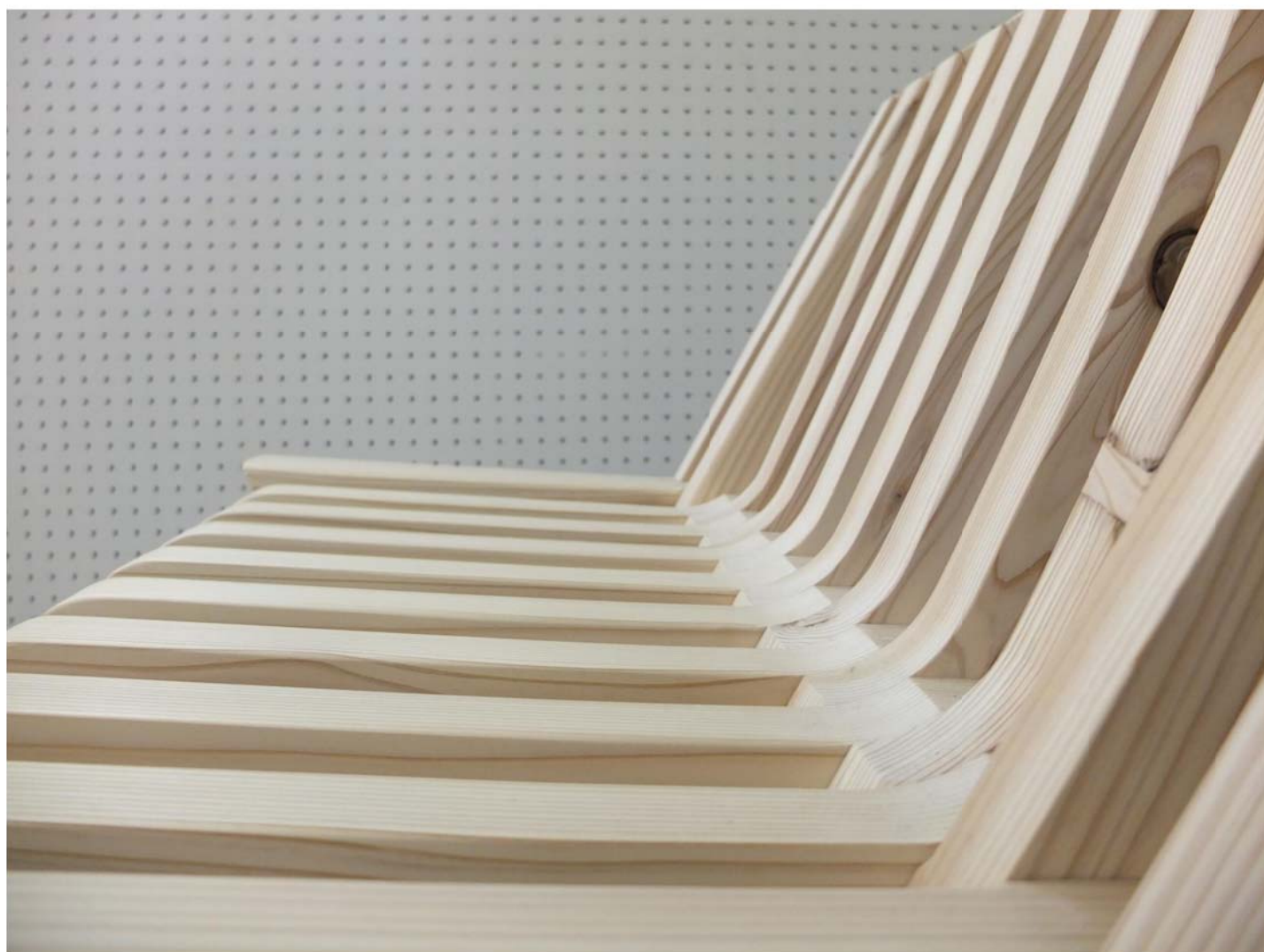
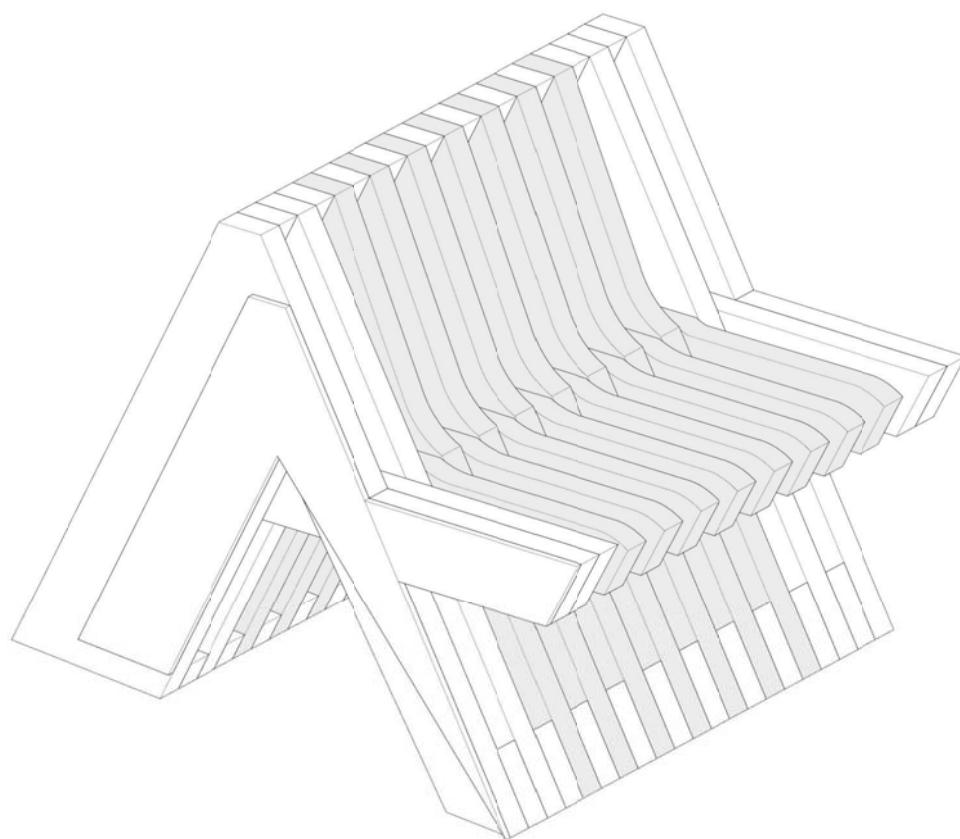
強度を出すための肉付け

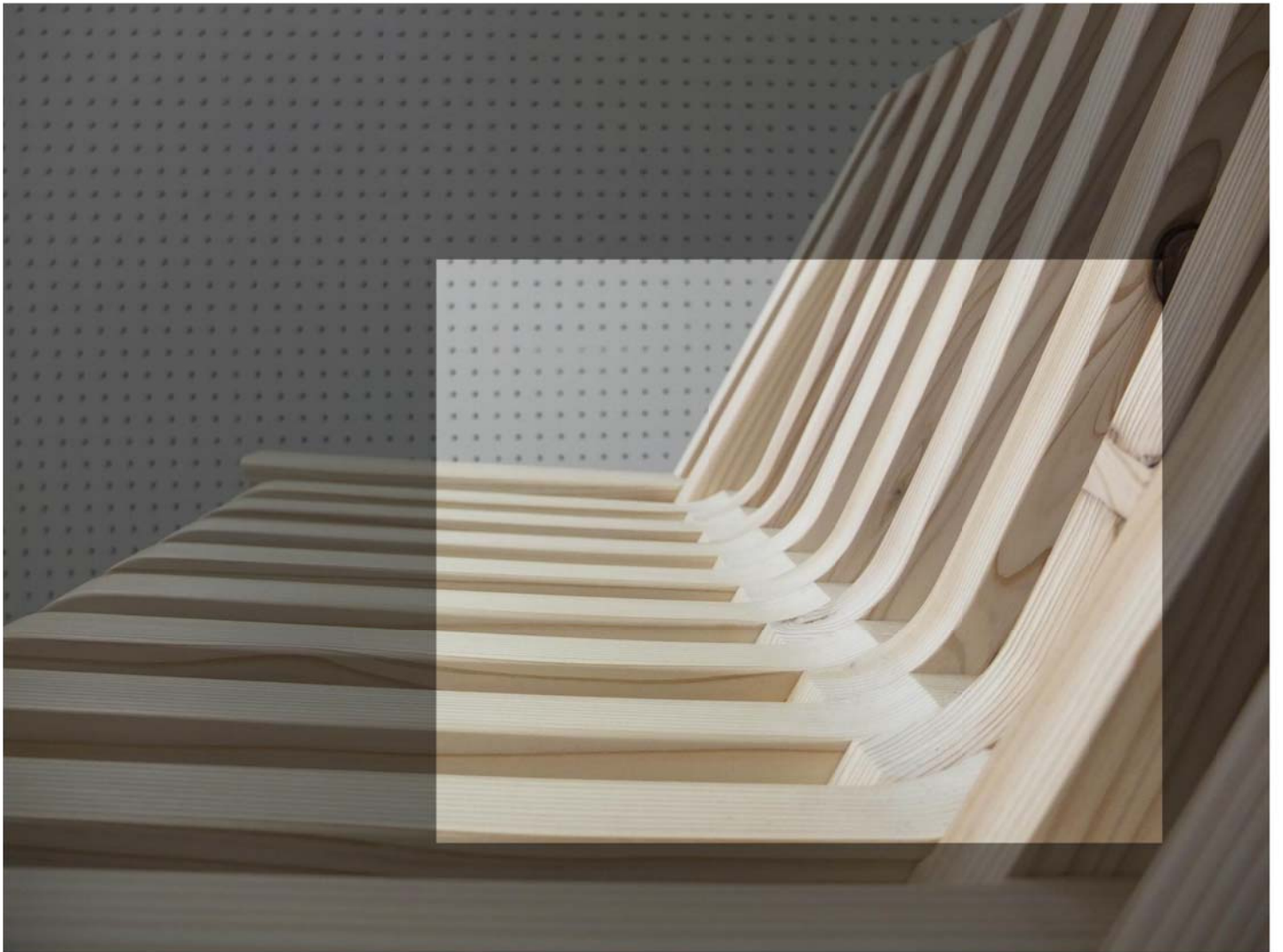
ダイアグラム

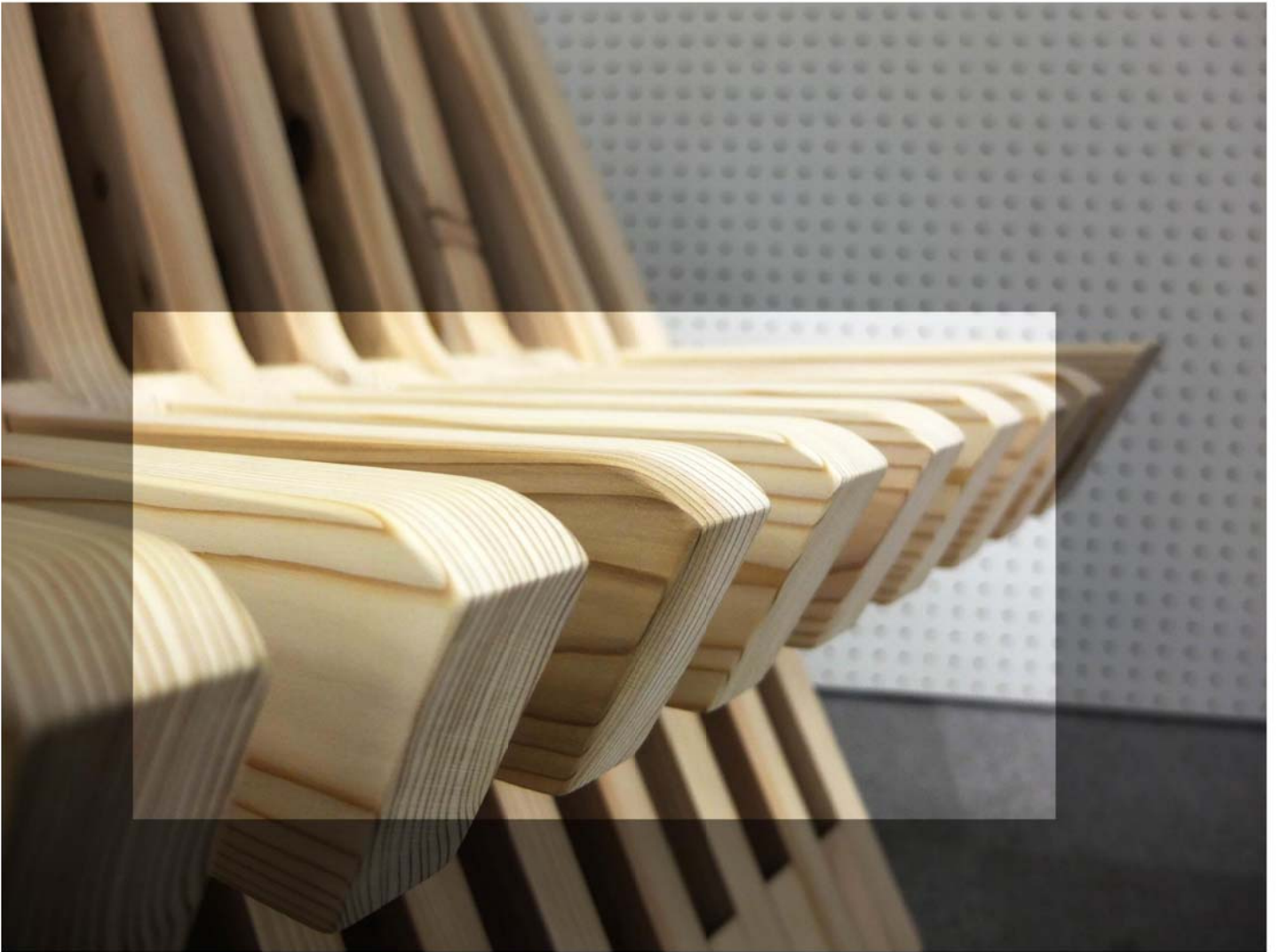


板材を積層させる

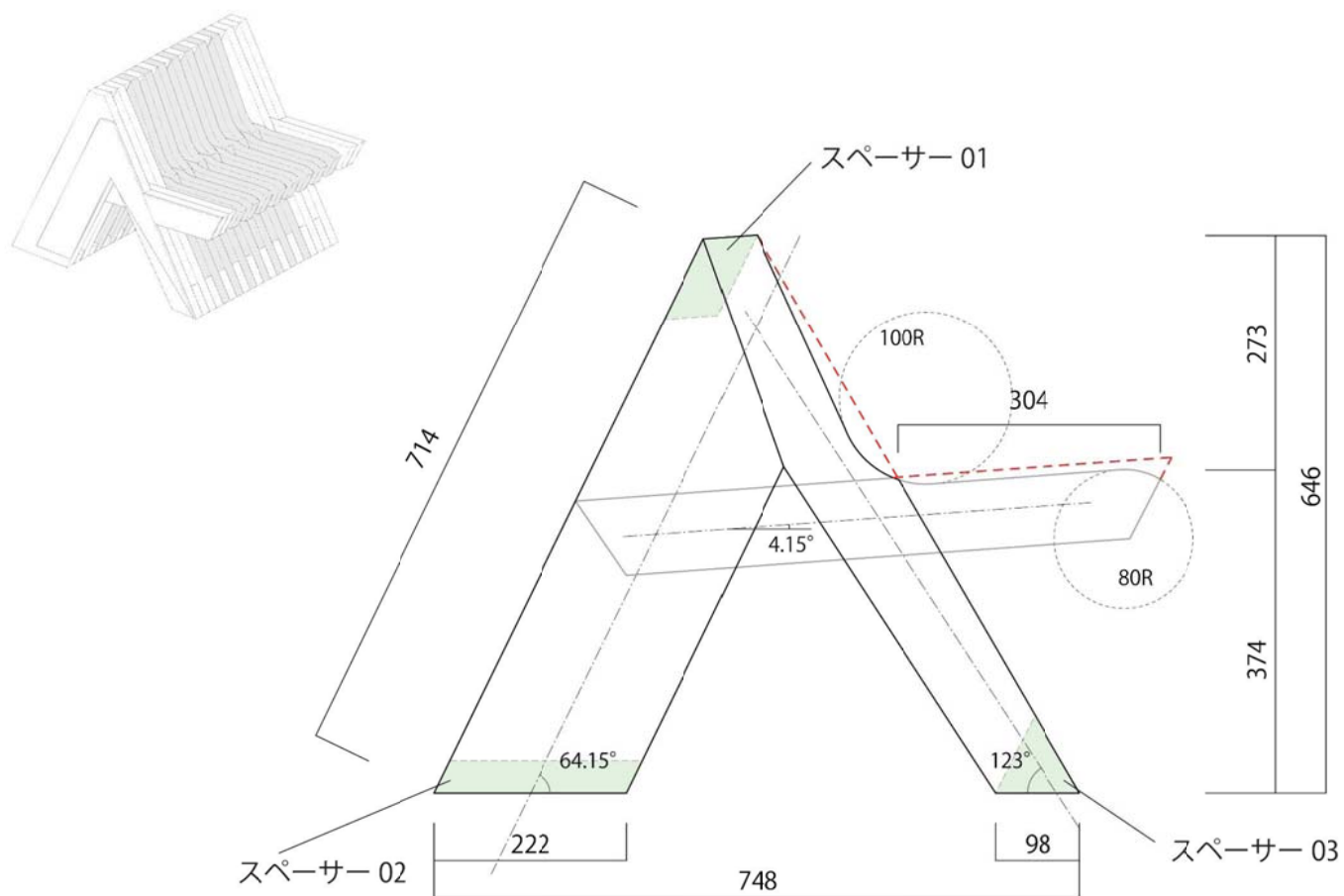




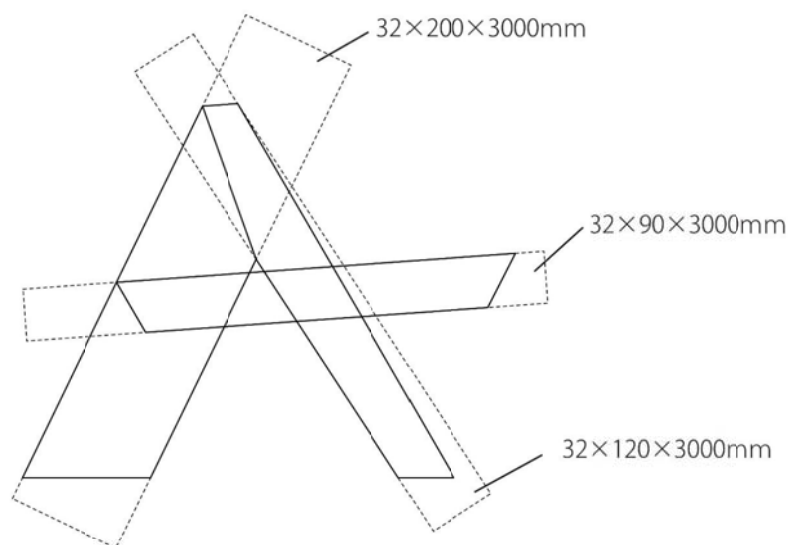




座面先端を面取り (80R)



各部材の取り出し



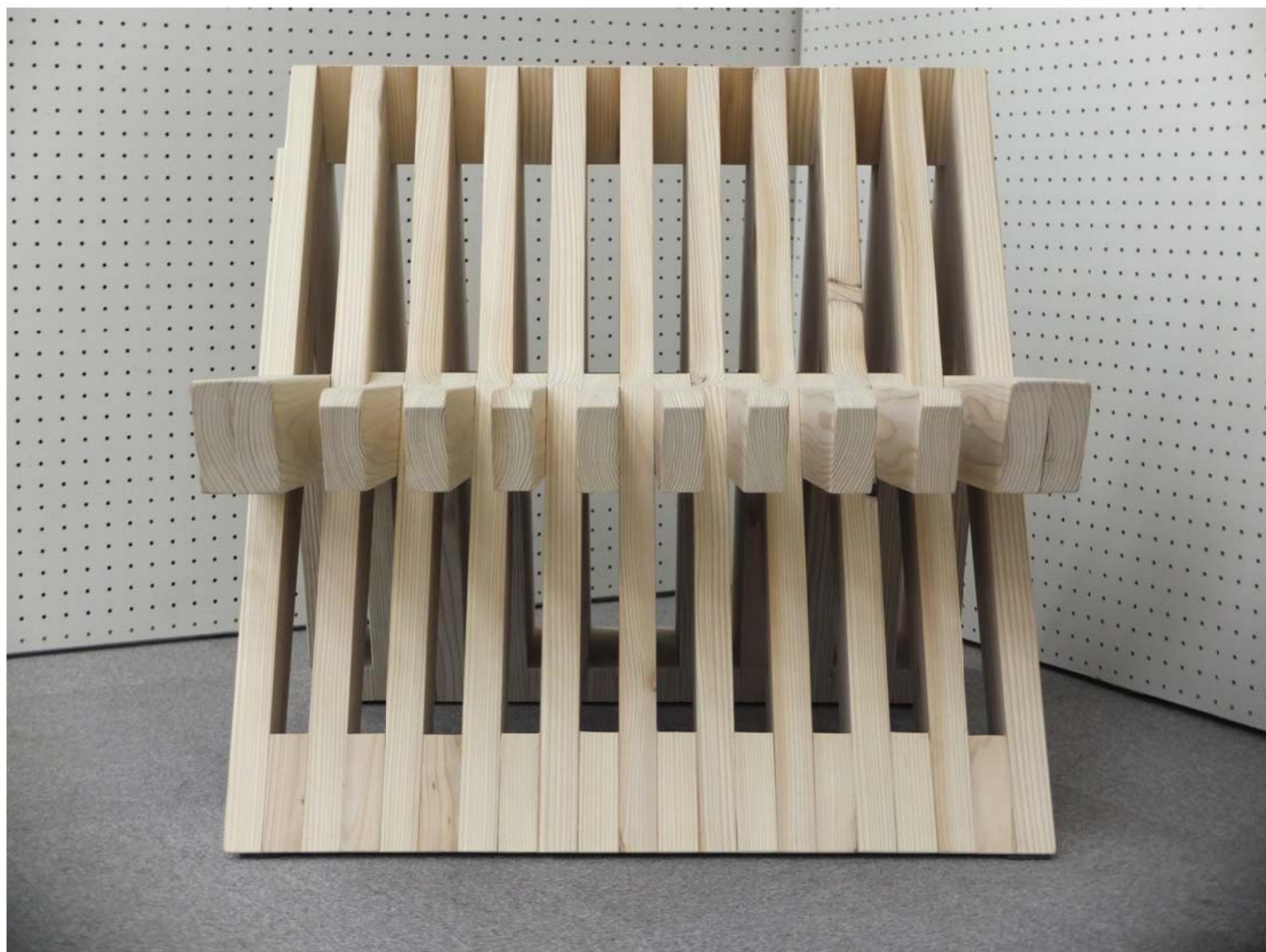
巾 200mm



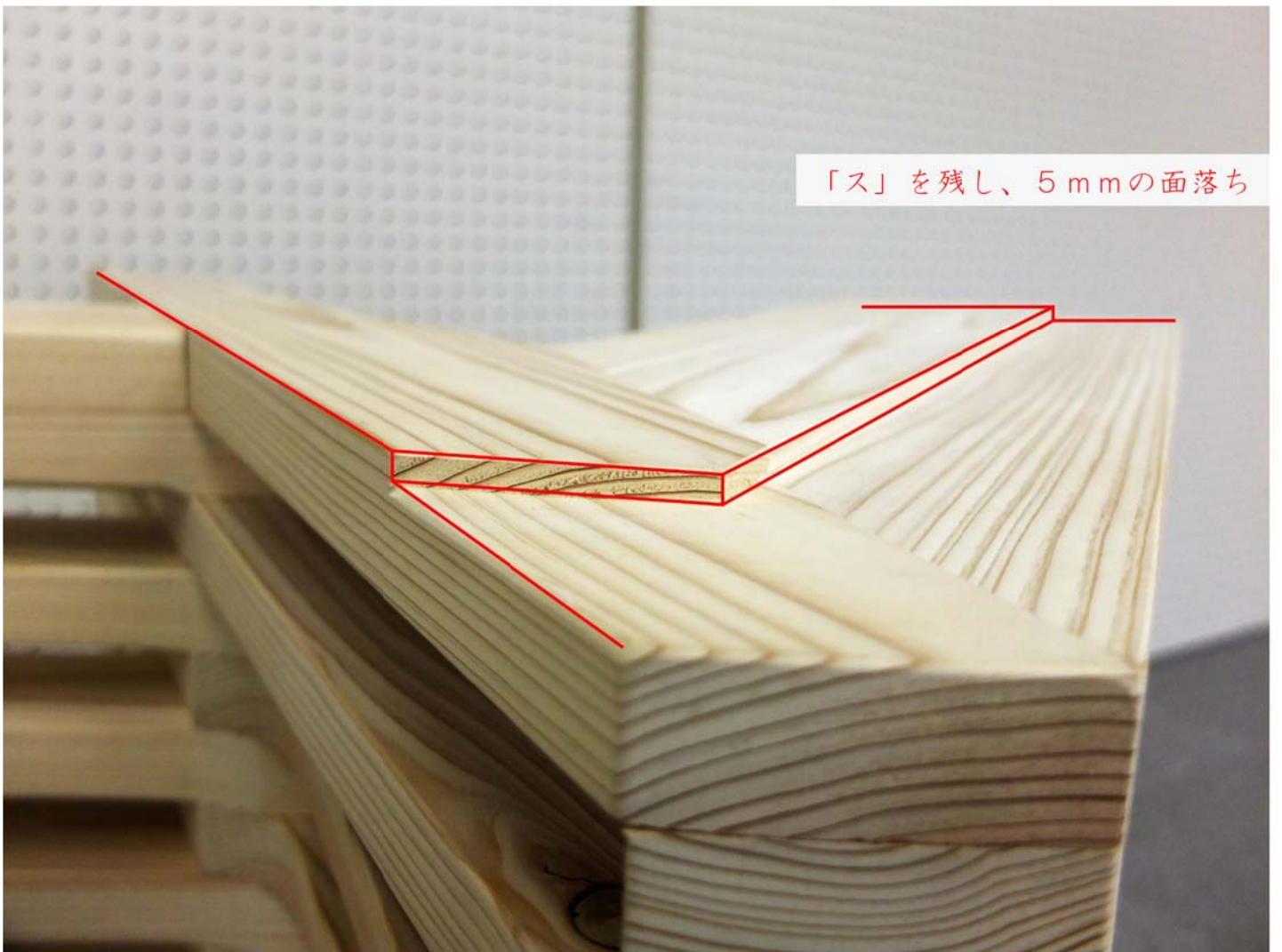
120mm



90mm





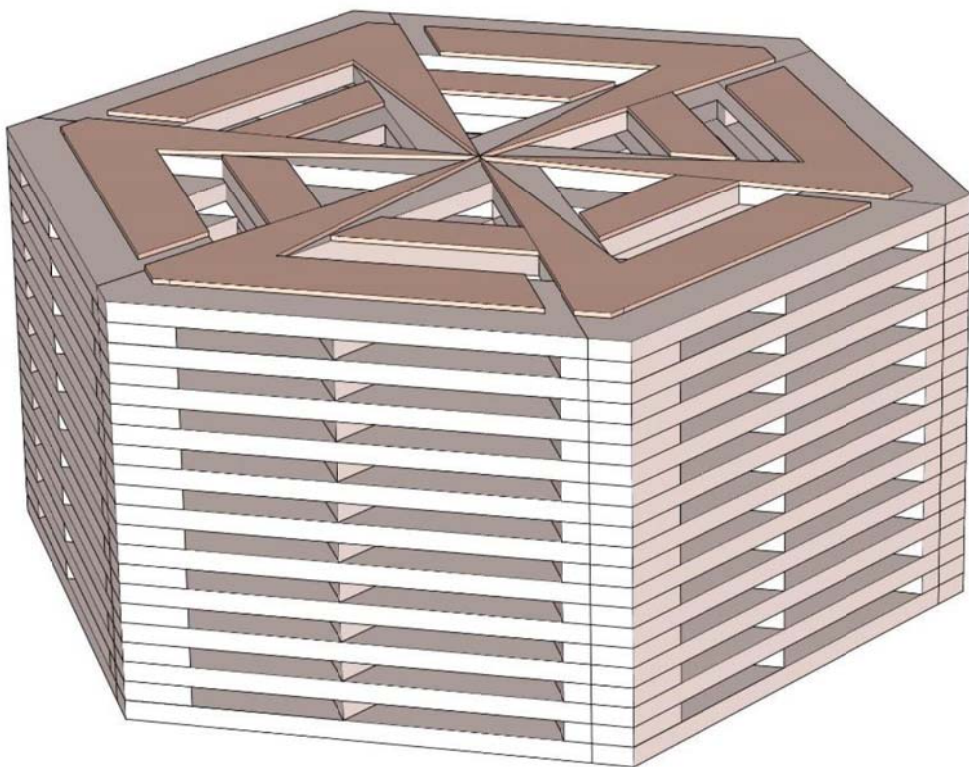


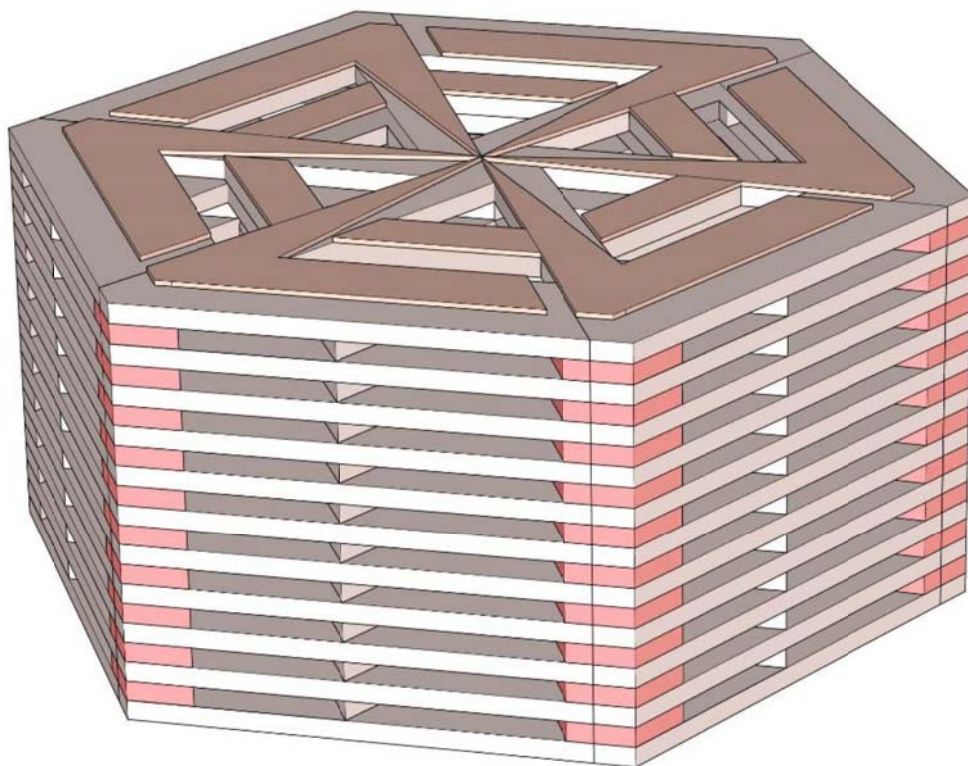


もう一つの座り方



面落ちした箇所が座るきっかけとなる





別々のベンチのスペーサーが一体化し、コーナーを美しくおさめる

